

成果事例集

Vol.3

好機 逸すべからず

平成26年度補正 ものづくり・商業・サービス革新補助金

平成27年度補正 ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金



長野県地域事務局
長野県中小企業団体中央会

発刊にあたって

「ものづくり補助金」は、リーマンショック及び東日本大震災による景気低迷に対し、民間投資を喚起することにより持続的成長を生み出す成長戦略の一つとして、平成25年3月に「平成24年度補正ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」（以下「平成24年度補正」）が創設され、以来平成28年度補正に至るまで5年間継続して予算化されております。この5年間、補助事業の対象者に商業・サービス事業者が追加され、小規模事業者にも拡大されました。

本会は、平成24年度から一貫して、ものづくり補助金事業の長野県地域事務局として全国中央会より委託を受け、事業の円滑な遂行に努めてまいりました。

平成24年度補正での長野県の採択件数は360件でした。「平成25年度補正中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業」では398件が、「平成26年度補正ものづくり・商業・サービス革新補助金」（以下「平成26年度補正」）では359件が、「平成27年度補正ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」（以下「平成27年度補正」）では203件が、「平成28年度補正革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金」では161件がそれぞれ採択されています。この5年間の長野県の延べ採択件数は1,481件になります。

平成29年4月からは、事業化の進捗状況等を把握するとともに、ものづくり補助金事業により導入した機械装置や試作開発した商品の販路開拓、販売促進に係わる各種の支援活動を行う目的で、フォローアップ事業が始まりました。このフォローアップ事業についても全国中央会より委託を受けています。

本会は、ものづくり補助金の取り組み事例を広く周知することを目的として、平成25年10月号より機関誌「月刊中小企業レポート」に「好機逸すべからず」シリーズとして連載をしています。

平成25年10月号から平成27年10月号までの50社の事例を再編集して、平成27年11月に初めて成果事例集を発刊致しました。引き続き平成28年度には、平成27年11月号から平成29年3月号までの34社の事例を再編集して成果事例集Vol. 2を発刊しております。

今年度は、平成26年度補正、平成27年度補正の成果を内外に広く周知することを目的として、平成29年4月号から平成30年3月号までに掲載予定の24事例を再編集して、成果事例集Vol. 3を発刊致します。

これらの事例をベンチマーキングすることにより今後の経営の参考にしていただきたいと存じます。

最後に事例集発刊にあたり趣旨をご理解いただき、取材等に快くご協力いただきました事業者の皆様に深謝申し上げます。

本事例集が、県内中小企業・小規模事業者の今後の発展に少しでもお役に立てば幸いです。

平成29年11月

長野県地域事務局

長野県中小企業団体中央会

会 長 春 日 英 廣

も く じ

補助事業の概要	3
フォローアップ事業の概要	4
事 例 編	6
株式会社今井酒造店	6
株式会社エスケー精工	8
株式会社オオタ	10
喜久水酒造株式会社	12
株式会社コシナ	14
株式会社小松精機工作所	16
佐久産業株式会社	18
山京インテック株式会社	20
山清電気株式会社	22
株式会社ジェー．ピー．イー	24
信濃ワイン株式会社	26
株式会社信州蜂蜜本舗	28
信州ハム株式会社	30
セラテックジャパン株式会社	32
大信州酒造株式会社	34
大雪溪酒造株式会社	36
株式会社ダイヤ精機製作所	38
高島産業株式会社	40
ナパック株式会社	42
株式会社西軽精機	44
株式会社マルモ青木味噌醤油醸造場	46
株式会社マルヤマキャンバス	48
株式会社山崎屋木工製作所	50
若林醸造株式会社	52
資 料 編	54
平成24年度補正 ものづくり補助事業 採択事業者一覧	54
平成25年度補正 ものづくり補助事業 採択事業者一覧	62
平成26年度補正 ものづくり補助事業 採択事業者一覧	71
平成27年度補正 ものづくり補助事業 採択事業者一覧	79

補助事業の概要

補 助 事 業 名	平成26年度補正 ものづくり・商業・サービス革新補助金			平成27年度補正 ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金	
目 的	国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、認定支援機関と連携して、革新的な設備投資やサービス・試作品の開発を行う中小企業を支援する。			国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、認定支援機関と連携して、革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行う中小企業・小規模事業者の設備投資等を支援する。	
補 助 対 象 者	日本国内に本社及び開発拠点を有する中小企業者。本事業における中小企業者とは、【ものづくり技術】で申請される方は「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」第2条第1項、【革新的サービス】、【共同設備投資】で申請される方は「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」第2条第1項に規定する者をいいます。				
補助対象要件	認定支援機関に事業計画の実効性が確認された中小企業・小規模事業者であり、以下の要件のいずれかを満たす者。 (1) 「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出等であり、3～5年計画で「付加価値額」年率3％及び「経常利益」年率1％の向上を達成できる計画であること。 (2) 「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した画期的な試作品の開発や生産プロセスの革新であること。 (3) 事業実施企業により構成される組合等（中小企業組合、共同出資会社又は社団法人）が事業管理者となり、複数の事業実施企業が共同し、設備投資により、革新的な試作品開発等やプロセスの改善に取り組むことで、事業実施企業全体の3～5年計画で「付加価値額」年率3％及び「経常利益」年率1％の向上を達成できる計画であること。			認定支援機関の全面バックアップを得た事業を行う中小企業・小規模事業者であり、以下のいずれかに取り組むものであること。 (1) 「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出・サービス提供プロセスの改善であり、3～5年で、「付加価値額」年率3％及び「経常利益」年率1％の向上を達成できる計画であること。または「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した革新的な試作品開発・生産プロセスの改善を行い、生産性を向上させる計画であること。 (2) 高度生産性向上型は（1）に加え、「IoT等を用いた設備投資」（IoTを用いた設備投資）「最新モデルを用いた設備投資」のいずれかを指します）を行い生産性を向上させ、「投資利益率」5％を達成する計画であること。	
事業類型等	革新的サービス	ものづくり技術	共同設備投資	革新的サービス	ものづくり技術
	1. 一般型 補助上限 1,000万円 設備投資 ^注 が必要	補助上限 1,000万円 設備投資 ^注 が必要	補助上限 共同体で5,000万円 (500万円/社) 設備投資 ^注 が必要	1. 一般型 補助上限 1,000万円 設備投資 ^注 が必要 「機械装置費」以外の経費については、総額で500万円（税抜き）までを補助上限額とします。	2. 小規模型 補助上限 500万円 設備投資 ^注 可能（必須ではない） 設備投資を行う場合は「設備投資のみ」、行わない場合は「試作開発等」となり、補助対象経費が異なりますのでご注意ください。
	2. コンパクト型 補助上限 700万円 設備投資不可		「機械装置費」以外の経費については、事業管理者の「直接人件費」を除き補助対象経費として認めません。		
				3. 高度生産性向上型 補助上限 3,000万円 設備投資 ^注 が必要 「機械装置費」以外の経費については、総額で500万円（税抜き）までを補助上限額とします。	
補 助 下 限 額	100万円以上				
補 助 率	補助対象経費の2 / 3以内				
補助対象経費	機械装置費、原材料費、直接人件費、技術導入費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費、運搬費、専門家経費、雑役務費、クラウド利用費			機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費 小規模型の「試作開発等」は、原材料費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費、クラウド利用費も対象となります。	

注）設備投資とは専ら補助事業のために使用される機械・装置、工具・器具及び専用ソフトウェアの取得のための経費（「機械装置費」といいます）のうち、補助対象経費で単価50万円(税抜き)以上を計上する場合を指します。

フォローアップ事業の概要

事業名	ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援事業	
目的	平成24年度から平成27年度までのものづくり補助金事業に取り組まれた補助事業者に対し、事業化の進捗状況等を適切に把握するとともに、ものづくり補助金事業により導入した機械装置や試作開発した商品の販路開拓、販売促進に係わる各種の支援活動を行うことで、補助事業者の売上、収益増加、コスト削減のための事業終了後の支援を行うことを目的とします。	
対象者	平成24年度補正ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金、平成25年度補正中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業及び平成26年度補正ものづくり・商業・サービス革新補助金、及び、平成27年度補正ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金(以下「ものづくり補助金事業」という)を実施した補助事業者。	
実施期間	平成29年4月1日～平成34年1月末までの5年間。 ただし各事業年度ごと事業化状況報告終了年度までになります。	
事業内容	事業計画	長野県地域事務局の取組
	1. 補助対象機械の確認と事業化進捗状況把握 (1) 事業化状況の入力内容を確認することにより、事業化段階、売上・収益状況の把握ができていないか等を確認する。 (2) 事業化報告書または現地調査により、補助事業者が導入した機械装置の現況確認を行う。 (3) 改ざん防止のため補助事業で使用した領収書への押印を行う。	長野県地域事務局のサポーターが、平成24年度から平成26年度までのものづくり補助金事業に取り組まれた補助事業者を訪問し、左記(1)、(2)、(3)の事項について実地調査による確認等を行っています。 (1)については、事業化状況・知的財産権等報告システム(以下「事業化報告システム」)の入力内容を確認し、助言や訂正が必要な場合は修正依頼をしています。 今年度内に対象となる全補助事業者を訪問させていただく予定です。
	2. 支援希望項目と意思の確認 補助事業者に対する販路開拓・販売支援についての支援希望の意思と事業希望項目とを聴取調査等により確認する。	上記訪問の際に、支援希望の有無を確認し、希望される場合、どのような支援を望まれるかお尋ねしています。
	3. 知的財産権等の登録状況の確認 事業化報告書または現地調査にて補助事業者の知的財産権等登録状況を確認する。	知的財産権等に係る事業化報告システムの入力内容をサポーターが確認し、特許申請の漏れがあった場合などは現地訪問等の際に入力をお願いしています。
	4. 成功事例(補助金の活用、事業化成功など)の把握 成功事例集の作成や展示・商談会を実施する。 全国事務局においては3年間にわたり、首都圏、近畿圏において、全国的な成果発表・商談会を実施する。加えて、ものづくり補助金事業Webサイトを開設し、都道府県地域事務局及び全国事務局が取りまとめた事例を紹介する。	(1) 成功事例集 平成26年度補正、平成27年度補正の成果を内外に広く周知することを目的として、平成29年11月に「好機逸すべからずVol.3」(ご覧いただいている冊子)を発刊します。本会ホームページ(http://www.alps.or.jp/)フォローアップ事業のコーナーでPDF版をご覧いただくことができます。 (2) 展示・商談会 「新価値創造展2017」に共同出展し、平成26年度補正、平成27年度補正の成果を中心にPRし多くのビジネスマッチングを目指します。 共同出展社数：19社 会場：東京ビッグサイト(東京国際展示場) 会期：平成29年11月15日(水)～17日(金) (3) 全国事務局が実施し、長野県地域事務局が協力する事業 ① 中小企業 新ものづくり・新サービス展 ものづくり補助金事業に取り組み、事業化段階1以上(平成27年度補正の場合は事業化が見込めること)の事業者が事業の成果をPRし、販路開拓、市場創出、企業間連携の実現、情報収集・交換などのビジネスチャンスの提供を受けて、事業化促進を図ることを目指します。 大阪会場 長野県出展社数：14社(全出展者数600以上を予定) 会場：インテックス大阪(大阪国際見本市会場) 会期：平成29年11月28日(火)～30日(木) 東京会場 長野県出展社数：20社(全出展者数650を予定) 会場：東京ビッグサイト(東京国際展示場) 会期：平成29年12月6日(水)～8日(金) ② ものづくり補助金事業Webサイト サイト名：ものづくり補助事業関連サイト(monodukuri-hojo.jp) 主なコンテンツ：全国のものづくり補助金成果事例、展示会・ビジネスマッチング会情報

	5. 認定支援機関との意見交換会 各地域の認定支援機関と事業化の状況等についての意見交換会を開催し、認定支援機関の事後支援状況を確認する。 6. 地域事務局独自の販路開拓・販売促進支援活動 長野県地域事務局独自の支援事業を実施する。	平成29年8月24日(木)に長野市のホテルメルパルク長野において、支援件数が多い認定支援機関をお招きし、意見交換を行いました。 (1) 信州の発酵食品銀座NAGANO商談会 長野県を代表する発酵食品。酒類・味噌・醤油・麴、漬物を首都圏を中心とするバイヤーに売り込むためのマッチング商談会を行います。 会 場：銀座NAGANO(しあわせ信州シェアスペース) 会 期：平成30年1月25日(木)～26日(金) 対象者：ものづくり補助金事業で発酵食品に取り組んだ事業者。アルコール系7社、ノンアルコール系6社 (2) 長野県ものづくりポータルサイト ものづくり補助事業の成果、技術やサービス、設備の紹介はもとより、簡易SNS機能により経営者や担当者の悩みをアシストできるサイトを目指します。 CASE 1：ものづくり補助事業の成果の商談を進めたい、Win-Winの関係となる事業者を探したい。 CASE 2：試作品の量産化をしたい、受け入れてくれる協力事業者を探したい。 CASE 3：ものづくり補助事業で導入した設備の稼働率を上げたい、ついては近くで事業所を探したい。 ものづくり補助金に取り組んだという共通事実を持つ中小企業・小規模事業の経営者・担当者が、これらのCASEのいずれについても、簡易SNS機能を使って信頼できるパートナーを探すことができます。 今年度は助走期間。一部の補助事業者の協力を仰ぎ、経営者・担当者に役立つサイトの機能を確認します。ものづくり補助事業に取り組まれた全事業者への案内は今年度末から来年度初めの予定です。 是非期待してください。
--	--	---

株式会社今井酒造店

平成27年度

■事業計画名

高性能ビン詰機導入による甘酒を柱とした小ビン製品の生産向上と市場開拓

■概要

現状、1.8ℓ以外のサイズは自動でビン詰する事ができず、取引先からの問い合わせがあるにも関わらず、小ビンには対応できていない。

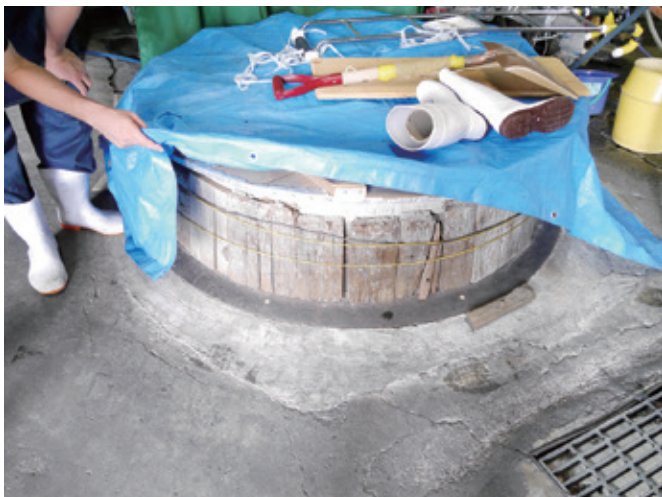
新型のビン詰機を導入することで、生産能力の向上、拡大をし顧客の幅広いニーズへの対応が可能になる。

■分類

- ＜対象類型＞ ものづくり技術
バイオ
- ＜事業類型＞ 一般型

■成果

新型のビン詰機を導入したことで、生産能力の向上、拡大をし顧客の幅広いニーズへの対応が可能になった。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社今井酒造店（長野市）

特定名称酒100%で手づくりの味にこだわり、時代のニーズにあった商品づくりを目指す。

顔が見える商売をしたい

「昔から酒造りにはかなりこだわりを持ち、今も本醸造以上の特定名称酒のみを全量手づくりしています。純米酒を造り出したのも昭和30年頃から。長野県内ではかなり早い方だったと聞いています」。

今井酒造店の創業は1691（元禄4）年。善光寺で差配をしていた先祖が同年現在の場所に移り、酒造りを始めたのが同社のルーツです。長野市を中心とする地域の飲食店、小売店、問屋に販売し、代表商品の「若緑」は地域なじみのブランド。販売先には地域で長く営業し地元根づいた店が多く、同社とのつながりも深いようです。

「顔が見える商売をしたい」という昔からのポリシーを守り、基本的には地元中心ですが、最近は東京、大阪のイベントにも少しずつ出展しています」。

同社の歴史とポリシーを話すのは、今井孝取締役。今井用一社長の次男で後継者として酒造りに関わり、経営を学ぶ毎日です。

「後を継ぐとは思っていなかった」と同氏。まったく別の仕事をしていましたが、2015年に急きょ後継者として入社。以来、酒蔵でのさまざまな仕事をしながら、酒造りの研修を受け、同業者に教えを請い、酒造りを一から学び続けています。

「いつかは自分が考える酒を一から造ってみたい。そんな夢を抱きながら3年目に入り、仕事も楽しくなってきました」。

手づくりの味にこだわり続けたい

同社では「若緑」のほか、米焼酎と地元産のあんずを使ったワイン、甘酒を製造。さらに2005年から、関係が深い小売店グループと共同で酒米づくりから関わるオリジナルの酒造りも行っています。醸す「風の露」は毎年違うテイストで仕上げ、さらに季節の限定酒も人気を集めています。



手づくり製法にこだわった製品
(若緑 特別純米酒)

一方、甘酒は栄養成分が注目され、ここ数年消費量が増加。ブームともいえ

る中で同社での売上げも急増しています。ところが既存の甘酒製造設備では720ml以上のビンへの充填にしか対応できません。需要が増えている300ml、180mlをはじめ多様なサイズに対応し、さらに甘酒のような高濃度の液体を詰まらせずに充填できる充填機、打栓機の導入が急務でした。

「日本酒も720mlビンの需要が増えています、既存設備では自動充填できるのは1.8lのみ。新型のビン詰機の導入は甘酒、日本酒を問わず、時代のニーズにあった商品を効率的に生産できる大きなメリットがあった」と今井取締役。そのような状況を受け、同社はものづくり補助金を活用し、小ビンに対応した新型のビン詰機を導入しました。

「設備を新しくしても、手づくりの味にこだわり続けたい」。今井取締役にも創業以来のこだわりのDNAが受け継がれています。



充填機（右）と小ビンに対応した打栓機のライン



「風の露」の貯蔵タンク



サーマルタンク



株式会社今井酒造店

代表 代表取締役社長 今井用一
創業 1691（元禄4）年
資本金 1,000万円 従業員数 11名
本社 長野市大字小島62
TEL.026-243-3745 FAX.026-243-1374
事業内容 日本酒、焼酎、甘酒などの製造



株式会社エスケー精工

平成26年度

■事業計画名

産業用ロボットの高精度複雑形状部品の無人化加工技術の確立

■概要

受注対応している産業用ロボットの部品は試作単品から量産へと移行過程にあり、コスト削減要求に応えるため、多工程連続切削加工に対応できる特注マシニングセンターを導入し、高精度・複雑形状部品の長時間連続自動運転を可能にする生産技術を確立し、加工工数の48%以上削減を目指す。

■分類

＜対象類型＞ ものづくり技術
精密加工

＜事業類型＞ 設備投資のみ

■成果

産業用ロボットの部品を加工するため、高速・高精度門型マシニングセンタFJV-250Ⅱを導入し、専門設備のライン化を進めた。

その結果、産業用ロボットの高精度複雑形状部品の無人加工ができるようになった。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社エスケー精工（上田市）

高精度な金属切削加工で存在感をアピール。
「全員素人」の若きものづくり集団の挑戦。

機械の能力に合わせて加工の幅を広げる

「うちに技術の経験者は一人もいません。全員素人です」。

エスケー精工の山田夏江社長が20年勤めたものづくりの会社を辞め、同社を設立したのは2000年、49歳の時でした。技術についてはまったくの素人。しばらく自宅で部品製造の請け負い（加工は外注）をしていましたが、法人化にともなって中古機械を1台買い、工場を立ち上げました。山田社長は次のように振り返ります。

「取引があった地元の大手機械メーカーから、飾りでいいから機械は置いておいた方がいい、とアドバイスされて（笑）。でもせっかくだから動かそうと、当時高校生だった三男（山田寛幸取締役製造部長）が機械メーカーで講習を受けて技術を覚え、若い社員たちに教えて加工を始めました。そのやり方は今も続け、みんなで技術力を高めています」。

自社加工ができるようになり、関東近辺の企業を中心に受注が増加。周囲の会社になかった機械を導入することで会社の特徴を出しつつ、機械の能力に合わせて加工の幅を広げてきました。また特急の仕事を断らないというポリシーにより、半導体・液晶を中心に幅広い分野の顧客と信頼関係を深めています。2014年にはDMG森精機「切削加工ドリームコンテスト」で銀賞を受賞。その技術力の高さを証明しました。

そんな同社の存在をアピールする場が展示会。県内外を問わず積極的に出展し、年6～7回にも及びます。そこでつながりができた顧客から、航空、医療、ロボットなど非常に高度な技術力を要する仕事も増えています。

女性社員が働きやすい環境づくり

工場内には最新の5軸加工機、5面加工可能な大型門型をはじめとする各種マシニングセンター、NC旋盤などの機械がずらり。「新たな仕事



「ドリームコンテスト」で銀賞受賞した加工製品

の話があっても機械がなくて断ることがある。断ることが増えた順に対応できる機械を入れる、という考え方で毎年設備投資をしています」と寛幸製造部長。各機械の異常を担当者のスマホに送信するシステムを構築するなど、生産管理の効率化も図っています。

ものづくり補助金を活用して導入したのが、高速・高精度門型マシニングセンター。産業用ロボットに搭載する精密部品の軽量化を実現したいというオーダーに対応したもので、加工の無人化と時間短縮を実現しました。

同社では30人ほどの社員の半数近くが女性。女性社員が働きやすい環境づくりも大きな特徴です。「私自身、子育てをしながら勤めていた時の思いがあるので、子育て中でなかなか勤め先がない女性も多く採用。誰かが急に休んでも対応できる体制をつくっています。66歳の女性も活躍していますよ」。

さらに障がい者の採用・教育にも熱心に取り組む、その人に合った仕事の提供と戦力化を実現しています。「今は1人ですが、もっと採用を増やしていこうかと考えています」。



女性もいきいき活躍



最先端マシンが並ぶ工場



高速・高精度門型マシニングセンター



株式会社エスケー精工

代表 代表取締役 山田夏江
創業 2000（平成12）年10月
資本金 1,000万円 従業員数 26名
本社 上田市塩川630-11

TEL.0268-36-0022 FAX.0268-36-0023
事業内容 アルミ長尺加工や5軸加工を中心とした金属部品加工



株式会社オオタ

平成26年度

■事業計画名

自動車部品軽量化に寄与する高強度材料に対応可能な高精度プレス金型製作の短納期化

■概要

自動車産業において燃費向上を目的とした軽量化のための高強度材料の採用が著しく進んでいる。一方それに対応するプレス金型は、高強度材料は難加工材であることから、製品精度を維持、確保するための型製作は困難で、金型のトライ期間、回数が増加してしまう課題がある。また、金型の短寿命が製品品質に影響を与える事も課題となっている。

そこで、3次元デジタイザーを導入し技術のデジタル化を図り、高強度材料に耐えうる高精度プレス金型の製作時間を半減させ、金型受注の倍増を目指した。

■分類

＜対象類型＞ ものづくり技術
精密加工

＜事業類型＞ 設備投資のみ

■成果

3次元デジタイザーを導入し技術のデジタル化を図り、高強度材料に耐えうる高精度プレス金型の製作時間を半減した。よって金型受注の倍増を目指す。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社オオタ（松本市）

精密金型技術を活かし順送プレス加工に特化。
高い技術力で低コスト・高品質な製品づくりを実現。

順送に特化し コスト削減・工期短縮・高精度化

金型技術者だった現会長が昭和46年に創業した精密金型・精密プレス加工のオオタ。金型製作に加え、受注の安定を図るためプレス加工による金属部品の量産も始めました。



冷間鍛造加工品サンプル

プレス加工では後発だった同社は「順送金型」で同業社と差別化を図り、電気製品や通信器機、パソコンなどの部品を手がけてきました。現在は冷間鍛造にも力を入れ、切削加工をプレスに置き換えることで顧客ニーズに応え自動車部品を中心に生産しています。

複雑な形状の精密部品をプレス加工する場合、複数の金型を使い数工程に分けて加工するのが一般的です。一方、複数の工程をひとつの金型に配置し1工程で済ませることができるのが順送プレス加工。コスト削減・工期短縮・高精度化などのメリットがありますが、高い技術が必要とされます。

同社は得意の精密金型技術を活かし、大型部品から精密部品まで、また加工が難しい材料や工程、さらには特に外観基準が厳しい外装品まで順送化。不可能を可能にしてきました。「当時主要取引先だった日本を代表する大手電機・通信機器メーカーによれば、外装品では世界初でした」と太田修吾社長は胸を張ります。



製品サンプル

現在手がける製品の主力は自動車部品へとシフト。特許を取得するなど順送技術を徹底して追求し、ユーザーニーズに合った製品開発を行っています。

申請書作成で会社をじっくり見つめ直す

今回ものづくり補助金で導入したのが「非接触光学式3次元デジタイザ（ATOS）」。製品の画像を取得し、システム上で3Dデータに置き換えて表示する画期的な測定機です。

自動車部品では軽量化のため高強度材料の採用が進み、プレス金型の精度維持が困難になっています。



順送プレス

同機は金型の減りがどこに、どれぐらい生じているかを3Dで見ることができると、次の手を打つ時間の大幅なスピードアップになりました。また顧客との打ち合わせもデータを見ながらでき高い評価を得ています。

「同業社での導入は全国的にもほとんど例がなく、採択していただいたのはとてもラッキーでした。他社とは違った視点で見られるので、より精密な製品を受注するチャンスが増える」と太田社長は期待しています。

同社がものづくり補助金を初めて申請したのが平成24年度。書類作成が高いハードルだと言われる補助金の申請ですが、当時専務の立場で初めて自ら申請書を作成した太田社長もそれを実感した一人でした。「申請書は会社を改めてじっくり見つめ直し、世の中の動きや業界の動向も調べないと書けません。とても良い勉強になったし、やりがいも達成感も非常に大きかったですね」。

半数近くが技術者という同社。太田社長は「技術は人」と強調します。「何かやろうと思った時、人がアイデアを持ち寄ることでカタチにできる。いくらロボットの導入が進んでも人間に勝るものはないと思っています」。



非接触光学式3次元デジタイザ（ATOS）



株式会社オオタ

代表 代表取締役社長 太田修吾
創業 1971（昭和46）年2月
資本金 5,000万円 従業員数 60名
大久保工場 松本市笹賀5652-96
TEL.0263-26-5151 FAX.0263-27-2317
事業内容 精密金型の設計・製作及びプレス加工



喜久水酒造株式会社

平成26年度

■事業計画名

消費者ニーズに対応した低アル・発泡性酒類の開発

■概要

清酒・果実酒・リキュールにカーボネーション（炭酸ガス圧入溶解）技術により品質の均一化と共に安定した発泡性のある酒類を製造し、新規顧客層及び商圏の拡大を目指す。

■分類

＜対象類型＞ ものづくり技術
製造環境
＜事業類型＞ 設備投資のみ

■成果

発泡性清酒は、地元産高嶺錦で仕込んだ生酒タイプで、蔵元よりクール便にて直送。今後は、常温流通が可能な商品にしていきたい。

シードルは、長野県内各地で果樹栽培が盛んであり、シードル製造について県、地域で支援をいただいている。今後、甘口・辛口などの商品を研究し、消費者ニーズに対応していきたい。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

喜久水酒造株式会社（飯田市）

バラエティ豊かな酒類の製造を通して、地域活性化に貢献。

「高嶺錦」の特定名称酒を製造

喜久水酒造は飯田・下伊那地域唯一の酒蔵。同地域での販売が総販売数量の約半数を占め、「喜久水」は地元の清酒の代名詞として愛されています。「それだけに安全・安心、消費者を裏切らない酒造りを使命としています」と加藤昇社長。

同社は昭和19年、国の企業統制令により飯田・下伊那地区37の蔵元が企業合同して設立されました。その経緯からさまざまな酒類製造免許を持ち、清酒、焼酎、リキュール、果実酒、甘味果実酒など、バラエティに富んだ酒類を製造・販売。長野県内2位の出荷数量を誇ります。

普通酒の販売不振が続く一方で近年、純米酒、吟醸、純米大吟醸などの人気が高く、ちょっとしたブームにもなっています。同社でも全国名水百選のひとつに認定された地元の湧水「猿庫の泉」を仕込み水に使い、信州産酒米「美山錦」を伝統的な技術で製造した純米吟醸「猿庫の泉」がヒット。さらに、社員などが中心となって復活させた幻の酒米「高嶺錦」を使った特定名称酒の製造にも力を入れています。

また2000年から焼酎の製造を開始。自社ブランド製品のほか委託製造も多く、全国からの注文



純米吟醸酒「猿庫の泉」



翠峰館ショールーム

にえています。芋焼酎では「信州いも倶楽部」を設立し、一般消費者に芋の植え付けから収穫まで体験してもらうユニークな試みも行っています。

低アルコール発泡酒を増産

若者を中心に酎ハイなど甘い酒が人気を集め、りんごの果実酒・シードルや発泡性清酒といった低アルコール酒が注目されています。

同社では「新しいジャンルを開拓し、新しいターゲットを狙っていききたい」とこの分野への参入を決め、ものづくり補助金を活用してカーボネーション（炭酸ガス圧入溶解）技術と生産設備を導入。炭酸ガス注入後に充填し味の変化のない高品質な製品の量産体制をつくり、積極的に増産を図っています。

りんごは飯田・下伊那地域の特産品。シードル人気は地域活性化にもつながるだけに、「NPO国際りんご・シードル振興会」と共に普及活動に力を入れています。今年5月20日には県内メーカー各社の商品を紹介するイベント「ナガノシードルコレクション in 飯田」が開催され注目を集めました。

「普通酒の品質を維持しつつ、特定名称酒のバリエーションと量をさらに増やしていくこと。シードルなど新たな商品の開発に力を入れ、海外も含め、新たな販売先を積極的に開拓していくこと。それがこれからのテーマです」。

加藤社長はそう話し、同社の特徴であるバラエティに富んだ商品ラインナップのさらなる強化を目指しています。



南信州産りんごを100%使用したシードル



カーボネーションタンク、充填機などの低アルコール発泡酒類製造設備



喜久水酒造株式会社

代表 代表取締役 加藤 昇
創業 1944（昭和19）年7月
資本金 7,300万円 従業員数 42名
本社 飯田市鼎切石4293
TEL.0265-22-2300 FAX.0265-22-2329
事業内容 酒類の製造及び販売



株式会社コシナ

平成26年度

■事業計画名

レンズ加工工程における高精度面形状測定システムの構築

■概要

工具顕微鏡や接触式測定機など、従来の方法では高精度・広範囲・短時間の測定が難しかった各工程のレンズ形状や加工治工具の形状測定を、光切断法による非接触測定を用いて可能とするシステムを構築する。

■分類

- <対象類型> ものづくり技術
 精密加工
 測定計測
- <事業類型> 設備投資のみ

■成果

非接触形状測定機を導入したことで、今まで把握することが困難だった加工途中のレンズ形状や、加工治工具の形状が測定できた。また、治具形状がレンズ形状に及ぼす影響やレンズ形状が光学性能に及ぼす影響を確認する手法の検討ができた。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社コシナ（中野市）

高性能デジタルカメラから宇宙観測まで、
世界が評価するハイエンド光学製品を創る。

ハイエンド光学製品を開発・製造

かつて世界No.1を誇った半導体、液晶などの技術分野が苦戦する中、現在も日本が世界で圧倒的優位を保っているのが光学技術です。



ツァイスのプレミアムSLRレンズ「Otus」

「レンズ技術は勤勉な日本人ならではの細かく丁寧な仕事が求められる。技術者の経験とカンがものをいうだけに、いかに職人技を磨いていくかにかかっています」とコシナの小林博文社長は話します。

同社は長年にわたる高度なレンズ技術を活かした、ハイエンド光学製品の開発・製造メーカー。

プロおよびハイアマチュア向けの高性能デジタルカメラ用最高品質交換レンズでは、「Carl Zeiss」と共同開発する製品の他、世界最古のブランド「フォクトレンダー」で世界市場に供給。4K、8Kに対応する高解像度プロジェクター用レンズ、人工衛星や国際宇宙ステーションに搭載される宇宙観測用など特殊レンズも高い評価を得ています。

「映像分野は4K、8Kが始まり、電機メーカーから高性能レンズへの要望が高く非常に有望な分野と考えています。ハイエンド向け交換レンズへのニーズもますます高くなっており、より高性能なレンズ開発に取り組んでいます」。

より高品質なレンズ生産のためには加工工程での検査・測定体制の充実が欠かせません。同社はものづくり補助金を活用し、非接触形状測定機を核とした高精度面形状測定システムを構築。今まで困難だった加工途中のレンズ形状や、加工治工具の形状の測定を可能にしました。

国内で生き残っていくために

同社は1959年、社員13人のレンズ加工工場として創業しました。高度成長期にレンズを保持する金属の加工、レンズユニットの組立へと事業を拡大。さらにレンズ素材の開発・生産にも着手し、

60年代終わりにはコンパクトカメラ、一眼レフ、8ミリカメラの完成品までの社内一貫生産体制を整えました。70年代に電機メーカー向けにビデオカメラ用レンズや監視カメラ用レンズの供給を開始。89年には液晶プロジェクター光学ユニットの製造をスタートしました。

しかし円高とバブル経済崩壊などによる環境の激変を受け、2000年前後から生産体制を大幅に変更。価格勝負の大量生産から、高性能・高品質・高付加価値製品に特化した多品種少量生産へと大きくシフトし、現在に至っています。

「当社は創業以来人を第一に考え、リストラはしないし、海外進出もしない。このポリシーを守るために現在のような体制づくりを行いました。



測定された形状誤差のカラーマッピング図



ショールーム内
レンズの研磨工程の説明



高精度面形状測定システム

国内で生き残っていくには付加価値の高いものづくりをしていくしかありません。それだけに人材育成には力を入れています」。小林社長の言葉に力がこもります。



株式会社コシナ

代表 代表取締役 小林博文
創業 1959（昭和34）年2月
資本金 6,850万円 従業員数 460名
本社 中野市吉田1081



TEL.0269-22-5100 FAX.0269-22-5139

事業内容 光学硝子、光学精密機器、映像・電子関連機器、特殊レンズの開発・設計・製造・販売

株式会社小松精機工作所

平成26年度

■事業計画名

農業分野向け非接触・非破壊新土壌レベル計測装置の開発及び試作

■概要

電磁誘導による渦電流の変化を捉える非破壊検査装置を改良し、圃場等の土壌を計測・分析する装置（土壌センサ）を、農業ICT化の圃場として開発する。

■分類

＜対象類型＞ ものづくり技術
測定計測

＜事業類型＞ 試作開発＋設備投資

■成果

安全で生産性の高い農作物作りのため、従来の土壌分析方法に比べ簡便な土壌分析計測器の開発と試作を実施した。

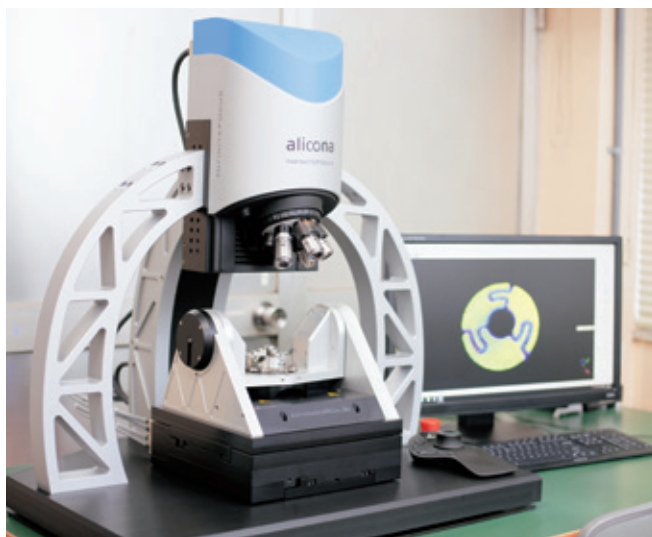
成果として新型アンプ開発と試作並びプローブ開発を実施、合わせて従来分析法との相関性検証でも良好な結果が得られた。



腕時計プレス部品



電子顕微鏡



ナノ精度三次元測定器

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社小松精機工作所（諏訪市）

時計で培った金属加工技術のDNAを発展させ、自動車、医療、農業の3本柱で世界を目指す。

自動車部品で世界シェアの3割を握る

小松精機工作所は1953年、腕時計部品の組立工場として創業。その後、部品加工にも手を広げ、プレス金型製造から部品加工・組立までの一貫生産体制を築きました。



ガソリン電子燃料噴射装置の先端に装着されるオリフィス

80年代初めには、腕時計部品で培った精密プレス技術を活かして情報機器分野へ進出。フロッピーディスクやハードディスクの情報を読み書きする磁気ヘッドサスペンションのプレス加工に成功し、高い生産性と品質の安定性を実現しました。

さらに80年代半ばには、切削、研磨、レーザーなどの機械加工にも対応し、自動車部品製造をスタート。ガソリン電子燃料噴射装置の先端に装着されるノズル（オリフィス）を精密プレス加工で作ることに成功します。

「オリフィスは中央に開けた微細な斜め孔からガソリンを勢いよく噴射するための重要部品。放電加工で孔を開ける方法に比べ、加工時間が100倍以上速く、圧倒的なコストダウンにもつながりました。現在、国内はもとより欧米、南米にも供給し、世界で3割のシェアを握っています」。研究開発部門を率いる小松隆史常務はそう胸を張ります。

小松常務は2002年、物質・材料研究機構（つくば市）と共同で、ステンレス材の成分を変えずに結晶粒を1ミクロン以下まで微細化する技術の研究に着手。微細加工時での形状品質安定と部品強度向上を実現した「超微細粒ステンレス鋼」の量産化に世界で初めて成功しました。この画期的な成果は医療分野への展開につながり、今後の成長が期待されています。

土壌検査装置でも画期的な開発

同社では超微細粒ステンレス鋼の検査用に磁界式センサーを使った非破壊測定器を開発。「それを土壌分析に使ってみたい、というお話を信州大

学の先生にいただいたのが、今回のものづくり補助金申請のきっかけになりました」（小松常務）。

安全・安心かつ生産性の高い農作物づくりのために欠かせない土壌検査。現在は土を溶液に入れて成分を抽出・分析するという方法で行われていますが、測定に時間がかかり、料金もかさむという課題を抱えています。

予想外の農業分野でしたが、金属用が外販の期待もあり、合わせてコストダウンも図れると試作開発に着手。カップに入れた土をセンサーの上に載せるだけで即座に測定できる装置を試作しました。大学からは「世界的に見ても画期的な開発」と高く評価されています。「ハードではなく、ソリューションを提供するというビジネスモデルを考えている」と小松常務。今後は土壌検査のシステム構築に向けた取り組みを検討しています。

「第42回グッドカンパニー大賞 グランプリ」、「ものづくり大賞NAGANO 2016 グランプリ」など受賞歴も多く、企業としての取り組みが高く評価される同社。画期的な技術開発の成果を活かし、自動車、医療、農業を3本柱に世界的にも競争力の高い企業を目指しています。



土壌レベル計測装置試作の実験環境



株式会社小松精機工作所

代表 代表取締役会長 小松 誠
創業 1953（昭和28）年
資本金 9,750万円 従業員数 320名
本社 諏訪市大字四賀桑原942-2
TEL.0266-52-6100 FAX.0266-58-0107
事業内容 精密プレス部品、各種精密機械部品の製造



佐久産業株式会社

平成26年度

■事業計画名

高利益製品を増産するための画像検査ラインの開発

■概要

綿棒紙軸の生産について、利益の出ない一般用から高利益率の医療・介護用への生産強化を図る。

そのために、ボトルネック工程である外観検査を機械化し課題の解決を図る。

■分類

＜対象類型＞ ものづくり技術

機械制御

測定計測

＜事業類型＞ 試作開発＋設備投資

■成果

医療介護関連の綿棒の紙軸は、今後需要の伸びが期待できる分野であるが、特に衛生面には留意が必要である。

今般、試作導入した画像検査ラインにより、製品の黒点排除が実現し、品質の向上及び検査工程の生産性向上が図られた。ユーザーに対してそれをアピールすることができ、満足度の向上へと繋がり、今後の販売促進が期待できる。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

佐久産業株式会社（小諸市）

国内綿棒メーカー全社に高品質な紙軸を供給。
医療・介護など特殊用途の製品製造に特化めざす。

特殊な商品への特化めざす

耳掃除などで普段何気なく使い捨てている、綿棒。1923年にアメリカで生まれ、日本では65年に国産第1号が発売されました。70年代半ばになると日本でも一般的に使われるようになり、現在国内では4社が綿棒の製造を行っています。



綿棒用紙軸の生産風景

佐久産業は、綿棒やキャンデーなどに使われるバージンパルプを使用した棒（紙軸）の専門メーカー。紙軸のみを作る国内では珍しい存在で、グレードが高い製品向けを主体に綿棒製造メーカー全社に供給しています。

「綿棒用の紙軸の売上げはピーク時の半分ほど。それだけに長さ6～30センチ、太さ1.5～3.5ミリとさまざまなサイズの紙軸を小ロットで製造できる強みを活かし、利益率の高い特殊な商品に特化していきたいと考えています」と小山純社長。「手術で血液を吸い取る長さ30センチの綿棒や、高齢者の介護等に使われるスポンジ製歯ブラシの棒など、医療・介護の現場で高まる紙軸のオーダーに積極的に応えています」。

医療用は安全性の高さを重視し、日本製の紙を使って国内で生産されるものが求められています。このような特殊用途の製品は綿棒メーカーでは対応できないケースも多く、同社の技術がさらに求められています。

オリジナルの画像検査装置を開発

「紙軸に使うバージンパルプ紙は漂白をしていないので、どうしても製造時の汚れや原料に由来する黒点が出てくる。当社では熟練社員の目視で全量検査していますが、医療用など特殊用途で求められる、より高い品質レベルに安定して対応できるように画像検査の導入を決めました」。

同社ではものづくり補助金を活用し、カメラ、搬送機器などのメーカー各社と共同でまったくオリジナルの画像検査装置の開発に着手。規格の変

化がない売れ筋商品が対象で、目標検査速度は1時間に2万5000本以上としました。

スピードと安定性を実現するため、どういう方向から画像をとらえるのが良いのか徹底的に検証。その都度アイデアを出し合い改良を重ね、徹底的に作り込んでいきました。そして2017年8月、ようやく完全運用にこぎつけました。

「検査スピードは熟練した社員による目視の1.5倍と極端に速いわけではありません。しかし人の場合は個人差が大きいのに対し、装置は安定して大量にこなしてくれる。しかもお客様に品質の高さをアピールでき、会社の信用を高められる。これも大きなメリットです」。



紙軸を目視で検査する熟練社員



オリジナルの画像検査装置



画像検査で右側の1本がはじかれている

この装置をさらにどう活かし、経営戦略の中に位置づけていくか。それが同社の今後の課題になっています。



佐久産業株式会社

代表 代表取締役 小山 純
創業 1987（昭和62）年8月
資本金 1,000万円 従業員数 29名
本社 小諸市大字八満1152-1



TEL.0267-24-1701 FAX.0267-24-1702

事業内容 綿棒、キャンディー、IT関連製品などに使用される紙軸の製造・販売

山京インテック株式会社

平成26年度

■事業計画名

航空宇宙部品ラインの拡張に向けた超薄肉形状加工設備の導入

■概要

航空宇宙部品の中でも薄肉形状（0.005mm）の高度な要求に応えるため、エアーマイクロチャック仕様の専用機を導入する。また、量産化に向けた検査能力向上のため、画像測定検査装置を導入し、加工から検査まで航空宇宙専用ラインを確立する。

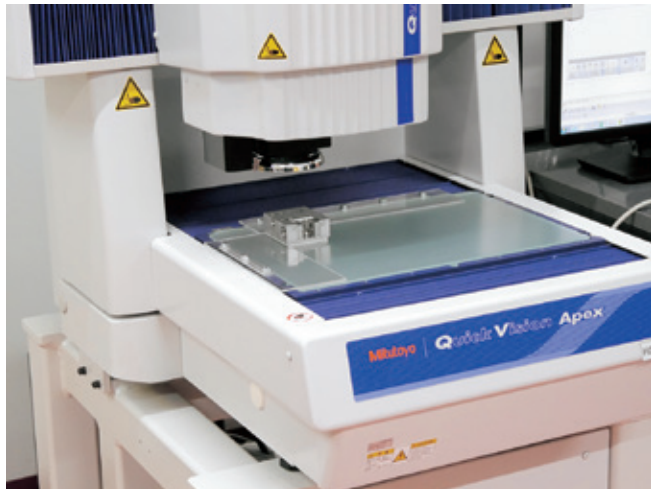
■分類

- ＜対象類型＞ ものづくり技術
精密加工
測定計測
- ＜事業類型＞ 設備投資のみ

■成果

航空宇宙部品の薄肉形状に対応するため、エアーマイクロチャック仕様の専用機を導入したことにより、 $5\mu\text{m}$ 以下の公差精度への対応、保持圧力による歪みの軽減が可能となった。

また、量産化に向けた検査能力向上のため、画像測定検査装置を導入し、加工から検査まで航空宇宙専用ラインを確立した。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

山京インテック株式会社（飯田市）

開発設計、機械加工、システム開発、電子機器の
コア技術を活かし、ロボット、航空宇宙産業へ。



空気圧でやさしくくわえ歪みなく加工

航空機部品の量産体制構築に向けて

2006（平成18）年「飯田航空宇宙プロジェクト」がスタートし、航空宇宙産業の集積が進みつつある飯田下伊那地域。山京インテックはそのメンバーであり、共同受注のためのワーキンググループ「エアロスペース飯田」に参加しています。



三次元精密機械加工技術を駆使して製造した部品

「当社が航空宇宙産業に進出したのは2007年。まだまだ社内比率は微々たるものですが、プロジェクトの一員として航空機関連で成長していきたいと考えています」と中村拓実社長。

航空機では機体を軽量化するため、さまざまな工夫が施されています。同社が手がけるアクチュエーターという車輪の出し入れなどの機構部に使われているモーターユニットにも肉薄の部品加工が求められています。

同社では航空宇宙部品ライン拡張に向け、平成26年度ものづくり補助金を活用。超薄肉形状の部品を空気圧でやさしくくわえて部品に歪みを生じさせないエアーマイクロチャック仕様の専用NC加工機、画像検査装置などを導入しました。「航空機部品の量産体制構築に向けた品質安定化のための設備投資です」。

ロボットと半導体分野に力を入れる

同社は1972年創業後、16ミリ映写機の組立をスタート。その後、機器・装置の移動方向や移動量、角度などを検出するエンコーダの生産を開始しました。

エンコーダを構成する部品の内製化とともに、多種多様な部品の機械加工に着手。さらにPOS最大手企業と自社用生産管理システムを共同開発したことをきっかけに、システム開発に本格的に取り組むとともに、そのシステムの外販も積極的に行ってきました。



エアーマイクロチャック仕様のNC加工機

開発設計、機械加工、システム開発、電子機器の設計開発の技術を確認。試作から量産まで一貫してサポートできる体制を整えています。

機械加工部門では自動車部品塗装ロボット、半導体搬送ラインの精密部品加工で培った技術をベースに、ロボット分野への拡大を目指しています。システム開発部門では生産管理システムのほか、物流や制御系のシステムも手がけ、ハンディターミナル、ラベルプリンターなど周辺機器を含んだ先進システムを構築し販売。新たに医薬品物流のシステムも開発しています。

中村社長が航空宇宙分野以上に成長を期待し、力を入れているのがロボットと半導体分野。特にロボットは裾野がとて広い分野と考えています。「ロボット制御技術を自社に取り込み、システム開発でユーザーニーズに応えるとともに、社内の生産現場にもロボットを積極的に展開していきたい。現在2交代で生産に携わる社員の負担をなくし、さらに夜間でも土日でも動かせる仕組みづくりを目指しています」。



画像検査装置

同社では航空宇宙分野を見据えつつ、ロボット化の波を確実に事業に結びつけることで成長につなげていこうと取り組んでいます。



山京インテック株式会社

代表 代表取締役 中村拓実
創業 1972（昭和47）年5月
資本金 4,840万円 従業員数 110名
本社 飯田市時又127



TEL.0265-28-5000 FAX.0265-28-5050

事業内容 設計開発、自動認識システム、精密機械加工、電子機器組立

山清電気株式会社

平成26年度

■事業計画名

省エネを可能にした凍結防止・融雪ヒーター用出力可変温度コントローラーの開発

■概要

凍結防止・融雪ヒーターには突入電流の発生や凍結防止に必要な電力以上に電力を消費してしまう問題がある。

これを解決し、省エネと電力設備の軽減化を図る出力可変温度コントローラーの開発を行い、国内外のマーケットの拡大を図る。

■分類

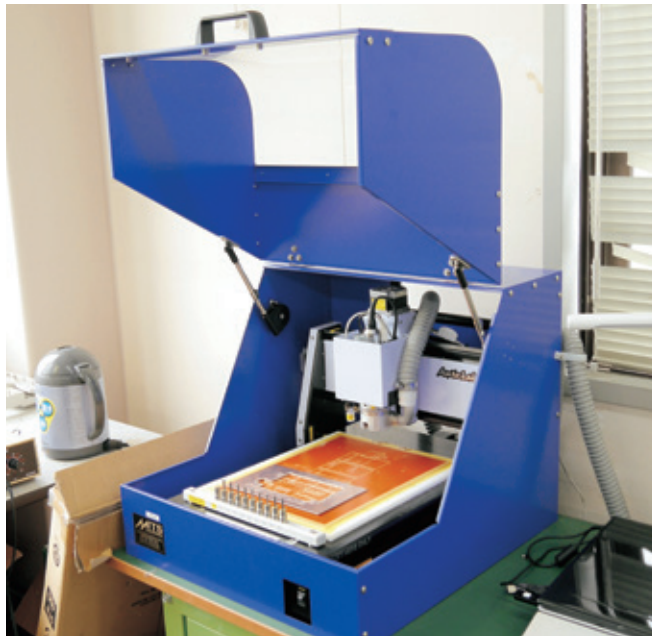
＜対象類型＞ ものづくり技術
情報処理
機械制御

＜事業類型＞ 試作開発＋設備投資

■成果

CPU（マイクロコントローラ）・SSR（半導体式リレー）・温度センサーを使用し、凍結防止及び加温に使用する自己温度制御型ヒーターの起動時の突入電流（起動時の突入電流値は、ヒーターの特性・温度・種類により異なる）を抑え、その突入電流分の漏電ブレーカ容量を下げる事ができた。

CPUのプログラム開発及びSSR駆動により、突入電流回避機能の基本が可能となったため、今後はこの基本をもとにそれぞれのヒーター特性・環境温度・種類別に見合ったプログラム開発を行い、省エネ性能を高める。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

山清電気株式会社（安曇野市）

ヒーター技術でニッチ市場に確かな実績。
寒冷地の安全・安心を守る凍結防止の総合メーカー。

電熱器具の専門メーカー

長野県をはじめとする寒冷地での冬場の水道凍結。それを解決したのが水道凍結防止ヒーターです。

山清電気は昭和49年、水道凍結防止ヒーターの製造販売で創業。当時まだ信頼性が低かった水道凍結防止ヒーターの品質向上に努めてきました。現在、一般住宅用をメインに、工場などの特殊配管用、雨どいなどの排水路用ヒーター、融冰雪ヒーターやロードヒーティングなど、幅広い電熱器具をラインナップ。専門メーカーとして国内トップの実績を誇っています。

凍結防止ヒーターは、外気温の低下をとらえ自動的に電熱線に通電して温め、温度が上がったら自動的に電気を止めるというもの。通電オン・オフを、バイメタルで行う、周囲の温度に応じて発熱量を増減する自己温度制御特性を利用して行う、センサーでコントロールするなど、さまざまなタイプがあります。

製品開発で重要なテーマになるのが、通電時間を適切にコントロールし、温度の上がりすぎや通電時の電気代をいかに抑えるか。同社ではセンサーを使い、より精密に温度をコントロールするタイプの開発に力を入れ、ヒーターとコントローラ、それぞれにセンサーを付けて温度制御する「エコフィットヒーター」を開発し特許を取得。大幅な省エネ・節電を実現し、一般住宅用では主流となりつつあります。

より高い精度で温度をコントロール

「省エネを実現するため、より高い精度で温度をコントロールするコントローラーの開発を進めています」と伊藤恭彦社長。

大きな工場やマンション、融雪ヒーターなどに使われる自己温度制御特性ヒーターは電源を供給する際、初動電流（突入電流）が跳ね上がります。ピーク時のブレーカー容量を確保しておかないと

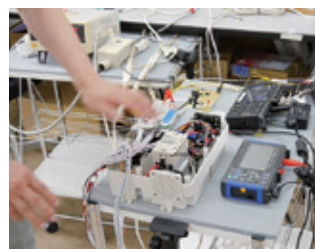
ブレーカーが落ちるので、高い容量での料金設定が必要。しかし初動電流を抑えれば安定時の低い容量で契約でき、電気料金の削減につながります。

同社はものづくり補助金を活用し、温度を一定に保ちながら試験できる「恒温槽」、基板を自由に加工できる「基板加工機」などを導入。さまざまな条件の下で試験を行いながら開発に取り組みました。

「工場配管など大型施設での用途をターゲットに、担当者が扱いやすい仕様を目指してさらに作り込んでいるところ。電気代を抑えたいというニーズはすごく高い。節電データをさらに蓄積し、それを武器に販売につなげていきたいと考えています」。



恒温槽



開発中のコントローラー



工場内

そして伊藤社長は、水道凍結防止から融雪までヒーター技術を活かし、人・家屋・財産をトータルに守る企業として社会に貢献していきたい、と強調しました。



山清電気株式会社

代表 代表取締役 伊藤恭彦
創業 1974（昭和49）年12月
資本金 2,000万円 従業員数 41名
本社 安曇野市穂高柏原2296

TEL.0263-82-8007 FAX.0263-82-8006

事業内容 水道凍結防止器、各種電熱器具の製造・販売



株式会社ジェー.ピー.イー

平成26年度

■事業計画名

果物の表皮の色測定装置（試作機）の開発と事業化への検討

■概要

果物の摘果時期やでき栄えを判断する時に、色見本を使用するが、個人差があり、ばらつきが大きく品質にも影響を与えている。

個人差をなくすため、現場で使用できる簡易的な色の識別機（試作機）を検討し、普及させることで事業化をはかりたい。

■分類

＜対象類型＞ ものづくり技術
情報処理
測定計測

＜事業類型＞ 試作開発＋設備投資

■成果

今回開発した簡易的な色の識別機（試作機）は、シャインマスカットの表皮色を正しく且つ細かく識別（判別）できる。

補助事業終了後、20台のモニター機を製作し、多くの現場で使用して頂き、情報収集と分析をして改善を進めている。又、市場に受け入れてもらう条件としてコストの半減を目指し、新規に3Dプリンターを購入して、試作を展開中である。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社ジェー・ピー・イー（上田市）

手がけた一点ものの自動機は1万9千台。
一貫体制で顧客の生産技術・品質管理を担う。

失敗を通して技術を蓄積

省力化とコストダウンを実現する自動機の開発に特化し、設計・開発から加工、組立までものづくりを一貫して手がける、ジェー・ピー・イー。

会社設立から29年にして、自動車、電気・電子、食品、医療、半導体、理化学などさまざまな業種にわたる顧客は個人から超大手まで約320社。手がけた自動機はほとんどが一点もので、その数は1万9千台にものぼります。

「我々は単なる機械屋ではなく、顧客の生産技術、品質管理のスタッフでなければならない。それが創業以来のポリシーです」と工藤武和社長。顧客の要望に臨機応変に対応できるよう、部品づくりからできる体制を作り上げてきました。現在、最新鋭マシンを含むさまざまな加工設備を揃え、金属・プラスチックの切削加工、板金、溶接など、ほとんどの加工を社内で行っています。

社員は42人。65歳以上の社員も5人活躍し、技術と経験を活かしています。

「専用機開発専門でやっていくには技術者30人前後が良い。そして、私の時間の60%を商品開発に向けると宣言し、技術者を育ててきました。開発は技術の研さんと経験がものをいう。まず失敗し、どうして失敗したのか、どうすればうまくいくのかを追究し、その経験を通して技術を蓄積していくことが大事だと考えています」。

自社製品の開発にも力を入れる

さまざまな業種の自動機を手がける同社ですが、最近では自社製品の開発にも力を入れています。

そのひとつが、ぶどう、アンズなどの種抜き機。工藤社長が友人から依頼され、安価なぶどう種抜



シャインマスカット用測色判定器「カラーメイトⅡ」と樹脂製色見本



カラーメイトⅡ開発に使用した3Dプリンター

き機を作ったのがきっかけでした。市場ニーズがある

ことが分かり、得意のロボット技術などを駆使して、大きさや形がまちまちな果実から確実に種を抜く機構を開発、製品化にこぎつけました。展示会での評判も上々。しかし「なかなか奥が深い」と、さらなる改良に挑戦中です。

ものづくり補助金に採択された「果実の表皮の色測定装置の開発」もその一環。人気の高級ぶどう、シャインマスカットは出荷時の表皮の色で品質等級グレードが決まり、全国一の生産量を誇る長野県には、最高ランクの色で統一して市場に出したいというニーズがありました。同社ではそれを受け、測定機器の開発をスタート。試作機の実験が収穫時期に限られるため、3Dプリンターを使い開発時間を短縮しました。

「カラーメイトⅡ（商品名）は表皮に光線を当てると厳密に色を判定し、音で知らせます。畑で使いやすいようボディも頑丈にし、値段も抑えました。栽培農家への普及が進めば、集荷所での判定・仕分け作業が大幅に省力化できます」。工藤社長はそう話し、装置の普及に期待しています。



ロボット技術を駆使した「種抜き機」



出荷前の大型自動機



株式会社ジェー・ピー・イー

代表 代表取締役社長 工藤武和
創業 1988（昭和63）年10月
資本金 3,500万円 従業員数 38名
本社 上田市富士山字鴻ノ巣2329-1

TEL.0268-38-3801 FAX.0268-38-3818

事業内容 専用機、省力機械、治工具等の設計・製作
および商品開発



信濃ワイン株式会社

平成26年度

■事業計画名

信州産醸造用ブドウによる日本ワイン高品質化のための製造プロセス革新

■概要

現在当社の日本ワイン製造技術は、原料処理品質及び原料処理の柔軟性に課題がある。

そこで本事業では信州産醸造用ブドウによる日本ワイン高品質化技術を、製造プロセスの高度化及び多様化により確立し、販路拡大を目指す。

■分類

＜対象類型＞ ものづくり技術

バイオ

＜事業類型＞ 設備投資のみ

■成果

信州産醸造用ブドウによる日本ワイン高品質化技術を、製造プロセスの高度化及び多様化により、ある程度達成した。今後、商品化、ブランド設立及び販路拡大を目指す。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

信濃ワイン株式会社（塩尻市）

桔梗ヶ原ワインの黎明期から、父から子へと受け継がれる手づくり製法に今再び新たな発想。

“本物”のワインづくりにこだわって

「曾祖父・塩原兼一が携わっていた製糸業の経営が徐々に厳しくなり、桑畑にぶどうを植えたのが今から100年前、1916（大正5）年のこと。ぶどうや野菜の適地として国策で産地化が進められる中で、ぶどうの生産者として塩尻桔梗ヶ原ワインの黎明期から深く関わってきたのです」。信濃ワインの塩原悟文社長は創業時をそう振り返ります。



「梅・熟メルロー」と「葡萄交響曲」

同社は国内はもとより、今や世界から良質なワイン産地として注目される塩尻桔梗ヶ原を代表するワイナリーのひとつ。まずぶどうの生産者として日本のワインづくりを支え、さらにワイナリーとして長い歴史の中で、つねに品質の高い“本物”のワインづくりにこだわってきました。

ワインづくりにかけるチャレンジ精神も旺盛。クラシック音楽を聴かせて良質な熟成を促しているという地下セラーにはゆったりとした時間が流れ、同社のこだわりの歴史が静かに息づいています。

ワインは国内外のコンクールで最高賞を含む各賞を多数受賞しているほか、2012年には「信濃桔梗ヶ原メルロー・バリック2006」がANA国際線のファーストクラスに採用。ワインの消費量拡大が続く中、国産ワインの評価を高め、その人気をさらに盛り上げる一翼を担っています。

製造プロセスの高度化と多様化を図る

ワイナリーとしての同社の信頼と評価を高めてきた塩原社長は次のように話します。「日本でもワインの裾野が広がり、世界に通用するワインの造り手も少なくありません。我々としてはお互



新たに導入した白ワイン製造プロセス

いに切磋琢磨しながら、長野県、日本、そして世界のワイナリーとの競争の中で自分の存在価値をどう示していくか。それが問われていると思います」。

同社ではものづくり補助金を活用し、新たに最新の製造設備を導入するとともに、従来設備も刷新。製造プロセスの高度化と多様化を図ることで、人気のスパークリングワインをはじめ、さらに高品質なワインづくりを目指しています。

「ワインは紀元前6000年の昔から造って飲んできたのだから、近代的な設備がなくても良いものはできるというのが私の考え。ところが若い人に聞くと技術は進んでいると言うし、確かに理解できる部分もある。ならば試行錯誤しながらでもやってみろと息子に任せました」と塩原社長。

海外で学んだ技術をベースに数々の新製品を生み出した塩原社長（4代目）から、新たな製造環



地下セラー

境と技術の導入によりさらに高品質なワインづくりを目指す5代目へ。父から子へと受け継がれてきた手づくり製法の伝統に停滞はありません。



本社ショップ



信濃ワイン株式会社

代表 代表取締役社長 塩原悟文
創業 1916（大正5）年5月
資本金 1,000万円 従業員数 15名
本社 塩尻市大字洗馬783

TEL.0263-52-2581 FAX.0263-52-2582

事業内容 ワイン、ブランデー、果汁の製造



株式会社信州蜂蜜本舗

平成26年度

■事業計画名

はちみつ専門店が作る究極のソフトクリーム製造設備の導入

■概要

専門店だからこそふんだんに使える地場の蜂蜜をフレーバー（味、香り、食感等）に使い、長野県産の果物・牛乳を原料に、松本らしい究極のソフトクリーム作りをする。

新しい名産品を開発し、販路拡大を目指すことで、中心市街地の活性化の一翼を担う。

■分類

- ＜対象類型＞ 革新的サービス
○付加価値の向上
新規顧客層への展開
商圏の拡大
独自性・独創性の発揮
ブランド力の強化
顧客満足度の向上
- ＜事業類型＞ 一般型
試作開発＋設備投資

■成果

地場の蜂蜜をフレーバー（味、香り、食感）に使い、長野県産の牛乳を原料に、松本らしい究極のソフトクリームを開発。製品化に向け試作を重ねモニタリングを実施し、高評価を得た2種類について商品化することにした。

さらに研究を続け顧客ニーズに合った商品を提供していく。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社信州蜂蜜本舗（松本市）

全国トップクラスの蜂蜜産地・信州で89年。
蜂蜜専門店のソフトクリームで若者にアピール。

専門店ならではの商品揃える

豊かな自然に恵まれた信州は、ミツバチを飼って蜂蜜を採る養蜂家の数は全国指折り。ここ数年は生産数で全国トップの実績を上げています。



店内の蜂蜜製品

信州蜂蜜本舗は1928（昭和3）年、深澤光一氏が養蜂業として松本で創業。65年頃まで松本を拠点に、北海道から鹿児島まで花を求めて移動しながら養蜂を行っていました。その間、業界紙「日本養蜂新聞」を発行したり、日本初の国産ローヤルゼリーの生産・販売に乗り出すなど、蜂蜜の普及に尽力。さらに不良品横行への危惧から87年に（社）全国ローヤルゼリー公正取引協議会を設立し、初代会長に就任しました。

現在、同社は養蜂は2割程度に抑え、専門店として店舗を構え、アカシア、とちの木、りんご、そばなどの蜂蜜の他、ローヤルゼリー、プロポリス、蜂の子といった副産物の販売を行っています。

「国産蜂蜜は中高年層に根強い人気があり、専門店ならではの商品を求めるお客様が増えています」と話すのは同社3代目、深澤博登常務取締役。健康に良い蜂蜜の魅力を広くアピールし、来店客層の拡大を図ろうと日々アイデアを練っています。

ソフトクリームで若者にアピール

そのひとつが、ものづくり補助金を活用した、蜂蜜専門店ならではのソフトクリームの販売。店舗が松本駅前広場と本町通りを結ぶ公園通りにあり、若者向けのファッションビルも近くにあるという立地を活かした取り組みです。

事業化にあたり各地で評判の店を視察し、共通して使われていたイタリア製の



ソフトクリーム

製造機械を導入。さらに原料となる地元産牛乳と蜂蜜

の最適な配合を研究し、蜂蜜専門店ならではのおいしさの商品化に成功しました。

「国産の機械ではまねできない、とてもクリーミーでおいしいソフトクリームができます。ソフトクリームは子どもから大人まで裾野が広く、蜂蜜との相性も良い。明らかに若い客層が多くなり、観光客も含めリピーターも増えています。店内の商品を見てもらう呼び水にもなっています」。

同社では2016年、「松本はちみつプロジェクト」として地元の井上百貨店と共同で屋上養蜂をスタート。採った蜂蜜を「城町はちみつ」として井上百貨店で販売し、地元客を中心に贈答用として好評を博しています。さらに信州松本女鳥羽せっけん工房と共同で蜂蜜由来の安全・安心な純石鹸「城町はちみつ石鹸」を開発。新たな顧客の開拓に取り組んでいます。



導入したイタリア製ソフトクリーム製造機械

「いろいろと工夫し、継続的に集客できる仕組みを考えていきたい」。深澤常務のアイデアはまだまだ広がりそうです。



株式会社信州蜂蜜本舗

代表 代表取締役 深澤政幸
創業 1928（昭和3）年4月
資本金 1,000万円 従業員数 5名
本社 松本市中央1-8-6
TEL.0263-32-2608 FAX.0263-36-8938
事業内容 蜂産品製造販売



信州ハム株式会社

平成26年度

■事業計画名

「無塩せき皮なしウインナー」の賞味期限を飛躍的に伸ばす革新的生産ラインの構築

■概要

「無塩せき皮なしウインナー」は賞味期限が15日と極めて短く、小売店で積極的に取扱量を増やせない原因となっていた。

本事業では、賞味期限を20日と飛躍的に向上させるべく、前殺菌工程での商品内残存菌ゼロへ、適正温度を保つ品温管理による微生物増殖の防止、人の介在を減らすことにより二次汚染の回避、分断化されたラインから一体化等、製造ライン全体を見直し、新たに機械装置を導入し、製造工程の抜本的な改革を行った。

■分類

- ＜対象類型＞ ものづくり技術
製造環境
- ＜事業類型＞ 設備投資のみ

■成果

当社のグリーンマーク商品は、発色剤・着色料・保存料・リン酸塩を使用しておらず、健康志向、安全・安心を求めるお客様に高く評価されている。

目標とする賞味期限20日を達成することが実証できた。今後販路拡大を図るとともに、より競争力の高い商品開発を行っていく。



平成27年度

■事業計画名

無添加ハム歩留まりを有添加ハム並みに！
革新的結着技術開発のための設備投資

■概要

無添加ハムは、合成結着剤を使わないため結着力が弱く、カット工程で不良が発生しやすい。

本事業では、味付けの液の管理技術と、味付け液を均一に浸透させるための結着技術を一新し、無添加ハムの歩留まりを有添加ハム並みに近づけるための設備投資を行った。

■分類

- ＜対象類型＞ ものづくり技術
製造環境
機械制御
- ＜事業類型＞ 高度生産性向上型
最新モデル

■成果

生産性の向上（20%）と、歩留まりの改善（最大6.4%）により、生産量を増加することができる新生産ラインを構築できた。

今回の無塩せきハム歩留まり向上の取り組みは、他製品へも波及する。特に無塩せきベーコンも同様の課題を持っており、より一層の生産性向上への応用が可能である。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

信州ハム株式会社（上田市）

「無塩せき」のパイオニアとして、美味しく、安全・安心なハム・ソーセージづくりを極める。

健康に良い商品を作る

信州ハムは1941年、上田で創業。「安心・安全・美味しさ、信州」をキーワードに、ハム・ソーセージを中心とする「信州ハム」ブランド商品を製造・販売しています。



信州ハムのこだわり商品

「健康に良い商品を作っているメーカーと自負しています」と力を込めるのは、小口昇執行役員・経営企画部長。その代表的な商品が発色剤、着色料、保存料、リン酸塩などの化学合成添加物を使用しない「グリーンマーク」商品です。75年に発売以来、安全・安心なハム・ソーセージを求める消費者ニーズに応え続けています。

一方、81年に発売開始した「爽やか信州軽井沢」はドイツ伝統の味を受け継いだ高級ブランド商品。10日間熟成させるなど約2週間かけて製造し、本物の味を求める消費者に人気です。

同社ではさまざまな消費者ニーズに応え、製造・販売する商品は約350アイテムと少量多品種。その中で「グリーンマーク」「爽やか信州軽井沢」のこだわりブランドを全体の50%以上にしようと生産部門と営業部門が連携して取り組んでいます。

画期的な生産ラインを構築

現在、スーパー等に並ぶ添加物を入れていないハム・ソーセージではトップブランドを誇る「グリーンマーク」。発色剤を使わない「無塩せき」というカテゴリーが業界内にできたのも、同ブランドが広く認知されたからといわれています。

同社工場では微生物制御を主体にしたバイオクリーンシステムを採用。各エリアで空調、換気、冷蔵庫の



「爽やか信州軽井沢」「グリーンマーク」など



ウインナーの生産ライン

温度・湿度管理を行い、無菌状態でパッキングするクリーンルームから他エリアへ空気が流れるようにするなど徹底した衛生管理を行っています。

それでも、保存料と酸化防止剤を使用しないが故に課題となっているのが、賞味期限が短いこと。同社では平成26年度ものづくり補助金を活用し、微生物増殖を防ぐ生産ラインと人の手を介さないベルトコンベアで包装機までつなぐ革新的なラインを構築。他社が容易に参入できない「無塩せき皮なしウインナー」の賞味期限を15日から20日へと飛躍的に延ばすことに成功しました。

また無添加のハムは合成結着剤を使わないためカット工程で不良が生じやすいことも悩みでした。同社では平成27年度ものづくり補助金で「無添加ハム」専用のインジェクションマシンと自動洗浄装置を導入。難しかった均一な味付けを可能にし、有添加ハムと同レベルの歩留まり率90%を実現しました。



無塩せき皮なしウインナーの革新的生産ライン

同社ではさらに、若い技術者を中心に子育て世代にアピールする価格を抑えたグリーンマーク商品の開発にも取り組んでいます。



信州ハム株式会社

代表 代表取締役社長 宮坂正晴
創業 1941（昭和16）年3月
資本金 1億円 従業員数 461名
本社 上田市下塩尻950



TEL.0268-26-8686 FAX.0268-26-8611

事業内容 ハム・ソーセージの製造・販売、惣菜の販売

セラテックジャパン株式会社

平成26年度

■事業計画名

非接触式3次元測定機の導入と高脆材料の高精度多穴加工技術の開発

■概要

電子部品の小型化が進むにつれ、高脆材料であるファインセラミックス加工への要求も、より高精度なものになってきている。

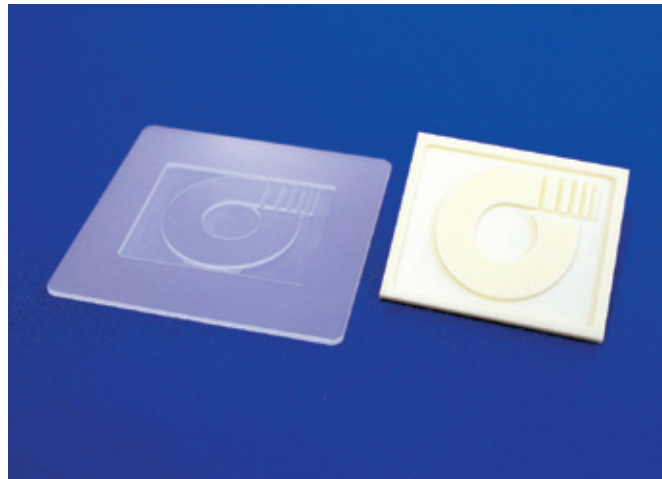
業界の技術革新のためには加工精度向上が必要不可欠であり、特に微細穴加工の実現は重要な位置にあるため、高精度多穴加工技術の確立を目指す。

■分類

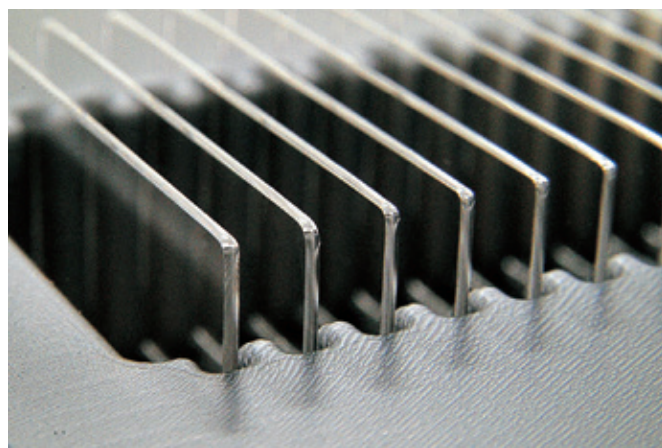
- ＜対象類型＞ ものづくり技術
精密加工
測定計測
- ＜事業類型＞ 設備投資のみ

■成果

非接触式3次元測定機を導入することで、大口径サイズに対応できるようになり、さらに測定精度が向上し、量産品の測定時間も短縮された。また芯出し顕微鏡を用いることで加工位置精度が向上し、超音波ユニットによって加工寸法バラツキが抑えられたことで、高精度多穴加工の実現に近付いた。



マシニング加工品



端面研磨



ポリッシュ研磨

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

セラテックジャパン株式会社（長野市）

独立系加工専門メーカーとして技術の幅を広げ、あらゆる加工ニーズに応える企業を目指す。

自主独立の道を歩む

セラミックスやガラスなど硬くてもろい脆性材料の高精度加工に特化し、電子部品・光学部品メーカーから高く評価されているのが、セラテックジャパンです。



脆性材料の加工工程

同社はもともと下請けとしてセラミックス等の切断を手がけていました。独自に創意工夫を重ね、加工精度を高めるとともに大幅なコストダウンに成功し利益体質を確立。切断から研削、研磨（ラッピング、ポリッシング）と技術領域を広げ、業容拡大を図りました。そして独自技術を武器に下請けからの脱皮を図ろうと、自らの営業努力で直接受注を獲得していく経営に転換。以来、「提案型加工サービス」を提供する加工専門メーカーとして、系列や特定企業に依存しない自主独立の道を歩んでいます。

現在、電子部品に使われる各種セラミックス、ガラス、機能結晶などのラッピング加工、ポリッシング加工の受注が特に多く、忙しい毎日です。

「電子部品の高効率化に欠かせない、ヒートシンクと呼ばれる熱伝導性にすぐれた絶縁材料を高精度に加工する技術があり、特にその注文が集まっています」と西野入隆取締役事業推進部長。他社では難しい加工に対応できる技術的優位性により、大手上場企業を中心とする顧客から厚い信頼を得ています。

加工技術で困り事に対応する会社に

「お客様からの図面に研磨だけでなく、穴開け加工の仕様が入っていることがあります。それは本来当社の得意技術ではありませんが、それも含めて加工できれば当社にとってさらに大きな強みになると取り組みました」

既存技術で業績が伸び



超音波ユニットを取り付けたマシニングセンター

ている同社ですが、それに甘んじることなく顧客の新たなニーズをくみ取り新しい技術を確立していこうと、ものづくり補助金を活用。非接触式3次元測定機、位置決め精度を高める芯出し顕微鏡、マシニングセンターに取り付ける穴開け加工用の超音波ユニットを導入しました。高精度な穴開け技術を取り込み、ウエハプロセスの製造技術を確立しました。

西野入部長は同社の将来構想について次のように話します。「電子部品など既存分野にとらわれず、お客様のニーズをできるだけ取り込み、加工技術のレパートリーを広げていきたい。加工技術でお客様の困り事に対応する会社として業界で認知されていきたい」。

同社は平均年齢30代前半。若者の採用、育成に積極的で、子育て支援や働きやすい職場環境づくりにも力を入れています。2015年には子育てサポート企業として厚生労働省が認定する「くるみん」認定、「職場いきいきアドバンスカンパニー」認証を受け、16年には「ユースエール認定」制度において長野県初の認定企業となりました。



芯出し顕微鏡

育児休暇制度の取得率は比較的高く、復帰率は100%。それは職場部署内はもちろん、部門を超えた社員同士の協力体制の賜です。



セラテックジャパン株式会社

代表 代表取締役社長 平林 明
創業 1968（昭和43）年11月
資本金 1億円 従業員数 182名
本社 長野市篠ノ井岡田500



TEL.026-293-9666 FAX.026-293-9667

事業内容 各種セラミックス、ガラス、水晶、石英、機能結晶等の加工など

大信州酒造株式会社

平成26年度

■事業計画名

温調設備導入に伴う製造期延長と生産増による国内外の需要増への対応

■概要

製麹機とサーマルタンクを組み合わせることで、外気温が上がる時期でも高品質な清酒を造ることが可能となり、従来に比べて約1か月製造期間を延長することで、増加する国内外の需要に応えることができる。



■分類

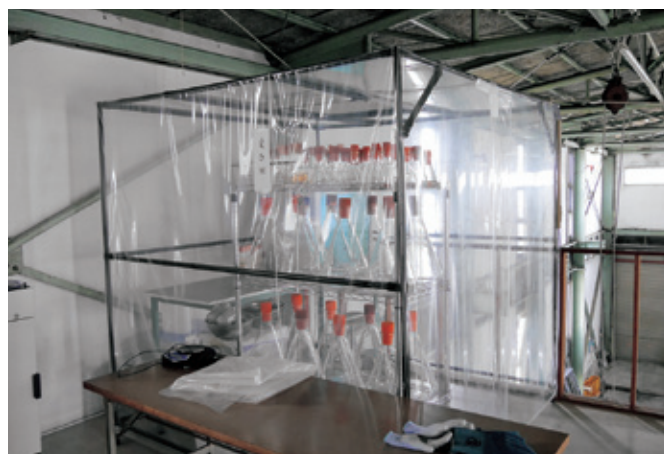
＜対象類型＞ ものづくり技術

製造環境

＜事業類型＞ 設備投資のみ

■成果

温暖期にも良質な麹を造れる自動製麹機と冷温管理の可能なサーマルタンクの導入で、仕込み時期を延長し、特定名称酒と呼ばれる高級酒の生産量を増やすことができた。これにより、国内外の増大する需要に対応することができた。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

大信州酒造株式会社（松本市）

恵まれた地域の自然・風土を活かし、「本質」を極める酒造りを追求する。

徹底して品質にこだわった酒造りへ

水が豊富で昼夜の寒暖差が大きく、湿度が低いという長野県の気候風土は酒造りに最適。実際、長野県は蔵元の数では全国2位の酒どころです。

大信州酒造は戦後、松本と豊野の別の蔵が対等合併し、醸造を豊野蔵に集約。松本蔵では製品化と出荷を担い、主に東京市場での需要に就いていました。しかし1980年代になると価格競争に巻き込まれ、気がつけば「安酒」というイメージがついていました。

田中隆一社長が同社に入社したのは、そんな状況の中（1987年）。以来、徹底して品質にこだわる酒造りへと大転換を図ります。

まず米の調達を県内農家の契約栽培に徐々にシフト。現在11軒の契約農家と一緒に高品質な米づくりに挑戦し、2016年には長野県産米「ひとごち」、「金紋錦」100%での醸造が可能になりました。仕込み水は酒造りに最適といわれる松本の井戸水。最盛期には連日、松本と豊野を往復します。

「酒造りは農業の延長線」と田中社長。「こんなに恵まれた環境で酒造りができるのは本当にラッキー。それで当社は『天恵の美酒』とうたっているんです」。

同社の酒はほとんどが純米大吟醸、純米吟醸といった特定名称酒。丁寧な酒造りにより、酒そのもののおいしさを届けることで、他社との差別化を図っています。

酒造りの本質を継承しながら

あくまでこだわるのは「手造り」。機械で造る酒はアベレージはとれても飛び抜けたものはできません。しかし手造りなら、高い技術で丁寧に造ればそれも可能になります。「毎年変わる環境の中で造るのが我々の基本。だから手抜きをしたらだめ。どれだけ真摯に酒に向き合えるかが勝負な



商品が並ぶ直売所。壁には国際大会での受賞成果がズラリ



新型製麹機。
パネルヒーターで室内温度を上げる



冷温管理を行うサーマルタンク

んです」と田中社長は力を込めます。

もっとも、品質を上げるための機械化は排除しません。ものづくり補助金を活用し、温暖期にも良質な麹を造ることができる製麹機、冷温管理が可能なサーマルタンクを導入。さらにパストライザーにより絞った酒を冷たいまま瓶詰めし、加熱殺菌と急冷の工程を素早く効率よく行うことが可能になりました。一連の設備投資で高付加価値・高利益の製品化の環境が整うと期待しています。

酒造りに関わるのは40代から20代までの社員10人。91歳まで現役だった先々代の下原杜氏、先代の小林杜氏が築いてきた酒造りの本質を継承しつつ、さらに品質の高い酒造りに挑戦しています。

「先代杜氏が引退し、社員だけで造るようになって2シーズン目。酒造りにかける先人の技術や思いを我々がどれだけ受けとめ、アウトプットできるかが試されている。酒造りの本質を踏み外さな



衛生的かつ効率的に瓶詰めできる新型充填機

いことを大事にしながら、我々の酒造りを試してみようと思っています」。

同社の実験的な酒造りはまだまだ続きます。



大信州酒造株式会社

代表 代表取締役社長 田中隆一
創業 1888（明治21）年11月
資本金 4,000万円 従業員数 22名
本社 松本市島立2380
TEL.0263-47-0895 FAX.0263-47-8007
事業内容 清酒、リキュールの製造



大雪溪酒造株式会社

平成26年度

■事業計画名

お米本来の香りと旨みを活かした『特別純米酒』の開発と事業化

■概要

清酒製造工程の環境改善により、国内外に高付加価値で安全性の高い特別純米酒「直汲み」を供給する。

■分類

- ＜対象類型＞ ものづくり技術
製造環境
- ＜事業類型＞ 設備投資のみ

■成果

商品の高品質・高付加価値化を目指し、清酒製造工程の1つ「上槽」設備の改善導入を行った。

新たな設備により、当社が目指す「鮮度」にこだわった高付加価値商品を安定生産することが可能となり、純米酒は前年比111.2%、純米吟醸酒は前年比113.8%と2桁以上伸びており、当初の計画を上回る実績を残すことができている。今後も積極的に販促活動を行い、売り上げ増加につなげていきたい。



平成27年度

■事業計画名

高品質・高付加価値商品の安定した生産システムの構築

■概要

「量より質」を求めている消費者ニーズに応えるため、清酒製造最終工程である瓶詰め工程設備を刷新し、今以上に品質向上させた高付加価値商品の安定した生産システムを構築し、ロイヤルユーザーの獲得を目指す。

■分類

- ＜対象類型＞ ものづくり技術
製造環境
- ＜事業類型＞ 高度生産性向上型
最新モデル

■成果

「量より質」を求めている消費者ニーズに応えるため、清酒製造最終工程である瓶詰め工程設備の刷新を行った。

低温殺菌後に急冷を行い、品質を保つことで今まで以上に高品質な商品をエンドユーザーに届けることが可能となり、今後の販売拡大が期待される。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

大雪溪酒造株式会社（池田町）

「強みを発揮しないと生き残れない」
安全・安心と酒質向上を目指して設備投資。

普通酒の酒質向上に力入れる

1898（明治31）年創業の大雪溪酒造。日本三大大雪溪のひとつが白馬岳にあることにちなんだ銘柄「大雪溪」は1953（昭和28）年、全国新酒観評会で最優秀賞に輝き、皇室献上酒にも選ばれました。



蔵元直営店「花紋大雪溪」に「大雪溪」が並ぶ

地元で親しまれる酒造りをポリシーにした同社商品の8割を普通酒が占め、県内中堅クラスの生産量を維持。その約9割が長野県内で消費されています。

清酒消費量が落ち込む中、純米酒や吟醸酒といった特定名称酒は増加傾向にあり生産に力を入れる酒蔵が多く、県内では特定名称酒比率が6割に上ります。その中で普通酒が8割という実績は、毎日飲まれる酒をよりおいしくするための同社の努力が地元で認められてきた成果ともいえます。

「普通酒の酒質向上に力を入れるとともに、より多くの消費者に届けられるようスーパー・コンビニなど大きなチャンネルでの販売にも力を入れています」と話す薄井結行専務取締役は、現在34歳。

薄井専務はこう続けます。「とはいえ世の中のニーズに応え、特定名称酒の比率をもっと高めていきたい。そのための設備投資をしようと、ものづくり補助金を申請しました」。

既存ビン詰めラインを一新

平成26年度補助金では、商品の安全・安心に問題があるとされるアルミを使った既存上槽設備（簀田式ろ過圧搾機）をアルミ不使用の新設備に更新。平成27年度補助金で瓶火入



アルミ不使用の新しい上槽設備
（簀田式ろ過圧搾機）

れを自動化するパストライザーと打栓機を導入し、さらに自己資金で充填機、ラベル貼り機なども加え、既存の瓶詰めラインを一新しました。



自家精米設備

また同社では自家精米機を導入しています。原料の酒米は地元契約農家を中心に長野県内から調達していますが、共同精米では他の米と混ざってしまうためです。さらに精米後の糠を精米歩合ごとに自動で仕分けする設備も整えました。

「少子高齢化、若者のアルコール離れが続く中、安全・安心と酒質向上を図り、より多くの販売チャンネルに置いてもらえる商品づくりをしていきたい。他社にはできないアイテムをより多くのお客様に発信できる当社の強みを発揮していかないと将来生き残れないと思っています」。思い切った設備投資はこの強い危機感からでした。

同社のもうひとつのキーワードは「発信力」。

築150年の蔵元の主屋を再生し、直営店限定商品を含む同社商品を販売する蔵元直営店「花紋大雪溪」をオープン。重厚な佇まいの古民家や庭園も開放しリピーターを増やしています。英語ができるスタッフを入れ、海外の展示会にも積極的に出展しています。

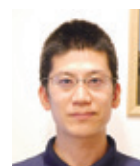


大型のパストライザー



大雪溪酒造株式会社

代 表 代表取締役 薄井敦行
創 業 1898（明治31）年
資 本 金 2,000万円 従業員数 20名
本 社 北安曇郡池田町会染9642-2
TEL.0261-62-3125 FAX.0261-62-2150
事業内容 清酒製造



株式会社ダイヤ精機製作所

平成26年度

■事業計画名

高速高精度スピンドルを搭載した振動切削微細穴加工装置の開発

■概要

難削材の微細穴加工が急増しているが、加工が難しいためコストが高く、深穴はあけることができない。

振動切削加工技術と高速高精度スピンドル技術を融合した業界初の加工装置の開発を行い、受託加工の増加を目指す。

■分類

- ＜対象類型＞ ものづくり技術
精密加工
- ＜事業類型＞ 試作開発＋設備投資

■成果

振動切削加工技術と高速高精度スピンドル技術を融合した業界初の振動切削微細穴加工装置の開発を行い、難削材の微細穴加工において、従来のマシニングセンタでの加工と比較して23.5～29.8%のコストダウンを実現した。

平成27年度

■事業計画名

燃料電池車の水素バルブ部品の生産合理化

■概要

燃料電池車の水素バルブ部品は、耐熱高強度の難削材が使用され、加工精度・品質もエンジン部品と比べ10倍以上のレベルが必要である。

長年試作に取り組んだ加工技術を生かし、量産のための生産技術を開発する。

■分類

- ＜対象類型＞ ものづくり技術
精密加工
- ＜事業類型＞ 高度生産性向上型
最新モデル

■成果

燃料電池車用水素バルブ部品の加工の合理化を行った。難削材である耐熱高強度材料SUH660への微細な溝の切削加工において、設備導入および治具・プログラムの製作、加工試験を行い、従来の加工時間の約1/3を達成できた。

生産性の大幅な向上が図られ、量産への目途が立った。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社ダイヤ精機製作所（岡谷市）

最先端の製品・技術分野で輝く、
高精度な金属加工技術と一貫生産システム。

技術と品質を売り物に

「ものづくりをダイヤのように輝く技術でサポートする」。ダイヤ精機製作所の社名には、ものづくりを支える高い技術力への自信が込められています。

同社は高精度な金属加工技術と一貫生産システムを駆使し、半導体製造装置、精密機械、航空機、医療機器、自動車など、さまざまな製品分野で多品種少量生産に対応。特にCNC自動旋盤などに取り付け、材料やワークを固定するコレットチャック、スピンドル（旋盤等の回転軸）およびそのユニットは、精度の高さが国内外で高く評価されています。また、高精度スピンドルユニットを活かした微細穴加工機（ピサイア）など自社ブランド製品も約3割を占め、今後さらに増やしていこうと取り組んでいます。

1951年創業以来、カメラや測定機などの部品製造を手がけていた同社。技術力の高さには定評がありましたが、60年代半ばに転機が訪れます。当時、ものづくり企業の多くが量産体制にシフトする一方で、高い技術力を背景に治工具などの多品種少量生産に特化していく道を選んだのです。

「他社と同じ事をやっても仕方ない、技術者集団として技術と品質を売り物にしていこうと先代社長が決断しました」と小口裕司社長。その後、経済環境の変化で方針転換を余儀なくされた企業も多い中、まさに時代を先取りした選択でした。

最先端の製品・技術分野で輝く技術

小型精密化、軽量・高強度化など付加価値の高い製品づくりのニーズが高まる中、同社には自動車、航空宇宙、通信といった先端産業分野から難削材の微細穴加工



コレットチャック



振動切削微細穴加工装置

の依頼が増えています。加工には高価な高性能マシニングセンターが必要で、しかも深穴加工は困難です。

そこでもものづくり補助金を活用して取り組んだのが、高速高精度スピンドルを搭載した振動切削微細穴加工装置の開発。難削材加工に有効な振動切削加工技術と、微細穴加工に対応する高速高精度スピンドルを組み合わせた、業界初の加工装置を完成させました。

「振動切削によって難削材の加工効率が上がり、刃物の消耗を抑えコストダウンにもつながる。さらに従来不可能だった加工もできるのではないかと研究開発に取り組みました。今後この装置を積極的に売り込んでいきたいと考えています」。

情報機器や工作機械、F1マシンなどの開発支援・部品試作等を多く手がけ、時代を創ってきた同社。現在も、例えば燃料電池の重要部品を担うなど、同社の技術は最先端の製品・技術分野で輝いています。

「ヨーロッパにはニッチトップ、つまり特殊な分野で高い技術、シェアを誇る企業が多い。当社もそんな世界的ブランドとして認知される会社を目指したいと思っています」。

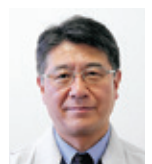


5軸制御立形マシニングセンター



株式会社ダイヤ精機製作所

代表 代表取締役社長 小口裕司
創業 1951（昭和26）年5月
資本金 4,000万円 従業員数 154名
本社 岡谷市長池片間町1-4-20



TEL.0266-27-7733 FAX.0266-26-1188

事業内容 精密機械器具製造

高島産業株式会社

平成26年度

■事業計画名

卓上多機能加工機マルチプロ新機種開発による販売領域の拡大化

■概要

マルチプロの販売領域拡大には高能率生産への対応が課題である。

そこで高能率の穴あけ加工とフライス加工を実現するため、高速加工機能や同時加工機能を搭載する新機種を開発し現在の3倍の生産設備市場獲得を目指す。

■分類

- <対象類型> ものづくり技術
デザイン
精密加工
- <事業類型> 試作開発+設備投資

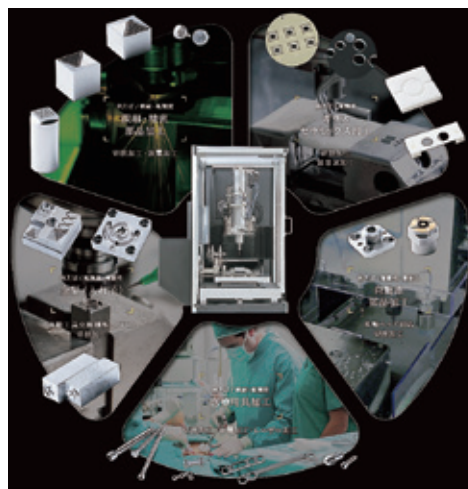
■成果

マルチプロの販売領域拡大には高能率生産への対応が必須であるため、高速加工機能や同時加工機能を搭載した高能率の穴あけ加工機と3個同時のフライス加工機の新機種の試作機を開発した。これによりマルチプロの販売領域の拡大が期待できる。

補助事業での開発品を含めマルチプロ本体（ベースマシン）及び各種オプションユニットのコストダウンを実施。市場に受け入れられやすい装置に仕上げていく。



マルチプロV



微細・精密加工が可能



精密加工技術応用
金属内部構造解析「三次元内部構造顕微鏡」

金属精密微細加工をコア技術に医療機器、
自社ブランドDTFで独自のものづくりを目指す。

金属精密微細加工技術を追求

金属の精密微細加工を基盤技術に、半導体デバイス、医療機器、省力化設備の開発・設計などを手がける高島産業。経営理念に「私たちは挑戦していることを誇りとして行動します」とうたう通り、同社は創業以来つねに新しい技術に挑み続けています。

同社は1945（昭和20）年3月、酒樽などの木樽を作る木工技術を生かし、飛行機燃料補助タンク製造会社として創業。終戦後は柱時計の木枠なども手がけましたが、腕時計部品の製造に挑戦したのをきっかけに金属精密微細加工技術を追求してきました。

その後、時代のニーズをとらえ、半導体デバイス、セラミックス微細加工、医療機器関連と新たな分野に挑戦。各種省力化設備の開発・設計にも積極的に取り組み、現在は省スペース・省エネ・省資源を実現する自社ブランドの卓上多機能精密加工機（DTF）「マルチプロ」の開発に力を入れています。

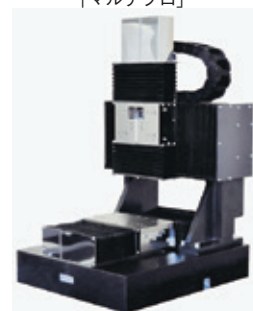
「事業展開のテーマは、マルチプロの売上げ拡大と医療機器への進出。付加価値の高いこの分野を全売上げの4割程度にまで伸ばしていきたいと取り組んでいます」と話すのは、遠藤千昭常務取締役。微細レーザー加工によるステント、形状記憶合金を使用した鋼製医療機器、チタンなどの難削材の加工と、医療機器は同社の微細高精度加工技術の結晶であり高く評価されています。

自社ブランド製品「マルチプロ」

「当社は4つの技術部門がそれぞれ生産ラインごとに専用機を開発していますが、手間も資金もかかる。一方、DTFは3軸を持ったベースユニットのヘッドを変えるだけで切削加工、研削加工、



卓上多機能精密加工機
「マルチプロ」

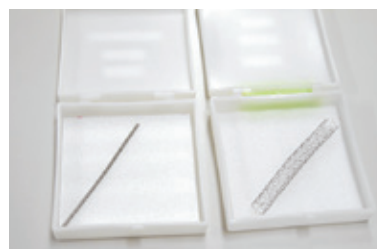


放電加工ができる。この構造は当社の事情に合い、社内でも活用していこうと1998年、開発をスタートしたのです」。

以来、社内設備として改良を重ね、2005年自社ブランド製品「マルチプロ」第1号機を販売。09年「第3回ものづくり日本大賞」優秀賞を受賞を機に販売拡大を図ってきました。

一方で、より競争力のある製品づくりを目指し、各部門の責任者と若手のキーマンたち20名がチームを組み、原価低減、営業方法、ニーズのキャッチアップなどに取り組んでいます。その活動の中から新機種開発への取り組みがスタート。ものづくり補助金を活用し、生産ラインへの導入を前提に本体剛性を高め、防塵性や安全性にも配慮した改良を加えました。完成品を展示会に出品し積極的にアピールしています。

「医療機器でも自社製品でも、従来のものづくりプラスアルファが確実にできる会社を目指したい。挑戦し続けるのは大変なこと。でも、つねに



医療機器（ステント）

そうありたいと思っています」と遠藤常務。18年、同社はマルチプロの生産体制を現在の3倍程度に拡張する予定です。



5軸レーザー加工機



高島産業株式会社

代表 代表取締役社長 小口武男
創業 1945（昭和20）年3月
資本金 2,400万円 従業員数 230名
本社 茅野市金沢5695-6



TEL.0266-52-3311 FAX.0266-52-3316
事業内容 精密部品加工／デバイス技術加工、各種機器設計製作

ナパック株式会社

平成26年度

■事業計画名

粉末冶金における焼結ガス導入方法の省エネ型への変革

■概要

粉末冶金の焼結時、毒性を持つアンモニアガスを多量のエネルギーを用いて熱分解し水素・窒素混合ガスを得る方法から、純水素と純窒素を熱エネルギーを用いずに混合器で混合し、電気炉へ導入する省エネ型の方法へ変革する。

■分類

＜対象類型＞ ものづくり技術
製造環境
材料製造プロセス
＜事業類型＞ 設備投資のみ

■成果

水素ガス、窒素ガス混合装置の設置を完了する。

これからアンモニア分解ガスを、設置した設備で製造された水素、窒素混合のガスを電気炉に使用し、製品サンプルを作り、製品評価（硬度、切削性）、分析を行う。社内評価で合格すれば、顧客に4M変更申請書、製品サンプル、データを提出し、変更承認を頂き、ガスの切り替えを実施する。



平成27年度

■事業計画名

工作機械の高精度化に寄与する粉末冶金法による制御部品の製造方法の確立

■概要

粉末冶金法による工作機械制御部品の特許取得し製造している。顧客から高速化に対応できる高精度製品の供給を求められている。

弊社の特許で外径加工した製品に、更にIoTを用いた最新型の工作機械を導入し、監視、保守、分析を行い、高精度化対応製品の製造を実現する。

■分類

＜対象類型＞ ものづくり技術
精密加工
機械制御
測定計測
＜事業類型＞ 高度生産性向上型
IoT

■成果

顧客から高速化に対応できる工作機械制御部品の高精度製品の供給を求められた。

弊社の粉末冶金法と特許で外径加工した製品に、更にIoTを用いた最新型の工作機械を導入し、監視、保守、分析を行い、高精度化対応製品の加工及び加工時間の短縮を実現した。



好機逸すべからず

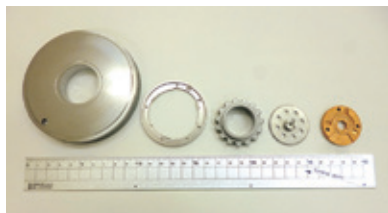
「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

ナパック株式会社（駒ヶ根市）

高度な精密部品をさらに省エネ・省コストでつくる。
粉末冶金専門メーカーとしての果敢な挑戦。

粉末冶金で高精度な製品づくり

鉄、銅、ステンレスなどの金属粉末を成形・焼結して金属製品をつくる、まるで陶磁器のような作り方を^{やきん}する製法が、粉末冶金です。



粉末冶金製品群

複雑な形状の製品を低コストで大量生産できる、複数の粉末金属の調合により素材の性質を調整できる、などの特徴を持ち、内部にある多くの気孔に潤滑油を含ませて油補給不要の軸受をつくることも可能です。

ナパックは粉末冶金の専門メーカー。自動車、産業機器、電機・電子など幅広い分野で、サイズ、形状を問わず高精度な精密製品づくりを行っています。また、磁石の金属粉末とプラスチックを混合してつくる、希土類ボンド磁石の開発・製造・販売も手がけています。

同社は1966年、DCマイクロモーターの部品組立で創業しました。数年後、モーターの含油軸受の生産をスタートしたことから粉末冶金に進出。80年代後半、取引企業のモーター製造の海外移転に伴い、粉末冶金専門にシフトしました。

希土類ボンド磁石には一般的な磁石の性質の「等方性」と、ある方向にのみ強い磁力を持つ特殊な「異方性」の2種類があります。異方性磁石は成形時に粉の向きを揃えるプロセスが難しく、特に高い技術ノウハウを必要とします。同社は異方性磁石メーカーとして世界でもトップクラスの実績を誇っています。

過去最高の売上げを達成

粉末冶金の弱点は、焼結する際、酸化を防ぐために酸素を取り除く還元性ガス（水素など）を大量に使うことと、電気炉の電気代がかさむこ



と。同社では実に、本社工場で使用する電気の50～60%が電気炉で消費されています。



水素ガス・窒素ガス混合装置

コスト対策として、同社はまず太陽光発電を導入。さらにものづくり補助金を活用し、本格的に省資源・省エネ型システムへの変更に取り組みしました。鈴木社長は次のように話します。

「従来、還元性ガスのコストダウンを図るため、アンモニアを熱分解して窒素と水素にし、それを電気炉内に入れていました。液体水素、液体窒素を気化させて混合ガスを使用する方法に切り換えることで有毒なアンモニアを廃止し、熱分解に費やしていた大量のエネルギーコストを削減。さらに昼夜を問わず頻繁に行っていたガスボンベの交換作業をなくすることが可能になり、電気炉の夜間無人稼働への布石にもなりました」。

同社では今年度（2017年）、過去最高の売上げを達成する見通し。HV・PHV・EV自動車部品など、これまで進めてきた技術開発の成果が実り、活発な生産が続いていることなどがその要因です。



希土類ボンド磁石群

「現在もかなりの研究開発テーマを抱えています」と鈴木社長。好調な業績はまだまだ続きそうです。



ナパック株式会社

代表 代表取締役社長 鈴木 隆
創業 1966（昭和41）年6月
資本金 9,600万円 従業員数 125名
本社 駒ヶ根市赤穂14-1823



TEL.0265-82-5266 FAX.0265-82-5270
事業内容 粉末冶金製品、希土類ボンド磁石製品の製造

株式会社西軽精機

平成26年度

■事業計画名

医療機器部品高度精密洗浄体制確立

■概要

医療機器部品への異物の付着やキズ等を取り除くことは、医療機器における重要な要求品質である。コンタミネーションや菌類発生等の悪影響を防ぐ、高洗浄能力かつ高効率の洗浄装置を設置し、医療機器高度化に資する。

■分類

＜対象類型＞ ものづくり技術

精密加工

＜事業類型＞ 設備投資のみ

■成果

医療機器部品の高度精密洗浄体制を整えるためにNCC株式会社製炭化水素真空超音波洗浄装置を導入した。その結果、手作業で追加洗浄する部分が減り、品質を損なうことなく部品の精浄度を高くすることができた。



平成27年度

■事業計画名

難削材での医療用複合超精密部品の一体加工体制の確立

■概要

強みである難削材加工技術、多品種小ロット、短納期、高品質をベースに、最新設備導入で医療機器等の基幹部品ニーズである複雑形状超精密化と部品複合化への高度化要求対応体制を確立する。

■分類

＜対象類型＞ ものづくり技術

精密加工

＜事業類型＞ 高度生産性向上型

最新モデル

■成果

医療機器等の基幹部品である複雑形状精密部品を加工するために、新型NC旋盤を導入した。

その結果、複雑形状超精密化と部品複合化への高度化要求対応体制を確立することができた。

今後は拡販活動に注力する。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社西軽精機（佐久市）

難削材加工にシフトし、医療分野が約6割。
加工品質向上のための設備投資を進める。

難削材加工にシフト



難削材を加工した精密機器部品

「その時、チタンの加工は初めて。どこもやったことがないことをやれ、が口癖の会長はチャンスだと思ったのでしょう。すぐに仕上げて納めました。当社がチタンをはじめとする難削材加工にシフトしたのは、これがきっかけでした」

そう話すのは、西軽精機の上原大輔社長。同社は上原和友会長が1979年、時計部品などの精密機器部品を手がける金属加工メーカーとして創業しました。当時から多品種少量生産を志向し、外径0.3ミリから35ミリまでの製品の精密加工を得意としています。

現在、約6割が医療分野。そのきっかけとなったのが冒頭の15年ほど前のエピソードです。同社の評判を聞きつけた、人工透析機を手がける大手メーカーから突然舞い込んだチタンの部品加工が高く評価され、以来医療分野からの引き合いが増加。同社ではさらに難削材加工のノウハウを深め、付加価値の高いこの分野にシフトしてきました。

「当社では難しいもの、納期がないものは断りません。困った時の西軽頼み、というありがたい評判もあるようです（笑）。重要部品なのにどうしてもうまくいかない、と持ち込んでこられるものも多く、感謝されています」。

最新鋭NC加工機で複雑形状部品加工

同社では加工品質向上のため補助金を積極的に活用しています。

従来、複雑な形状の製品では手作業で追加洗浄するケースが多く、ダコンやキズがついたり、3ミリ径の細長い穴の精密洗浄にはかなりの手間がかかっていました。そこで医療機器部品の高度精密洗浄体制を整



炭化水素真空超音波洗浄装置

えるため、平成26年度ものづくり補助金を活用し、炭化水素真空超音波洗浄装置を導入しました。

平成27年度補助金では、B軸付の最新鋭NC加工機を導入。顧客医療機器メーカーからのニーズが高い部品点数削減のための複雑形状部品加工と、さらなる精度向上、納期短縮、コストダウンに対応できる体制を確立しました。「今後この機械を必要とする加工図面が出てくると先行投資的発想もありました」。

人の心を大切にし、社員の豊かな人間性を重視する同社。それが端的に表れているのが工場です。「創業以来、工場は木の床にしています。柔らかく疲れないから。エアコンも完備しています」

上原社長は経営の根幹を「社員の幸せ」に置き、すべての判断基準にしています。「おかげさまで経営はとても良い状況にあります」と言うように、業績にも表れています。

「今後の課題は働き方改革」と上原社長。「長時間労働の是正など、本腰を入れてやっていこうと



工場内は木の床

考えていますが、まだまだこれから。近い将来『日本で一番大切にしたい会社大賞』が受賞できる会社づくりを目標にしています」。



株式会社西軽精機

代表 代表取締役社長 上原大輔
創業 1979（昭和54）年9月
資本金 3,000万円 従業員数 32名
本社 佐久市小田井1077-18
TEL.0267-68-7104 FAX.0267-68-7124
事業内容 NC複合自動旋盤による医療機器、産業用機器部品の製造

株式会社マルモ青木味噌醤油醸造場

平成26年度

■事業計画名

みその新規海外需要に応えるための専用充填包装機の導入

■概要

「無添加・非加熱の有機・ハラール・コーシャ認証みそ」を製造する専用包装機を導入し、原料や品質に厳しいヨーロッパや宗教面で制約があるアメリカ、中東向けに、みそを輸出し、世界に和食を発信する一役を担う。

■分類

- ＜対象類型＞ 革新的サービス
○付加価値の向上
新規顧客層への展開
商圏の拡大
独自性・独創性の発揮
機能分化・連携
- ＜事業類型＞ 一般型
設備投資のみ



■成果

「無添加・非加熱の有機・ハラール・コーシャ認定みそ」を製造する専用の充填包装機を導入し、原料や品質に厳しいヨーロッパや宗教面で制約があるアメリカ、中東向けのみそを生産できる体制が整備できた。



天然蔵

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社マルモ青木味噌醤油醸造場（長野市）

有機、国産原料100%の生味噌にこだわる。
さらにきめ細かいニーズに対応し、海外市場へ。

有機味噌では業界3位

日本の食卓に欠かせない味噌の全国生産量は現在約42万トン。そのうち長野県内で生産される「信州味噌」は約50%のシェアを誇ります。もっとも食の多様化（西欧化）などにより、全国の出荷量は微減が続き、今後もその傾向は強まるとされています。



有機玄米味噌赤300gカップ

マルモ青木味噌醤油醸造場は1928（昭和3）年、糀の製造販売からスタートし、しょう油から味噌専業へとシフト。現在、大豆、米などの原料はすべて国産もしくは有機。しかも無添加、あるいはアルコール添加により酵母菌を静菌したこだわりの生味噌づくりに特化しています。「大手メーカーとの差別化を目指し、40年ほどかけて付加価値の高い味噌づくりに取り組み、ブランド化を図ってきました」と同社の青木幸彦社長。

同社では生産量の増加に対応するとともに、厳しい衛生管理基準に適合するため設備投資を積極的に行ってきました。そうした長い取り組みにより有機味噌では業界3位という地位を獲得。百貨店・スーパーなど品質にこだわる取引先から高く評価され、生活クラブ生協のPB商品も手がけています。

一方、日本の米づくりを守ることが国土の保全につながっているという事実を広く知ってほしいという発想から、JA、生活クラブ生協との農商工連携事業にも取り組んでいます。「これも中央会にお世話になり農商工連携補助金を活用しました」。

海外需要にきめ細かく対応

今回、同社がものづくり補助金を活用して導入したのが、有機・ハラール・コーシャ認証に対応した小容量の味噌充填包装機。

味噌は国内需要が減少する一方で、近年輸出が伸びています。欧米を中心に日本人の健康長寿に深く関わる食品として注目され、健康食品として

食べる人が増えているのが理由のひとつ。「和食」を海外に積極

的に紹介しようという国の政策も追い風に、味噌業界では海外のさまざまな展示会に出品し商談を行う動きが目立ってきています。

同社も海外業者と密接にコミュニケーションをとりながら、国産原料や有機原料使用の味噌を各国のニーズに合わせて輸出しています。さらに有機JAS認証、アメリカ有機規格（NOP）、EU有機認証（BIO）のほか、2014年にはハラール認証（イスラム教徒向け認証）とコーシャ認証（ユダヤ教食品認証）を取得し、海外有機市場にも本格的に参入しています。

もっとも「利益が出るのはこれから」と青木社長。「私を含む海外営業担当3人が現地に頻繁に出かけ、展示会への出展やスーパーでの試食会など地道な活動をしています。経費はかかりますが、それを継続的にやっていかないとなかなか現地の人には売れていきませんから」。



仕込

同社では中小規模ならではの小回りの良さを活かし、海外需要にきめ細かく対応することで「Miso」の需要拡大を目指しています。



株式会社マルモ青木味噌醤油醸造場

代表 代表取締役 青木幸彦
創業 1928（昭和3）年4月
資本金 3,000万円 従業員数 39名
本社 長野市大字風間字下河原2180-1
TEL.026-221-3868 FAX.026-221-3656
事業内容 味噌・醤油・糀・農産物加工保存食糧品の製造・販売など

株式会社マルヤマキャンバス

平成26年度

■事業計画名

ニッチなニーズに応じて、高付加価値のカスタムメイドシートを開発し販売

■概要

欲しいけれど売っていないというお客様のニッチなニーズを掘り起こし、カスタムメイドのニーズに素早く低コストかつ高品質に対応するために必要な設備を導入し、生産体制を確立して売り上げを拡大する。

■分類

- ＜対象類型＞ ものづくり技術
デザイン
接合・実装
- ＜事業類型＞ 設備投資のみ

■成果

設備を導入し、生産体制を確立した。

導入した機械の操作に社員が慣れてきて作業効率は上がってきているが、さらなる効率的な運用を目指し帆布製造技能検定に合格できる人材の育成に取り組んでいる。地元での店舗販売とネット販売による更なる営業、販売力を強化し高品質低価格の製品、オリジナル製品を開発していく。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社マルヤマキャンバス（須坂市）

テント・シートのネット販売で活路。
ニッチな分野で可能性を見出す。

ニッチ商品で商売に

「キャンバス（布）を使ったものは何でも扱い、インターネットを通して大手企業を含め、全国から注文が入ります。キャンバスはまだまだ可能性があるので積極的にチャレンジしていきたいと考えています」。



トラック用荷台シート

マルヤマキャンバスの丸山広社長はそう話します。同社は1954（昭和29）年、県職員だった丸山社長の父親が室外で蚕を飼うためのテントの販売で創業。倉庫用テント、イベント用テント、店舗の日除け、トラック用荷台シートなどのテント・シート用品の製造販売を行っています。

2003年には自社インターネットサイトを開設。丸山社長が社会人が学ぶ信州大学大学院で経営戦略やマーケティングを学んだことも契機となり、ネット販売の事業展開を本格的に進め、現在は全体の半分近くを占めるまでになっています。

そこから生まれたヒット商品が、ダイハツ・ハイゼットデッキバンや、トヨタ・ランドクルーザー70シリーズの、メーカーが生産していない荷台用シート。同社が独自開発し（実用新案取得）、ネットを通して全国からの注文に応えています。「生産数量が少ないニッチ商品ですが商売になっています」。さらに新製品や特殊な製品の取り扱いにも力を入れ、ネットで知った大手企業から注文が舞い込むことも珍しくないようです。

丸山社長はネット販売を手がけるきっかけを「仕事の減少だった」と明かします。「小さな需要でも全国から集めれば成り立つだろうと考えて。ネット販売をしていなかったら会社の存続は危うかったかもしれません」。

人材育成と設備投資が大事

同社ではものづくり補助金を活用し、高周波ウェルダー、自動裁断機、穴径が大きいハトメ打

ち機、コンピュータ付きのミシンなど最新設備を導入。ネットによってニッチなニーズを掘り起こし、カスタムメイドの商品を低コスト・高品質でスピーディーに開発し届ける体制を確立しました。

一方、人材育成にも力を入れ、現在、国家資格の帆布製品製造一級技能士は2名。さらに2名増やし4名体制にする計画です。

「工場内の間仕切りシートやカーテン、倉庫用大型テントなど地元の仕事は結構あります。しかし、それだけで社員11名の会社を維持していくのは厳しい。ネットに力を入れているのはそのためです。コスト競争もあるので、しっかりと人材を育成し、設備投資を行っていくことも大事です。それができればこの業界、まだまだ可能性はあると思っています」。



帆布製品製造一級技能士が活躍



高周波ウェルダー



自動裁断機

今年還暦を迎える丸山社長。そろそろ後継者（長男）への引き継ぎも考えているようです。



株式会社マルヤマキャンバス

代表 代表取締役 丸山 広
創業 1954（昭和29）年
資本金 2,400万円 従業員数 10名
本社 須坂市北横町1607



TEL.026-245-0856 FAX.026-248-3598
事業内容 テント・シート工事、カーテン・ブラインド工事、インテリア製品販売、内装工事、会場設営など

株式会社山崎屋木工製作所

平成26年度

■事業計画名

高断熱性木製サッシのIT利活用した情報提供システム開発

■概要

高断熱性木製サッシの3次元CAD/CAMシステム化と連動したIT利活用、情報提供（コスト・性能・図面データ等）システム開発を行う。

開発したシステムにより、製品情報の提供プロセスと製品の受注プロセスの大幅な改善を図り、顧客の満足度向上による製品売上増を図る。

■分類

- ＜対象類型＞ 革新的サービス
- 付加価値の向上
 - 新規顧客層への展開
 - 商圏の拡大
 - 独自性・独創性の発揮
 - ブランド力の強化
 - 顧客満足度の向上
 - 価値や品質の見える化
 - 機能分化・連携
 - IT利活用＜Ⅰ＞
 - 効率の向上
 - サービス提供プロセスの改善
 - IT利活用＜Ⅱ＞
- ＜事業類型＞ 一般型
- 設備投資のみ

■成果

開発したシステムにより、製品情報の提供プロセスと製品の受注プロセスの大幅な改善を図った。2020年の外皮性能の義務化に向け、本年度にはシステムの運用を目指す。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

株式会社山崎屋木工製作所（千曲市）

最先端加工機とITを駆使してつくる
長野県産材高断熱木製サッシのブランド化を進める。

オリジナルブランド 「キュレイショナー」で全国展開

山崎屋木工製作所は卓袱台、茶箆笥など、いわゆる指物の製作・販売で創業。後に店舗什器にも仕事を拡大し、「銀座NAGANO」を始めとする店舗・施設等のカウンター・什器のほか、住宅用の家具、キッチン、建具などの設計・製作・施工を手がけています。木曾ひのき材高性能木製サッシさらに長野県産材を利用した高断熱木製サッシの製造・販売でも売上げを伸ばしています。



つねに木の可能性を追求してきた山崎慎一郎社長。転機が訪れたのは2011年、福島第一原発事故の2カ月後、ドイツ・ハノーバーで開かれた木工機械の国際的展示会で木製サッシの加工機械を見たことでした。

木は熱伝導率が低く、アルミに比べ2,000倍も断熱性能にすぐれた素材。欧米では住宅の断熱性能を高めるため木製サッシの普及率が20～30%なのに対し、日本ではたった1%。その分、エネルギーを大量に消費している現実を突きつけられたのです。「日本は世界第4位の森林保有国。豊富な木材をうまく使うことで消費エネルギーはかなり減らせる。木の可能性はここにあると感じました」。

同社は2011年末、5軸CNC加工機を導入し、木製サッシの製造事業をスタート。良質な長野県産材を有効利用した製品開発を基本方針として定めます。設計事務所とともに環境省のプロジェクトにも参画するなど高断熱木製サッシの研究開発を進め、着実に成果を上げてきました。

同社は完全オリジナル形状で設計し、意匠性と性能に特化した高断熱木製サッシで国内同業社と差別化。オリジナルブランド「CURATIONER（キュレイショナー）」を立ち上げ、全国に販売展開しています。

データの「見える化」を実現

同社ではものづくり補助金を活用し、5軸

CNC加工機と連動する窓枠製造販売プログラム「OPERA」を導入しました。

これは木製サッシの製作図面作成から、部材および生産コストの積算、材料の歩留まり計算、断熱性能（ランニングコスト）や年間エネルギーコスト削減量の計算、さらには木材・複層ガラス・金物等の部材発注まで行えるすぐれたシステム。完全オリジナル形状の製品づくりが可能で、各種データの「見える化」により、2020年に義務化される新築住宅の省エネ基準にも対応するため、木製サッシ普及の追い風になると期待しています。

「木製サッシの売上げが立てられるようになって4年目。2年前から家具を上回るようになり、今期も売上げ目標を上回る勢いです。木製サッシはアルミサッシに比べてかなり高価なため、今はまだ富裕層がメインターゲットですが、より多くのお客様に使っていただけるよう材料やコストなどの研究に取り組んでいます」。

同社では受注増が続く木製サッシに対応し、2019年度稼働を目指して専用工場を隣地に建設する計画です。



木製サッシ加工用5軸CNC加工機



複雑なデザインの家具加工にも対応



ミーティングルーム。同社製の木製サッシ、家具のショールームも兼ねる



株式会社山崎屋木工製作所

代表 代表取締役 山崎慎一郎
創業 1958（昭和33）年10月
資本金 1,000万円 従業員数 12名
本社 千曲市小島2817



TEL.026-272-2106 FAX.026-272-2765
事業内容 オーダー家具の製造・販売、空間コーディネート、ウッドサッシの企画・製造・販売など

若林醸造株式会社

平成26年度

■事業計画名

植物性乳酸菌を使用した新感覚アルコール飲料の開発と生産体制構築

■概要

3年前に商品化して好評である植物性乳酸菌飲料「さわやか甘酒」をベースに新感覚のアルコール飲料「ラブレ酒」を開発する。

合わせて生産に必要な設備導入を行い本格的な生産体制を確立することで、本商品及びジュース製造事業の拡大を図る。

■分類

＜対象類型＞ ものづくり技術
製造環境
バイオ

＜事業類型＞ 試作開発＋設備投資

■成果

アルコール飲料「ラブレ酒」については本年度中の商品化に向けて、ラベルや瓶の選定と、商品試作を複数回実施・改良中である。清涼飲料については、トマトや人参を使った新商品を試作し、取引先等に試飲していただき製品化に向け改良を都度重ねている。



好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

若林醸造株式会社（上田市）

「新米杜氏」が酒造りを本格的に復活。
ラブレ菌入り甘酒が人気の老舗蔵“第2の創業”。

人気を集めるラブレ菌入り甘酒

1896（明治29）年の創業から昨年（2016年）で120周年を迎えた若林醸造。今、「第2の創業」ともいべき大きな事業改革を推進しています。

清酒の需要低迷などにより、同社は1969（昭和44）年から醸造のほとんどを他社に委託。原酒の貯蔵・出荷を行いながら、わずかながら自社での酒造りも続け、代表銘柄「月吉野」を守ってきました。

その一方で、地域で生産されたりんど、ぶどうのジュース加工をスタート。現在、東北信地域を中心とする数百軒の果樹農家から委託され、加工・瓶詰めを行い、同社の主要事業として順調に推移しています。

2011年には酒米・美山錦の吟醸規格で造る甘酒の新商品開発に着手。地域資源製品開発支援センターなどの支援を受け、「ラブレ菌」という植物性乳酸菌を添加した新シリーズを商品化し人気を集めています。「ラブレ菌入りの甘酒はほかになく、首都圏やサービスエリア、病院の売店などで販売が伸びています」（若林陽子取締役）。

そんな同社を変えつつあるのが、若林文夫社長と陽子取締役の次女、真実さんです。それまで酒造りとはまったく別の道を歩んでいましたが、2013年「後継者がいない」酒蔵を存続するため実家に戻ることを決意。上田市内の酒造会社で修業を始め、2年目には自ら酒造りを行うようになりました。

酒造りを本格的に復活

同社先代杜氏のアドバイスも得ながら、真実さんが「新米杜氏」として酒造りを本格的にスタートして4年目。「特別純米原酒つきよしの」はまだ生産数量は少ないながら、料理を食べながら楽しむ“食中酒”という女性ならではのコンセプト



真実さんが醸す
「特別純米原酒つきよしの」



人気のラブレ菌入り甘酒

と味わいが評判を呼んでいます。

一方、若者、特に女性の間では低アルコール飲料の人気も高まっています。それを追い風に、さらにラブレ菌を使用した甘酒の好評を受け、ラブレ菌を使った新感覚のアルコール飲料（ラブレ酒）の開発にも乗り出しました。

ものづくり補助金を活用し、ラブレ菌を安定的に培養するための恒温機や麹作りに必要な蒸し米を製造する小型蒸し器、パルパーフィニッシャー（うらごし機）、マルチキャッパー（打栓機）などを導入。ラブレ酒の本格製造に対応するとともに、ジュース類の生産拡大も視野に入れた生産体制を構築しました。

「当社は酒造りを本格的に復活させましたが、



ラブレ菌培養に力を発揮する恒温機



酒造りを本格的に復活させた蔵

それは今までとは違う視点に立った酒造りのスタートです。第2の創業といってもいいかもしれませんが。生産量も増やしていく予定ですが、自分の能力にあった範囲で着実にやっていこうと思っています」。

そう話す陽子取締役の目には、真実さんがとても頼もしく映っているようです。



若林醸造株式会社

代表 代表取締役 若林文夫
創業 1896（明治29）年
資本金 1,000万円 従業員数 8名
本社 上田市中野466
TEL.0268-38-2526 FAX.0268-38-0225
事業内容 清酒、甘酒、ジュース等の製造



平成24年度補正～平成27年度補正 ものづくり補助事業 採択事業者一覧

平成24年度補正分

(受付順。事業者名は発刊時、事業計画名は平成24年度採択時の申請内容を記載)
(Vol.1は成果事例集第1巻の掲載事例。本会ホームページでご覧いただけます)

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
1	榎山金型工業株式会社	金型への新しい加飾デザイン技術「D3テクスチャーR」の開発	
2	株式会社イングスシナノ	高性能中小型液晶パネルモジュール実装技術の開発	
3	東新精工株式会社	新型EGRクーラープレス部品の金型及び大型プレスの開発・実用化	
4	株式会社石原産業	非磁性・エリンバー特性を持つZr基金属ガラスのインサート鑄造技術の開発	
5	株式会社マイクロジェット	インクジェット式DNAチップ製造装置の試作開発	
6	渋江精密工業株式会社	半導体チップ吸着用シャフトの最適加工プロセスの試作開発	
7	株式会社サイベックコーポレーション	表面テクスチャ鍛造金型を用いた歯科用CAD/CAM材の高度化研究開発	
8	株式会社ライト光機製作所	「倍率クイック切り替え・照準パターン変化式」特殊性能ライフルスコープの開発	
9	株式会社ちくま精機	次世代液晶パネル点灯検査用信号発生装置の開発・試作	Vol.1
10	吉田工業株式会社	金型寿命向上のための摩耗進捗管理技術開発	Vol.1
11	東洋精機工業株式会社	工作機械の高精度化・短納期化・内製化に対応する為の高精度平面研削盤導入	
12	アルティメイトテクノロジーズ株式会社	電子機器の開発期間短縮のためのシミュレーション技術の確立と事業化	
13	新和工機株式会社 ファーマックメディカル株式会社	フレキシブル性を有する整形外科用手術器械の開発と溶接技術の確立	
14	コーデンシDH株式会社	半導体ウエハー部品の両面測定装置開発	
15	多摩川精機株式会社	超小型衛星向け姿勢制御システム(姿勢制御系)の組込みソフトウェアの開発	
16	有限会社米山金型製作所	鏡面加工品の磨きレス化	
17	株式会社小松精機工作所	マイクロテクスチャ機能表面を実現するプラズマ窒化金型工具の開発	
18	株式会社オサチ	測定負担を低減した高確度動脈硬化検査装置の開発	
19	株式会社仙醸	一年を通じた「どぶろく」の製造・販売体制の構築	
20	アスザック株式会社	セラミックス研削加工における工具破壊ゼロ加工方法の開発	Vol.1
21	ミカドテクノス株式会社	真空・熱・加圧・光技術の複合化により凹凸面へ均一な加熱加圧が可能な装置の開発	
22	株式会社共進	冷間プレスによる塑性変形を用いた新たな金属部品接合方法の開発	
23	大和電機工業株式会社	Sn、Sn合金めっきの加熱実装時に発生するボイドを抑制するためのめっきプロセスの開発	
24	株式会社フォワード	超硬材微細切削加工の実用化に向けての試作開発	
25	有限会社斉藤精工	最新鋭CNC旋盤の導入による多品種小ロット受注での高精度・超短納期対応強化	
26	太陽工業株式会社	自動車部品の生産性向上を実現するリニア駆動高速搬送装置の開発	
27	株式会社協和精工	ブレーキ用新摩擦材料の開発と実用化	Vol.1
28	株式会社丸信製作所	高周波熱処理工程と研磨工程のワンライン化	Vol.1
29	株式会社スギムラ精工	板鍛造技術の高度化による歯車部品のプレス加工への工法転換	
30	株式会社大東製作所	プラズマ溶射による多層・複合層の均一被膜の生成	
31	有限会社花井精機	医療器メーカーからの試作(小口・短納期)対応対策事業	
32	株式会社ミゾグチ	電子デバイス部品の接合におけるコスト低減のための代替材料を使用した部品の量産方法の確立	
33	株式会社SPIエンジニアリング	細穴検査装置の試作開発	
34	岡谷熱処理工業株式会社	高速度工具鋼の高度熱処理技術の試作開発	Vol.1
35	三和ロボティクス株式会社	試作から量産までのスピード供給を実現する生産管理システムICT化事業	
36	ナビオ株式会社	溶解ルツボ直接加熱方式を利用した溶解保持兼溶炉の開発	
37	株式会社デジタル・スパイス	アイススティック挿入機異物混入ゼロ化装置試作	
38	ナパック株式会社	CMC(カーボンマイクロコイル)を用いた触覚・近接センサー機構の開発	
39	株式会社ミノス	高密度に配置されたプローブを有する高速な半導体集積回路検査装置の開発及び生産	
40	株式会社システムアドバンス	IC-Package用フォトマスクの短納期体制構築	
41	株式会社アルプスツール	工作機械用スピンドル事業	
42	株式会社松一	金属新素材に対する新しい研削研磨手法の開発による腕時計部品の実用化	
43	株式会社カサイテクノ	部品製造機器増設による生産プロセス強化事業	Vol.1
44	サイミックス株式会社	超小型赤外線センサー用ウェハレベルパッケージの試作開発	
45	株式会社ニシムラ	レンズ洗浄技術の高度化による組立行程の効率化	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
46	アスリートFA株式会社	ピエゾ素子を用いた「高精度・低荷重」電子部品実装装置の試作開発	
47	株式会社ニチワ工業	金属セラミックスと耐衝撃吸収繊維板の開発	
48	株式会社ケントク	超高真空ターボ分子ポンプ用、ダイガスト製固定翼の高効率加工法の確立	
49	株式会社東陽	内視鏡下手術用鉗子等の高速・高能率切削加工技術の開発	Vol.1
50	ミナト光学工業株式会社	小型軽量の高精度1軸粗微動調整装置の開発	
51	株式会社ダイヤ精機製作所	インライン型・微細ミーリング加工機の開発	
52	株式会社河西精機製作所	CAM導入による携帯通信端末の検査用接触端子の試作対応力改善	
53	株式会社牛越製作所	Au基金属ガラス及びPt基金属ガラスのダイガストによるネットシェイプ成形技術の開発	
54	株式会社ミヤサカ工業	「自動車、変速機部品の研削工程での高精度化と不良ゼロ工程確立の試作開発」	
55	株式会社NEXAS (採択時：株式会社赤羽製作所)	CATIA V5導入により切削加工と測定の精度を確保して、航空機構造部品加工を行う	
56	株式会社テーケー	圧入プロジェクション接合による低コスト高信頼性の自動車部品の試作開発	
57	コーエー精機株式会社	新規参入（宇宙・航空機産業等含む）のための最先端技術レベルの向上。加工の蓄積による顧客対応力強化を目指した設備投資-NC複合旋盤導入	
58	有限会社デザイン アンド テクノロジー	低価格新プラズマ発生装置の試作開発	
59	株式会社長野三洋化成	100%再利用樹脂を用いた耐水性・耐久性に優れた環境型リサイクルボード提供事業	
60	株式会社日本点眼薬研究所	多ユニット液中異物・容器外観検査機の開発	
61	有限会社平出製作所	整備導入により生産効率を上げ受注拡大を図る。	
62	株式会社マルヒ	導水管理込型マイクロ発電機の小型化と内製化	Vol.1
63	株式会社LADVIK	エアバックバンドの国産化、開発	
64	株式会社サンクゼール	ワインのぶどう残渣を利活用した高機能食品の試作開発	
65	野村ユニソン株式会社	3次元ケーブル操作ロボットの高度化と実用化に向けた開発	
66	株式会社ショーシン	スピードスプレー専用動力伝達装置の開発・生産	
67	株式会社長野サンコー	カシメ強度全数保証自動機の開発	
68	株式会社エー・アイ・エヌ	高齢者、障害者向け杖用スタンドライトの開発	
69	株式会社荻原製作所	家庭用燃料電池システム向け複合センサの開発	
70	株式会社ミツルヤ製作所	再生発泡ポリエチレン樹脂製家具「リパス家具（リサイクル ポリ スチレン家具）の短納期化と他品種小ロット生産への対応	
71	株式会社矢崎製作所 (採択時：有限会社矢崎製作所)	小ロット・短納期に向けた治工具システムの開発	
72	有限会社手嶋製作所	新発電システムの電極部品加工事業	
73	有限会社フィット	プラスチック非球面レンズを用いた広視野眼鏡	
74	株式会社ヤマザキアクティブ	鍛造・プレス加工技術向上による、「新開発ゆるみ止め座金の量産体制確立」にむけた試作開発	Vol.1
75	有限会社イタクラ	同時切削加工化による競争力アップ	
76	株式会社コミヤマ	大物加工品の加工原価低減による受注拡大	
77	株式会社ミスズ	諸外国との競争力強化を目的とした新たな生産プロセスの構築と、次世代を担う若い技術者の育成	
78	株式会社ミヤタ	塑性加工における工法改良に依る試作開発事業	
79	株式会社平出精密	極薄板精密板金加工における高精度歪計測装置の開発	
80	株式会社サンジェム	高精度デジタルマルチメータ用リニアリティ校正装置の開発	
81	有限会社デーデック	ばね製造の技術を活用した農業や家庭菜園における支柱締結部材の商品化	
82	飯山精器株式会社	切削加工での最新ITを活用したシステム開発による生産性向上や売上拡大	Vol.1
83	株式会社フロンティア	高耐圧プラスチックポンプの開発	Vol.1
84	株式会社駒ヶ根電化	次世代ハイブリッド車搭載抵抗器向けの新たな「めっき工法」の開発	
85	プラテック工業株式会社	測定技術高度化による金型競争力の向上	
86	アルファードesign株式会社	電子式ディスプレイを有する高効率スターリングエンジンの試作開発	
87	三共化成株式会社 (採択時：三共プラスチック工業株式会社)	生産性の良いFPC用狭ピッチコネクタ部品の試作開発	
88	有限会社桜企画	光造形によるインサート試作工法の開発	
89	株式会社松原ニット	安曇野市特産「穂高天産糸」を活用したゴム地成型による試作品開発	
90	長野精工株式会社	環境整備機械（乗用芝刈り機）のアルミ鋳造部品の特殊鋳造工法と部品加工技術の試作開発	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
91	中村製作所株式会社	プレス加工に於ける生産革新に挑戦し、海外工区との大幅な競争力向上を図る為の生産プロセス開発。	
92	福源酒造株式会社	アルプス湧水・ひとごち米を利用した低温醸造法による「吟醸発泡酒」の開発	
93	三全精工株式会社	自動車燃料系複数部品の一体化金属プレス加工技術の開発	
94	株式会社ダイシン	複合旋盤の導入による生産プロセスを強化した生産体制の実現	
95	株式会社カウベルエンジニアリング	NFCリーダー/ライタの開発	Vol.1
96	飯田精密株式会社	新規生産管理システムの導入による品質管理の向上、低コスト化、納期短縮の実現	
97	株式会社リバーセイコー	細径内視鏡による画像の鮮明化に資する試作機の開発	
98	株式会社宮坂ダイカスト	難易度高い大型インサートダイカスト部品の鋳造体制の確立	
99	株式会社和光電子	スクリーン印刷厚膜プロセス技術の高度化実現を目指す多重印刷技術の試作開発	
100	小野ゴム工業株式会社	食品業界向けの金属探知機に反応するゴムシート及び製品の開発と製造設備の増強	
101	株式会社アルゴル	顧客ニーズに対応する産業用低価格画像処理装置の組み込みソフトウェアの開発	
102	株式会社中外製作所	導電性繊維センサを使用した介護用睡眠状況モニタシステムの開発	
103	日本青銅株式会社	鉛等の有害物質を使わない、超耐磨耗自己潤滑性鋳物の開発	
104	株式会社南安精工	超小型・高性能コンプレッサー(マイクロポンプ)の開発及び実用化	Vol.1
105	株式会社アップルハイテック	高性能自動画像測定機導入による製品計測の合理化と品質管理能力の向上、納期短縮、コストダウンの実現	
106	株式会社小沼技研	平板型高温水蒸気電解セルの大型化試作	
107	豊田化工株式会社	インサートプラスチック成形加工の無人化	
108	株式会社キンポーメルテック	品質向上と生産性向上を兼ね備えたスタッド溶接工程の強化計画	
109	昭和樹脂工業株式会社	ディスポーザブル吸引器の製造工程改善計画	
110	高島産業株式会社	確実で低コストな履歴・品質管理を行う医療機器製造システムの構築	
111	株式会社ケー・アイ・エス	ハイブリッド・パネル(太陽光発電・集熱一体型パネル)の事業化	
112	株式会社NEXAS (採択時：株式会社エヌ・イー)	航空宇宙関連開発品の試作加工	Vol.1
113	レゾネット・エアフォルク株式会社 (採択時：レゾネット合同会社)	高品位音声の多チャンネル伝送装置の開発・製造・販売	
114	株式会社エヌ・ティー・エス	省エネ型ポリエステル電着塗料の開発	
115	株式会社エフプラス	新製品立上げ評価の迅速化および評価精度の向上	
116	株式会社フェイス	ワイヤレス給電技術の開発と商品化	
117	オリオン機械株式会社	真空ポンプの製造に必要な部品切削技術の高度化	
118	株式会社ユニコン	生産管理・販売管理統合システムウェア導入による効率化と短納期化	
119	信州吉野電機株式会社	金属インサート成形による自動車センサー部品試作開発短納期化の体制構築	
120	浅南工業株式会社	3次元一気通貫システムによる防災用高効率ポンプユニットの開発	
121	株式会社MOLE'S ACT	熱間成型金型における拡散接合技術の高度化	
122	株式会社シムノン	金属箔レーザ加工の特異性研究と実用化開発	
123	株式会社おといち	マンモグラフィ画像石灰化部分強調化ツールの開発と事業化	
124	株式会社エグロ	多様な機械開発の能率向上と短納期化を実現する生産管理システムの構築	
125	株式会社ハマツール	特殊切削工具へ不減印刷による普遍的識別方法の確立	
126	有限会社ミュートクノ	金型用パンチ、切削工具等の寸法精度向上の為に超精度測定機の導入	
127	有限会社大庭金型製作所	高精度金型の品質、生産性向上による高付加価値化の実現と成長分野での販路拡大	
128	日本装置開発株式会社	検査物固定型工業用CTスキャナの開発	Vol.1
129	株式会社マブチエスアンドティー	新インクジェットを用いた機能膜塗布装置の試作開発	
130	株式会社広田製作所	汎用的な組み込みLinuxを活用したSSD評価試験システムの開発	
131	信濃機工株式会社	高圧クワラント装置用スクリュポンプの開発	Vol.1
132	有限会社ウインテック	F1向けエンジンの心臓部部品加工のための超高精度研削盤の導入	
133	有限会社ESアドバイザー	イオン交換樹脂の再生技術における高度化の試作開発	
134	リオン熱学株式会社	光触媒を使用した、環境物質の分解除去方法の確立と大型処理装置の開発、製造、販売	
135	松本スプリング株式会社	角形の絶縁銅線の精密曲げ加工の試作開発	
136	株式会社三葉製作所	最新生産管理システム導入による、「生産性3割アップ」プロジェクト	
137	株式会社シミズテクノ	精密板金用金型製作の低コスト・短納期化を目的としたMC専用クランプの開発と新研磨技術の導入	
138	株式会社石川製作所	手押し運搬車の安全ロック装置の開発	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
139	有限会社ナツバタ製作所	長尺深穴切削における高精度加工技術の確立	Vol.1
140	株式会社マル井	高品質な加工わさび原料を適宜に供給する冷凍保管システムの開発	
141	株式会社ワカ製作所	世界初の可視光通信による超小型衛星に使用する高信頼性電源システムの開発	
142	パーフェクトゲージ工業株式会社	デジタル出力を付与した、耐脈動小型アナログ圧力計の開発	
143	有限会社フォレスト	NC用特注アタッチメントの開発によるワンストップサービスの提供	
144	株式会社エスケー精工	航空機・宇宙関連の部品及び治具の受注対応に向けた高精度加工技術の獲得と短納期化の実現	
145	株式会社ナンシン	電気鍛造による高精度大口径薄肉パイプの鍛造	
146	株式会社オオタ	他品種・小ロット化とリアルタイム見える化のプレス生産管理システムの開発	
147	中村工業株式会社	バーコード導入による工程進捗管理及び原価管理システムの構築	Vol.1
148	株式会社宇敷製作所	高精度・複雑加工技術の習得と最新設備の導入で多品種少量生産・短納期化ニーズに対応可能な生産体制を構築	
149	東京精電株式会社	電力モニター装置の組込ソフトウェア開発、及び制御システムの試作研究開発	
150	日進精機株式会社	金型設計製作に関する熟練技術者への依存からデジタル化による納期短縮化	
151	株式会社丸眞製作所	水素雰囲気下における金属部品の脆化を防止する表面処理部品の試作開発	
152	Nikki Fron株式会社	長繊維熱可塑性プラスチックの成形加工サイクル短縮による量産化	
153	イデアシステム株式会社	高速検索機能を組み込んだハイブリッドデジタルレコーダーシステムの試作開発	Vol.1
154	ゴコー電工株式会社	分割コアモータの超高出力等の技法開発と製品化	
155	有限会社スワコ精密工業	難削材加工の技術開発による光学・医療分野への進出	
156	株式会社西澤電機計器製作所	ロービジョン(弱視)患者の“視”生活を快適にする拡大読書器の開発	Vol.1
157	株式会社桜井製作所	プレス加工における小径絞り部品の内側バリ無側面穴加工順送金型の開発	
158	株式会社ナディック	卓上型微細パイプ横穴プレス加工機の開発	
159	中野スタンピング株式会社	先端加工設備導入による超短納期試作が対応可能な生産体制の構築	Vol.1
160	株式会社竹屋	大豆煮汁の水素発酵を利用したエネルギー変換システムの開発	
161	株式会社エプテック	抗菌・防かび・防藻昨日を付加した無電解ニッケルめっき皮膜の開発	
162	長野鍛工株式会社	熱間+冷間複合鍛造工法による小ロット高精度鍛造品の生産技術の確立	
163	株式会社八光	液状シリコン成形における多品種生産方式の試作・開発・商品化	
164	株式会社小松製作所	小水力向けポンプ逆転水車の低コスト・高効率化に関する開発事業	
165	ミマキ電子部品株式会社	小型画像認識装置の開発	Vol.1
166	株式会社カンノ	アルミニウム合金製造品種の多様化	
167	塚田理研工業株式会社	真空成膜法による機能性及び加飾付加の方法の確立	
168	株式会社ソーデナガノ	複雑多様な金属片へのチップ接合モジュール品の試作開発	
169	オリオン精工株式会社	薄肉ステンレスパイプ冷却器の溶接技術開発・確立と設備投資	
170	株式会社メクトロン	マテリアルフローコスト会計(MFCA)プロセスを見える化する生産管理システムの開発	
171	株式会社長鍛豊田製作所	エンジンバルブ鍛造用加熱装置の高度化による超多品種小ロット生産ラインの構築	
172	信光工業株式会社	省エネ環境配慮型・多機能対応試作開発ラインの導入	Vol.1
173	オリジンバイオテクノロジー株式会社	液体培養菌糸植菌装置の開発	
174	株式会社ミナミサワ	省スペース型後付け自動水栓機器の開発	
175	ジェーシーシーエンジニアリング株式会社	高速トップビューパッケージ受発光素子検査装置の開発	
176	サン工業株式会社	車載オートマチック機構部品への高機能アルマイト処理試作開発	
177	株式会社みやま	金属の樹脂への代替によるスーパーエンプラ自動車部品の試作開発	
178	多摩川テクノクリエイション株式会社	ボーイング737MAX搭載LVDTの試作開発と高精度自動巻線機の開発	
179	株式会社オーク電子	LED曲面発光型防犯灯の開発	
180	株式会社サーキットデザイン	小型動物用GPS首輪の開発	Vol.1
181	有限会社シナノ精密	受託加工品の高精度、短納期化に対する対策の強化	
182	有限会社ファインフォーミング	アルミ鋳造鍛造法における小口化、短納期化に対応できる金型鋳造プロセスの構築	
183	中央印刷株式会社	アルミ蒸着コールドホログラム箔による偽造防止印刷の開発	
184	株式会社オリジナルマインド	セミプロ向け低価格CNC工作機械シリーズの開発	
185	株式会社日邦バルブ	エネルギー損失を半減した水道用逆流防止器の事業化	
186	株式会社ニューオーディオ	高出力発光ダイオード向けの耐光性・耐熱性に優れた高機能放熱材の試作開発	
187	株式会社小松プレジジョン	プレス化への工法転換を可能とする精密圧縮プレス加工技術の確立とこの技術利用による事業拡大	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
188	有限会社高橋製作所	マイコンガスメーター用新構造小型感震器の開発	
189	株式会社セリオテック	高トルク駆動伝達小径シャフト連結部の構造強化部品量産化にむけた開発	
190	株式会社アコース	超小型通信式活動量計及び健康管理システムの開発	
191	株式会社スカイワークス	ロジックICを用いた新しいタイプの水位計・浸水計の開発	
192	株式会社三鷹金属化工所	アルミ素材への高耐食性ノックロム化成被膜の開発	
193	有限会社丸源鋸工場	新型目立て機による切れ味と丈夫さを兼ね備えた高性能鋸の開発	
194	きそミクロ株式会社	貫通穴付ガラスウエハー基板の位置決め機能付特殊加工装置の開発・実用化	
195	株式会社サワイ	新・生産管理システム開発・構築による国際競争力 強靱化 と 差別化 を実現	Vol.1
196	サンエシステムズ株式会社	製品含有化学物質のJIS化に沿ったエビデンス管理システムの研究・開発	
197	信越明星株式会社	流水解凍タイプ茹で冷凍そばの開発にかかる事業計画	Vol.1
198	株式会社CMC総合研究所	カーボンマイクロコイル (CMC) を塗布した高機能性繊維製品の試作開発	
199	有限会社久保田工作所	非磁性材の研削加工における高精度微細加工技術の開発	
200	株式会社アクセス	人々に安全安心を提供する『見守りシステム』の開発と新たな『見守り手法』の確立	
201	澤田産業株式会社	長野事業所精密高速切断ライン導入プロジェクト	
202	マリモ電子工業株式会社	HTML5を使用したWeb計測装置の製品試作開発	
203	株式会社カミイナ	最新アパレルCAD・CAMの活用による、衣服縫製製品の「多品種少量生産及び短納期化」への対応力強化	
204	有限会社中山ステンレス	板金加工品の面取りブラシの研究開発と設備の導入	
205	カインシエレクトロニクス株式会社	プリント基板加工用極小径ドリルの自動研磨装置の試作開発	
206	株式会社ネハシ	ワイヤカット放電加工機導入によるプレス加工部品の短納期立上げ	
207	株式会社玉村本店	自家栽培ホップを活用したビールの生産力強化	
208	株式会社ハヤシ	多品種小ロット短納期の幅広い受注に応えるための、ローダー付NC旋盤導入	
209	有限会社フジ精密工業	3次元設計による金型標準化と図面簡略(3次元図面の開発)でリードタイムを削減する	
210	株式会社佐々木工業	高精度ベンディングマシン導入による厚板長尺の一括板金加工システム構築	
211	株式会社イトウテック	自動弁バルブ部品の溶接品質・生産能力向上のためのシステム開発	
212	株式会社ピーエムオフィスエー	3Dレーザースキャナー測量並びに3Dプリンターを活用したプラスチックキット開発	Vol.1
213	株式会社彩世	ラインマン (Lineman) 商品化プロジェクト (高均一光輝度レーザラインジェネレーター)	
214	株式会社シンセイツール (採択時：株式会社N Y ツール)	大型特殊切削工具の高精度製作技術の開発と、既存商品の高精度化。	
215	安曇野本多通信工業株式会社	高性能3次元測定器による金型技術力の向上	
216	有限会社南安鐵工所	高速プラズマ鋼板切断機導入による短納期対応強化と競争力強化	
217	シスマック技研有限会社	複合加工技術の高度化によるステアリング用特殊ボスユニットの試作開発	
218	有限会社宮山電子製作所	実装マウント工程の生産性・精度向上を実現する専用治具開発及び最新マウンター導入	
219	株式会社エヌ・ピー・シー	微細精密金属プレス製品の生産工程効率化による価格競争力強化と受注拡大	Vol.1
220	株式会社高崎製作所	プレス部品自走式外観検査装置の開発	Vol.1
221	有限会社プロセスクリエイション	外科手術用特殊メス及び生体親和性向上人口歯根の製作のためのレーザー加工技術の開発	
222	株式会社ミハマ	高機能クランプの試作開発と、多品種・少量生産・カンバン納入に対応可能な生産管理システムの開発導入	
223	ハード技研工業株式会社	極薄金属材料コイル材の低ひずみ化熱処理技術と表面処理加工技術の開発	
224	株式会社伸和精工	板鍛造技術の高度化による超精密軸受切削部品のプレス加工技術の開発	
225	株式会社シナノ	デザインの優れた歩行杖の加飾工程の開発と設備の最適化	Vol.1
226	株式会社浜島精機	旋盤とマシニングセンターでの高精度共通治具運用システムの開発と運用	Vol.1
227	オリオンワイヤリング株式会社	塗装工程の生産性/品質向上を図る付着塗料剥離機開発及び新型焼付炉導入	
228	日本電熱株式会社	小型移動式 冷却・加熱装置(ニュークックチル)の新規開発	
229	日野製薬株式会社	ブドウ種子等の抗酸化物質を配合した機能性集積型健康食品の開発	
230	立信精機株式会社	漁業定置網用の同期点灯フラッシュライトの製品開発	
231	株式会社山崎屋木工製作所	生産システム構築と部材開発による、20%のコストカット実現への高断熱性木製サッシ開発事業	
232	大永工業株式会社	セルフ・クリンチング・スパーサー圧入作業時間短縮のための試作開発	
233	丸金パイプ株式会社	ポリエチレン管プレファブ加工商品の品質安定と普及促進計画	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
234	株式会社マイクロネット	ANC(能動騒音制御)装置の小型・省スペース化の試作開発	
235	株式会社ワークソリューション	プラズマと紫外線を併用した簡易殺菌装置の試作開発	
236	株式会社荻窪金型製作所	刃物形状の測定と加工条件の最適化による微細切削加工技術の確立	
237	株式会社ジェナジー	スパッタリング用Auターゲットの結晶粒制御技術確立及びその量産化	
238	株式会社矢沢光学	医療機器用光学レンズ面精度向上試作開発	
239	株式会社大久保西の茶屋	手打ちそばの風味を生かした自然食、美味しい冷凍生ソバの試作・開発	
240	湖北工業株式会社	切削加工部品の「小口・短納期化、低コストへの新工法」開発	
241	有限会社プライムシステムズ	モバイル型汎用計測器制御機器の試作・開発	
242	二光光学株式会社	高精度サファイア製品の試作、開発	
243	株式会社アルプス鋼	大型異形状溶接加工物・大物非鉄加工物の高精度・短納期加工技術の確立	
244	芙蓉酒造株式会社	高原野菜由来ミネラル豊富な高機能新リキュール開発と関連生産設備整備	
245	株式会社山岸製作所	高精度・難削材加工技術の習得と最新設備の導入による短納期・変種変量生産体制の構築	Vol.1
246	久保田容器工業株式会社	スチール製18リットル再生缶量産設備の能力強化	
247	中島工業有限会社	超極薄板材を高品質化のための旋削を応用した新加工法開発	
248	山清電気株式会社	高齢化社会に向けたハイブリッド式コードレス温熱ヘルスケア機器の開発	
249	有限会社滝沢工研	上下駆動リンク機構開発と応用市場販路開拓	
250	有限会社オノガワ精機	同時5軸加工による航空機用複雑形状部品の迅速作成技術の開発	
251	有限会社アイテック	グラファイト電極の放電加工によるプラスチック金型の工法の確立	
252	株式会社ミクロン精工	『インフィールド研削盤による高精度部品加工の多品種少量生産』	
253	株式会社マスターマインド	円筒形容器側面全周に直接印刷するプリンタの試作開発	Vol.1
254	ハーバー電子株式会社	小型フィルムコンデンサの溶射及び溶接技術の高度化による製品コストの低減	
255	株式会社進和製作所	パルプを原料とする射出成型品の開発(PIM成形)	
256	株式会社東京電機	地滑り計測用高深度ひずみセンサーの開発と生産プロセスの構築	
257	株式会社エーアイテック	車載電子部品の低高温検査装置用省エネ型熱風発生機(CO ₂ ヒートポンプ)の開発	
258	白鳥ガasket製造株式会社	絶対数納品に対応する計数機アタッチメントの試作開発	
259	有限会社ハイメック	液晶ディスプレイ製造に必須な配向露光工程を2倍以上の高いエネルギー効率でフィルムに転写する機能を持った光学エンジンの開発	
260	株式会社エスイー工業	下請脱却のための製品開発:「連続割れ事故」を100%防ぐ、注射剤反転機構の試作開発	
261	有限会社エフ・クリエート	高効率小容量ソーラーパネル充電システムの試作開発	
262	プロスク株式会社	アミューズメント顧客よりの短納期化及び小Lot化要求を満たす設計・開発システムの実現	
263	株式会社タカモリ	EV&HEV向け高効率材の積層金型の試作開発	
264	カイン工業株式会社	上下駆動をガイドする高精度・長寿命摺動部品の試作開発	
265	松川光学有限会社	光学(医療機器・理科教材)メーカー等からの要求による試作及び少ロット・短納期対応事業化の推進	
266	株式会社スター精機	低コスト・短納期対応のための複合切削加工技術の開発	
267	株式会社タカギセイコー	眼科で使用する新しいスリットランプマイクロスコープとその付属品の開発	Vol.1
268	セラティックジャパン株式会社	パワーエレクトロニクス用セラミック基板の高精度加工技術の開発	
269	武重本家酒造株式会社	低アルコール濁酒の効率的な火入れ方法の確立	
270	有限会社サンプラスチック	海外とのコスト競争に耐えうる成形ラインの開発	
271	株式会社キャドソン	微小な精密部品の低コスト生産を実現する冷間鍛造技術の試作開発	
272	有限会社浅間精機	円筒・万能研削盤導入により、金型高精度化・高品質化の実現をし、有力市場を獲得する。	
273	株式会社ハルピンフーズ	『四年仕込み発酵味噌だれ』の製造期間短縮と製造原価低減のためのプロセス開発	
274	株式会社BMEユニバーサル	義足・歩行支援スーツへの適用を目指し、人への親和性の高い膝関節継手の試作開発	
275	株式会社協和設備	FPシステム(フレアプレハブシステム)導入による配管工法の高付加価値化	
276	株式会社サンリエ	高精度ベンディングマシン導入による金属プレス試作製品の短納期化	
277	株式会社精工舎(採択時:精工舎)	自動車メーカー向け複雑形状部品の高速・高精度化による試作開発。	
278	GAST JAPAN株式会社	プラスチックへの高機能コーティングにおける先端工法の開発	
279	株式会社松本製作所	建設用機械部品に係る試作立上げから量産までの期間短縮化	
280	有限会社五味精工	高精度化・複雑形状化・短納期化を実現する切削加工技術の高度化	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
281	株式会社イツミ	衣料仕上プレスの加圧コテ型の機械加工化	Vol.1
282	株式会社日誠イーティーシー	車載モーター用ステーターの巻線とはんだ付けの自動化及び連動化	Vol.1
283	シナノカメラ工業株式会社	新たな実装プロセス開発による、競争力強化と即効的需要喚起への取組	
284	アスザックフーズ株式会社	高齢者に優しく美味しい、非常食にも活用可能な食品の開発	
285	株式会社シード・アドバンス	小ロット・難塗装のニーズに挑戦する「塗装の110番」	
286	有限会社プロテック	歯科用の補綴物を機械を用いて加工する計画	
287	株式会社アルカディア	鉄道駅ホーム可動柵扉および省力化システムの開発計画	
288	有限会社山田精機製作所	軸受け機器製品検査における新技術導入での自動車部品不具合低減の実現	
289	株式会社飯沼ゲージ製作所	スマートフォン、タブレットPC用カバーガラス製造装置の試作開発	
290	みやま工業有限会社	アルミダイカスト新鑄造技術 低温低圧鑄造の構築	
291	合資会社山万加島屋商店	味噌作りの一貫した製造ライン構築による新製品・新サービスの開発	
292	株式会社タキワ	「新材料供給装置導入による生産プロセス強化」	
293	株式会社クラフト小松	受注の多品種小口化、短納期化ニーズへの対応のための設備改善	
294	有限会社近藤鉄工	製函品に適用する溶接ロボット応用技術の開発とそれに伴う生産工程の改革	
295	株式会社ツバサ	セラミック等難削材の加工精度の高度化	
296	株式会社アビックス	公共施設向け案内表示LED内照式ピクトグラムの事業化	
297	株式会社高和製作所	日本ブランドの次世代型鋳物製薪ストーブの開発	
298	株式会社世界最速試作センター	先端三角折り機能付全自動トイレトペーパーホルダーの商品開発	
299	コトヒラ工業株式会社	クリーン化機器用の高機能樹脂ノズル開発と商品化による事業拡大	
300	大澤酒造株式会社	アルコール清酒の新作製造に関わる冷蔵庫化と新圧搾機導入	
301	株式会社信越工機	3D CAD CAM CAE導入による省エネ建材切断切削加工用特注機械製造業のNEWビジネスプラン開発実証を行う	
302	有限会社二光精機製作所	医療器部品の信頼性向上のための難削材における深穴加工技術の開発	
303	株式会社乾光精機製作所	高輝度LED曲面発光照明器の試作開発(意匠権登録予定)	
304	株式会社つばくろ電機	金属加工部品表面仕上げ(バフ研磨)自動化装置の開発	Vol.1
305	小松工業株式会社	冷間鍛造加工における連続加工を可能とする『3次元サーボトランスファー加工方式』の開発	
306	株式会社柳原製作所	3Dプリンター活用による金型製作時間の短縮とオリジナル金型の開発	
307	三立電機株式会社	設備導入によるPT板ユニット試作製造の短納期・低コストプロセスの確立	
308	鈴木プレス工業株式会社	高精度ワイヤーカット放電加工機導入による「板鍛造部品」の国内外のシェア拡大	
309	宮坂ゴム株式会社	コリ緩和商品の低コスト化に向けた試作開発	
310	株式会社小松製作所	油圧ショベルのフレームハウス溶接工程の削減と一体化の試作開発で低価格化を実現	Vol.1
311	株式会社光和	放電加工機導入による金型製作短納期化と付加価値向上の実現	
312	有限会社八剣技研	医療機器分野の部品加工における、難削材の微細且つ高精度な加工技術の高度化	
313	株式会社ユウワ	狭ピッチコネクタ成形品の成形機連動画像検査機の開発	
314	有限会社GENCORPORATION	災害遭難支援用二重反転型ヘリコプタの開発	
315	フィット工業株式会社	建築・金物用切り板及び太陽光フレーム関連分野へ参入する生産体制の構築	
316	日機工業株式会社	歯科用インプラントの開発改良による医療機器事業の拡充	
317	株式会社シンエイ・ハイテック	エンコーダーセンサーモジュールの開発	
318	有限会社中澤製作所	介護用上半身不安定な人向け歩行補助(リハビリ)装置の開発	
319	有限会社古川製作所	工業用ランプの口金をコスト削減する新しいプロセス	
320	有限会社小林精工	5軸加工機を軸とした短納期化システムによる微細金型部品の試作開発	
321	株式会社マイクロ化学	きのこキャップ自動組立て製造装置の開発	
322	有限会社多田プレジジョン	高精度放電加工機導入による医療機器部品の形状複雑化、短納期の対応強化	Vol.1
323	株式会社ピーエーイー	新製品開発における時間短縮と開発精度向上のための体制づくり。	
324	アタゴシステム株式会社	土壌汚染原位置浄化用の樹脂製薬剤投入管の試作開発	
325	株式会社関一精機	3Dモデルからの直接変換によるNCプログラム作成システムの開発	Vol.1
326	株式会社山田製作所	地域の防災力の底上げにつながる新たな消火設備の開発	
327	有限会社カイセイ	薄肉形状加工品の高精度化、低コスト化、短納期化の実現	
328	有限会社福沢製作所	複合旋盤導入による加工精度の向上と生産性のアップ	
329	ウインテック株式会社	ロボット活用による製品の自動整列を行う生産プロセス強化事業	
330	有限会社ニシキ精機	多品種少量の難削材製品での「短納期」実現による競争力強化への取組	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
331	株式会社協電社	成長分野である医療・工業分野への新製品開発による新規参入事業	
332	株式会社小野酒造店	日本酒の国際化に対応した火入れ酒の高品質化による新しい市場の開拓	
333	有限会社キットウ	「両頭側面フライス盤を用いたリードタイムの圧縮と小ロット・短納期生産の実現」	
334	株式会社プロノハーツ	中小企業の設計製造現場で利用可能なカスタマイズ型3Dプリンタの開発	
335	株式会社カスケード資源研究	発酵技術による難分解性バイオマス資源「リグニン」の低分子化成功と試作品の開発	
336	株式会社高島計器	新しい市場に応えた、高性能高圧ガス圧力計の開発	
337	株式会社吉野電機	3D複雑形状金属部品の低価格化に応える冷間鍛造工法の試作品開発	
338	株式会社安曇野漬物	酵素の働きと高圧殺菌との組み合わせで、漬物で新しい需要を掘り起こす。	
339	有限会社テクノロジーサービス	小型軽量の多自由度関節力学試験装置の開発	
340	株式会社ジェルモ	超高性能ハンダ印刷機を導入し電子部品・デバイスの超高密度実装を実現する	
341	辰野光学株式会社	アルカリ電解水を用いたガラス素材に対する切削研磨技術の高度化	
342	株式会社ホシバ	多種少量製品の架枠溶接作業における組み方と溶接作業の開発	
343	株式会社サンテム	光学機器性能向上の為に光反射現象を抑える事が出来る絞り羽根の開発	
344	株式会社ダイエン지니어リング	電気制御式真空ダイカストシステムの試作開発	
345	株式会社キョウユウ技研	高速道路等工事・事故処理作業者の2次災害防止用、後方警戒装置の開発	
346	有限会社山岸製作所	ワイヤーカット放電加工機・3次元CAD導入による金属プレス金型製作の生産効率向上・短納期化・低コストを実現する生産体制の構築	
347	有限会社伸和工作	増大する超精密短納期試作要求に対応する高速加工機の導入と高水準の切削加工技術を組み合わせた高効率・短納期生産体制の確立	
348	日邦電機株式会社	超軽量・小型DCブラシレスモータの開発	
349	インダストリーネットワーク株式会社	老朽化した建造物の検査等に資する壁面走行ロボット2号機の試作開発	
350	関本CAPA株式会社	精密砂型鋳造法を用いた金型試作鋳物の代替品開発	
351	株式会社ダイワテック	地中熱・太陽熱・空気熱のハイブリッド農業用ヒートポンプの開発	
352	株式会社オーイーエス	車載部品のはんだ付け工程におけるボイドレス化製品の試作・開発	
353	有限会社武村精機	大型・高精度CCTVレンズ鏡枠の低コスト化・短納期化の実現	
354	株式会社赤羽電具製作所	自動実装可能なアキシャル型・超高抵抗・耐高電圧抵抗器の開発	
355	樫山工業株式会社	新機構ベーン式ドライ真空ポンプの開発	
356	有限会社デンタルクラフト	歯科技工工程のデジタル化によるもの(金冠)づくりの高度化	
357	チヨダエレクトリック株式会社	有機ELの貼り合わせ工程の高生産効率に対応する真空オープンの研究開発	
358	有限会社金森軽合金	受注拡大に向けた生産プロセスの効率化と資源エネルギーの再利用	
359	株式会社ミクロ発條	自動車向け高度化加工技術開発による精密スプリング製造	Vol.1
360	カンリウ工業株式会社	新たな米粉製粉技術の開発による小型製粉機の事業化	Vol.1

平成25年度補正分

(受付順。事業者名は発刊時、事業計画名は平成25年度採択時の申請内容を記載)
(Vol.1, 2はそれぞれ成果事例集第1,2巻の掲載事例。本会ホームページでいただけます)

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
1	信越明星株式会社	手打ちに近い食感の生そば製造を実現するための真空ミキサー導入事業計画	Vol.1
2	株式会社川辺製作所	金属歯車の知見を応用した（環境配慮型）プラスチック歯車の新規開発	
3	株式会社マイクロジェット	インクジェット式1細胞スポッター装置の試作開発	
4	株式会社サイベックコーポレーション	燃料電池用金属セパレータの自動外観検査装置に係る開発	Vol.2
5	株式会社ダイシン	パーツフィード用コントローラの開発	
6	岡谷熱処理工業株式会社	PVDコーティングと電子ビーム照射による革新的金属表面処理技術の試作開発	Vol.1
7	株式会社玉村本店	自家栽培米美山錦をつかったビールの販売強化にともなう充填設備導入	
8	株式会社SPIエンジニアリング	スマホ対応wifi内視鏡カメラの開発	
9	カイン工業株式会社	コンピューター制御NC（CNC）自動旋盤加工機導入による高度技術の確立と新事業の創出	
10	オリオン機械株式会社	水素ステーション用プレクール熱交換器の設備導入による試作開発	Vol.2
11	七笑酒造株式会社	川下ニーズに対応する特定名称酒の温度管理技術高度化のための設備投資	
12	株式会社イツミ	小ロット化の為に板金加工機の導入による医療介護用ベットマットレス洗濯乾燥機の開発	Vol.1
13	株式会社東陽	「歯科用インプラントの高精度・高能率加工技術の開発」	Vol.1
14	株式会社セルコ	高密度コイルの自動巻線機（連結型）開発と工程削減による新工法の開発	
15	株式会社荻原製作所	家庭用燃料電池システムに於ける定期交換不要な水処理装置の開発	Vol.2
16	きそマイクロ株式会社	蛍光染料による光合成促進植物育成資材設備ラインの試作開発	
17	信濃化学工業株式会社	熱硬化性プラスチック製食器の生産の自動化	Vol.2
18	日本装置開発株式会社	量産製造ライン全量検査用高速X線CTスキャナを試作開発	Vol.1
19	株式会社大東製作所	自社開発材「冷間用マンガン系ステンレス」の実用化と特許出願	
20	久保田容器工業株式会社	ドラム缶再生設備の能力強化	
21	株式会社アンドー	UAV（小型無人航空機）に搭載可能なレーザー計測装置の開発	Vol.2
22	株式会社イングスシナノ	次世代ディスプレイにおける3次元曲面貼り合わせ実装技術の開発	
23	株式会社南安精工	精密加工部品の製作リードタイム短縮と複雑形状対応の実現	Vol.1
24	飯山精器株式会社	「CAMとCNC三次元測定機導入による複合加工の高効率生産で受注を拡大する」	Vol.1
25	株式会社セリオテック	生産性向上及び製造能力増強を図るための二次加工機新規開発・導入	
26	有限会社米山金型製作所	医療系超微細形状試作への挑戦と試作対応の迅速化	
27	株式会社ヒラバヤシ	「有機溶剤使用ゼロ洗浄設備開発による低負荷環境作業の実現」	Vol.1
28	長谷金属工業株式会社	レンズ筐体のピンホール問題を解消するためのダイカスト製造プロセスの改善	
29	コトヒラ工業株式会社	熱電変換モジュール耐久試験機の開発と事業拡大に向けた設備導入	Vol.2
30	ミサキ工業株式会社 (採択時:有限会社ミサキ工業)	深絞りケース（圧力容器）のリーク不良外観検査装置の開発	
31	株式会社日誠イーティーシー	次世代自動車ノイズ対策用の大容量チョークコイル製造装置の開発導入	Vol.1
32	アルティメイトテクノロジーズ株式会社	小型船舶向け全方位カメラ搭載の高機能レコードシステムの開発	
33	有限会社テクノパック	包装材のオールプラスチック化による3Rの推進と生産性・低コストの実現	
34	株式会社エーアイテック	自動車用ECUの低高温検査装置における冷熱風制御の最適化による高度化	Vol.2
35	アスザックフーズ株式会社	真空凍結乾燥製品の市場拡販のための真空凍結乾燥装置及び技術の開発	
36	株式会社アジャイルシステム	産学連携「先導的技術」による木造住宅腐朽予知モニタリングシステムの開発	
37	株式会社長野食料	付加価値の高い冷凍漬物によるクールジャパン戦略	
38	株式会社長野セラミックス	A重油と溶存水素水の混合液の燃焼による化石燃料燃焼装置の開発	
39	アイテック株式会社	バッテリーレス無線センサーを使用した高齢者見守り機器の開発	
40	株式会社ライト光機製作所	抗がん剤による副作用軽減をはかる冷却装置・冷却シートの開発	Vol.2
41	株式会社タカノ	高性能溶接機導入による、医療機器用アルミニウム精密板金難溶接加工技術の革新	Vol.2
42	株式会社ピーエムオフィスエー	構造変更及びフィルム貼付により強度を増した雪かきの開発	Vol.1
43	有限会社中村金型製作所	世界最高水準の「車両前照灯用LED冷却部品型」製作方法改善	
44	株式会社石原産業	自動車メーカー向け精密複雑形状部品の量産事業拡大	
45	株式会社シナノ	インクジェットプリンターを活用した曲面印刷システムの確立	Vol.1
46	三和ロボティクス株式会社	精密切削加工におけるエッジ品質向上に資するバリレス加工技術の構築	
47	株式会社牛越製作所	円筒振動切削による超精密微細加工のシステム構築	
48	株式会社みすずコーポレーション	油揚げの試作環境整備と高付加価値油揚げ開発	Vol.2

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
49	ハーバー電子株式会社	小型フィルムコンデンサの材料変更と製造工程の高度化によるコストダウン	
50	株式会社星光技研	超音波噴霧器の腐食対策および消耗品交換構造・高効率化改良	
51	有限会社セルバ	次世代型電力量計メーター部品に対する錫めっき装置の開発	
52	株式会社中外製作所	『居宅用高齢者見守りホンの開発』	
53	株式会社JMC (採択時:株式会社ジェイ・エム・シー)	非接触測定機を活用したマグネシウム砂型鋳造の高精度・短納期化プロセスの開発	
54	株式会社スギムラ精工	超硬金型部品の内製化による板鍛造技術の高度化と量産の安定化	
55	野村ユニソン株式会社	省エネ改善及び生産性向上を実現する中空鍛造生産ラインの構築	
56	大和電機工業株式会社	世界初の医療機器向けニッケルレス無電解めっきプロセスの開発	
57	株式会社永田製作所	内視鏡用極小レンズ加工時に使用する超微細治工具の試作開発	
58	株式会社サワキ	複合加工技術の高度化による低コスト・リードタイム短縮の実現	
59	有限会社花井精機	医療器部品の試作から量産への一貫した生産体制と品質保証体制の確立	
60	株式会社エクセル	省電力、小型化、高品質な赤外線SMDLED基板の実装方法の開発	
61	株式会社八光電機	鋳込みヒーターでの信頼性の高い検査方法と、高品質の製造システムの構築	
62	旭松食品株式会社	納豆菌を使用した発酵おからの家畜飼料への有効利用	Vol.2
63	株式会社飯島精機 (採択時:有限会社飯島精機)	マシニングセンター導入による高効率プレス試作技術の開発	
64	株式会社コスミック恵歯研	CAD/CAM設備による新たな歯科補綴物の生産方式の導入	
65	日本ミクロン株式会社	航空機分野を含む、近距離無線通信向け部品内蔵デバイスの開発	
66	松本スプリング株式会社	スパイラル状構造用補強金具の生産工程自動化による生産性アップと精度向上	Vol.2
67	アスザック株式会社	バイコン製法によるコンクリート2次製品自動化製造設備の導入	Vol.1
68	株式会社LADVIK	目視検査の課題解決へ、ホースクランプ自動外観検査装置の開発	
69	有限会社ケーアンドケーメディカル	長時間座っていても疲れづらく、蒸れない椅子の開発	
70	巴協栄リネン株式会社	医療関連サービスマーク認定取得による医療機関寝具類洗濯事業の拡大	
71	ナノファーム株式会社	超高压プロセスを用いてナノ分散化したガラス用水性遮熱剤の試作	
72	株式会社ジェルモ	最新鋭リフロー装置を導入し、生産性向上と環境負荷低減を実現する。	
73	イー・ジーシステム株式会社	顧客の要望する機械設計 (CADとCAE) ツールと回路解析ツール導入	
74	株式会社志賀精工	車載用IGBTパワーモジュール部品のプレス化によりコスト低減等を図る。	
75	株式会社リョーシン	小型・軽量の着用型身体冷却装置の開発	
76	株式会社旭	3Dプリンター導入による金型製作の短納期化・コストダウン	
77	有限会社インフィデント	歯科用CAD/CAM導入による最先端新素材技工物の品質・生産性の向上	
78	株式会社ミヤタ	プレス機械加工からスピニング機械加工にすることにより、自動車エアバッグ部品の生産効率化と低コスト化の実現。	
79	株式会社eco・カンパニー	液状化対策としての、環境に極めて優しいecoな地盤改良工法の導入	
80	夏目光学株式会社	航空宇宙分野に使用される脆性材料の精密研削加工の高度化	Vol.1
81	株式会社マスダ	最新複合旋盤導入と技術者養成による高精度・短納期・試作生産体制の確立	
82	株式会社中野屋ステンレス	高速チップソーの導入による加工技術の高度化と高効率・短納期生産体制の確立	
83	有限会社喜多屋醸造店	納豆菌を用いた高機能、高品質な低食塩味噌の製造プロセスの開発	
84	高島産業株式会社	量産用の高精度3次元レーザ加工機による医療機器の事業化	
85	株式会社エヌ・ティー・エス	ワンコート可能な無機系耐水・難燃性コーティング剤の開発	
86	株式会社共進	次世代自動車の二次電池における新たな電極部品接合方法の開発	Vol.2
87	平澤電機株式会社	5軸加工機用CAMの並列運用による生産性の改善	
88	株式会社プリンティアナカヤマ	製本機能付最新デジタル印刷機導入による小ロット冊子超短納期生産体制の確立	
89	株式会社イズモヘルス	イソプレングム製カテーテルの開発	
90	光葉スチール株式会社	新素材鋼板の使用による高耐食（防錆）鋼製家具の開発、製造構築	
91	長野システム開発株式会社	訪日外国人旅行者向けサービスコンテンツを搭載したホテルシステムの開発	
92	山京インテック株式会社	最新の複合加工機導入による航空宇宙部品加工の効率化と品質安定化	
93	株式会社丸信製作所	多軸複合数値制御旋盤によるロッカーアームシャフトラインの品質向上と統合化	Vol.1
94	サンエスシステムズ株式会社	ISOに準拠した生産部品承認プロセス管理システムの試作・開発	
95	株式会社ワカ製作所	人工衛星用セミリジッドケーブル国内唯一の生産体制構築	
96	株式会社共栄測量設計社	多関節角度センサーを用いた配管位置計測システムの試作・検証	
97	アルファードデザイン株式会社	多ヘッド一括接合装置のための4軸高精度制御ヘッドユニットの開発	
98	株式会社コシナ	次世代高機能・高性能レンズ評価のためのMTF測定機の開発	
99	株式会社タク技研	メタルマスク製造専用ソフトの開発と設計支援サービスの提供	Vol.1

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
100	株式会社長鍛豊田製作所	次世代エンジン用エンジンバルブの耐摩耗合金溶接技術の確立	
101	長野鍛工株式会社	先端設備導入による低燃費エンジン用難削部品加工の自動化	
102	株式会社オルツ	薄紙デジタル印刷による3,000ページ超の本の印刷・製本	
103	株式会社アクセス	安心して点滴を受け、施すことができる輸液監視システムの開発	
104	有限会社スワコ精密工業	高機能洗浄機導入による切削加工品の品質向上と環境汚染防止	
105	株式会社テレビ信州エンタープライズ	ナローキャスト放送システム（送出及び受信装置）の新規開発	
106	株式会社イクシス	立体造形で作った試作品を、実用部品へ応用展開する技術の導入と実用化	
107	ミナト光学工業株式会社	精密位置決め装置の製造工程改善による納期の大幅短縮実現と市場拡大獲得	Vol.2
108	ミマキ電子部品株式会社	深紫外LEDの開発	Vol.1
109	伴野酒造株式会社	低アルコール純米“濁り酒”の開発による新しい日本酒ファンの開拓	
110	株式会社キザキ	リハビリ訓練用の水中ウォーキングボールの試作開発及び設備導入	Vol.2
111	有限会社大西製粉	信州産「丸抜き」そばの実の製造ノウハウ確立による量産体制の構築	Vol.1
112	多摩川マイクロテック株式会社	航空機用センサ・モータ及びアクチュエータ内蔵の多段歯車加工技術の事業	
113	株式会社山岸製作所	複雑形状な鋳造・鍛造部品のNC旋盤加工技術の確立と新規受注の拡大	Vol.1
114	株式会社ズー	調剤薬局内外で適切な服薬指導を行うタブレット型薬歴管理システムの構築	
115	有限会社エフ・アンド・エフ	パーソナルユーザー用「書籍の自動読み取り機」の開発及び試作	
116	NiKKi Fron株式会社	PTFEダイヤフラムの成形技術改良に伴う機能及び、製造技術向上	Vol.2
117	イデアシステム株式会社	手軽に幅広い環境で利用できる移乗・移動を補助する福祉用具の試作開発	Vol.1
118	株式会社ハヤシ	多品種少量生産のコストで海外に勝つ。廉価な装置+独自の工夫で自動化に挑む	
119	株式会社ケントク	ターボ分子ポンプ部品の試作、量産加工用複合加工機の導入	
120	若穂紙器有限会社	軽くて丈夫なダンボールの特性を生かした新事業	
121	株式会社シュタール	門形プレートミル機の調達、加工改善による納期短縮、高精度、コスト低減の実現	
122	株式会社明工精機	金型型枠表面加工における高精度・高品質化のための加工技術の確立	
123	有限会社花岡光学	高級一眼レフデジタルカメラにおける高精度・高品質な交換レンズ鏡筒の製造プロセスの構築	
124	株式会社西飯田酒造店	花から分離された酵母を使用し個性的な酒類を製造し提供する。	
125	長窯株式会社	大型光電子増倍管用ガラス新規開発ならびに量産体制構築	Vol.2
126	株式会社ホクタン	農業事業者向けソーラーシェアリング及びICTシステムの開発	
127	株式会社マツキ	通年製造型「本来のところてん」（生天）の製造プロセス開発	
128	株式会社江口技研（採択時:江口技研）	顧客ニーズを満たす「異形状円筒研削盤導入」による「一貫生産体制」の構築	
129	宮坂醸造株式会社	水質環境に影響されない“ブランド銘柄・清酒製造技術”の開発	Vol.2
130	株式会社ニチワ工業	新用途向け色材開発用分析機器設備導入及び分析手法の開発	
131	株式会社カヤマ	多結晶ダイヤモンド特殊工具の内製化による自動車部品試作品の短納期化	
132	株式会社信州KornuKopia（コルヌコピア）	製品の保存性の向上と機能性の研究によるブランド化事業	
133	株式会社西軽精機	自動車エンジン圧力センサー用外筒ケース量産化	
134	株式会社三田精機	ボビンコイルの巻線技術確立による生産力強化と新規事業展開	
135	伸和テクノス株式会社	飛躍的に革新する試作品加工納期・コスト管理等の生産プロセス構築	
136	有限会社双葉製作所	光学部品の内径ローレット加工における革新的加工方式の開発	
137	株式会社メディック	金型用入駒の高精度内外周カット加工・短納期加工技術の確立	
138	株式会社マイナック	服飾用新素材開発（タテ編み、3層、2層構造）と新素材を使ったオリジナル製品の試作	
139	三経樹脂工業株式会社	「金属・プラスチック一体成形」による畜産用部品の自動生産システムの試作開発・構築	
140	化興株式会社	自社開発新工法PE（ポリエチレン）ライニングの自動溶接機導入による作業時間・作業工程の短縮による効率化。	
141	長野吉田工業株式会社	多色・異形状プラスチック製品対応画像検査機器の開発・導入	
142	有限会社エコナ	粉体制御システムの導入による、高生産性廃消火器薬剤回収工程の確立	
143	オルガン針株式会社	超硬製精密金型の開発によるファインニット用メリヤス針の競争力向上	Vol.2
144	株式会社マウント	4K映像制作で信州の魅力をアピールする「新・映像制作事業計画」。	
145	株式会社豊島屋	米麴を使用した安心・安全な無添加甘酒の生産体制の高度化	
146	日進精機株式会社	プレス金型製造技術、加工技術とインサート成形一貫製造技術開発	
147	有限会社深井製作所	画像寸法測定器導入による極小端子の高精度連続自動圧着技術の確立	
148	有限会社助屋グループ	固形型濃縮スープ「Kキューブ」の開発・商品化	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
149	カインシエレクトロニクス株式会社	スポット溶接痕を極小化させる溶接技術の試作開発	
150	日成機工株式会社	関節疾病患者向け人工関節の高精度加工技術の高度化	
151	株式会社広田ケミカル	成形・加工一括受注による次世代長尺3D樹脂切削加工技術の確立	
152	株式会社デリックくちま	管理栄養士による病態栄養食・介護予防食等の食事療法用宅配食事業	
153	株式会社ヨウホク	高性能板金設備導入により、低コストと短納期対応力を強化し受注を拡大する。	
154	越川工業株式会社	LNG船大口径ステンレスバルブ鋳物生産用大型高周波溶解炉導入	
155	日本プラパレット株式会社	航空貨物向け 超軽量プラスチック製パレットの開発	
156	有限会社原製作所	3Dスキャナ用高精度レンズの設置と3DCAD導入による設計データ作成方法の開発	
157	新和工機株式会社	整形外科用手術器械の高精度及び短納期の実現	
158	ネクストリンクス株式会社	業績見通し予測型 リアルタイム業績管理システムの開発及びサービス提供	
159	株式会社NEXAS (採択時:株式会社赤羽製作所)	航空機構造部品加工を高効率・安定品質で進める為の三つの取組み。	
160	日本電熱株式会社	過熱水蒸気による簡便な洗浄・殺菌装置の開発	
161	有限会社シャンベルク・ヤマ	美容・エステ・貸衣裳のワンストップによるブライダルサービスの開発	
162	株式会社デリカ	堆肥散布機の特注品を短納期で製品化する全体最適化生産管理システムの試作開発	Vol.2
163	株式会社ロクハ精工	光学系部品等の高速・高能率切削加工技術の開発	
164	株式会社富士精機製作所	キャブレタ用部品の洗浄工程における増産対応と低コスト化	
165	株式会社倉科鐵工所	高速プラズマ切断機の導入による建設金物の生産能力向上及び代替エネルギー向けフレーム製作の新規事業分野への事業確立	Vol.2
166	株式会社小松製作所	パワーリハビリ機器部品における新工法の試作開発による事業の拡大	Vol.1
167	有限会社サンライズ	インクジェット印刷とインクの瞬時硬化（UV硬化）技術の導入による新事業の創出	
168	有限会社イケダエンジニアリング	独自の内作治具を活用した高精度深穴加工技術の向上と販路拡大	
169	株式会社サンクゼール	ワインのぶどう残渣を利用した高齢化対応健康ジェラートの開発	
170	有限会社アプローチ	工作機械用トランス製造における平角銅線の自動巻線技術の確立	
171	株式会社ウェブノート	長野県の魅力発信！ビュー技術活用、次世代集客WEB展開事業	
172	八幡屋産業株式会社	鋳物製品バリ取りプロセスの自動化及び治具の開発・販売	
173	有限会社フィット	ヘッドマウントディスプレイを用いた広視野眼鏡	
174	ハヶ根工業株式会社	多様化する超硬製測定工具の安定供給	
175	飯田精密株式会社	5軸加工機の導入による航空宇宙関連顧客要求への対応と売上げ・利益の向上	
176	日精電機株式会社	3D CADによる設計効率向上及びハイブリッド小型成形機による部品高精度化	
177	株式会社マイダス	パワーインダクタの製造技術確立に向けた革新的な成形機の開発	
178	株式会社エヌ・ピー・シー	プレス試作技術開発による新規開発品の短納期対応力強化	Vol.1
179	有限会社プライムシステムズ	アナログ・デジタル回路混載システム向け計測制御システムの試作開発	
180	有限会社エイチ・オー・エス	新型矯正装置の開発と製品化	
181	株式会社イズミ	3Dプリンターの導入に依る工期短縮およびコストダウン	
182	フジテックス株式会社	超精密検査治具の製造と新たな穴あけ加工技術の開発	
183	有限会社ニシキ精機	高精度・微細切削加工技術開発に伴う効率的生産システムの確立	
184	日本化材株式会社	食品添加物を主とする有機酸の混合技術を改良して重金属を含まない金属表面処理剤の開発	
185	有限会社金井精密	超小型医療精密部品加工における、高品質・低コスト実現の加工技術の開発	
186	株式会社アドライズ	積層造形機導入による小型で軽量の昇降扉用ギヤボックスの試作開発	
187	有限会社木羽製作所	一貫生産体制の確立による短納期、低コスト化の実現と技術者の育成。	
188	アカネ工業株式会社	三次元測定システムを活用した加工技術の改善と高度化による顧客要求の高精度加工エリアの拡大	
189	カザマエンジニアリング株式会社	医療機器用姿勢制御装置の試作開発	
190	アイキョー有限会社	高精度・高品質な鏡枠完成部品の付加価値増加と製造プロセスの構築	
191	コジマ工業有限会社	精密溶接加工の充実とコスト競争力の向上	
192	カ石化工株式会社	自動車部品加工の事業拡大を目指した量産型無電解ニッケルめっき技術と装置の開発	Vol.2
193	株式会社ホクト精工	プラスチック金型の設計製作のシステム化と人材育成による技術構築	
194	有限会社平林精機	難削材の精密加工技術の確立によるコスト削減と油圧部品の市場獲得	
195	株式会社レヂトン	回転均し機を用いた、オフセット切断砥石製造方法の開発	
196	株式会社アットランド	クラウドによる中小規模ホテル・旅館向け業務管理システムの開発	
197	株式会社矢沢光学	軟硝材光学レンズの研磨加工工程確立	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
198	株式会社メック	ダイカスト部品の画像処理応用による外観検査技術の確立	
199	株式会社日本シールボンド	高機能医療用注射針の量産事業化	
200	東京精電株式会社	高性能高機能 交流安定化電源装置の試作開発	
201	株式会社塚田メディカル・リサーチ	透析患者の医療情報管理を目的とした電子透析手帳の開発とクラウドシステムサービスの構築	
202	有限会社丸山クリーニング店	老人介護施設における介護の現場負担改善のための洗濯業務開発	
203	株式会社徳武製作所	工業用ライン生産技術を導入した病理検体染色機の試作開発	
204	株式会社オサチ	高精度で簡便に中心血圧を測定する血圧脈波検査装置の試作開発	
205	有限会社アキ精工	航空分野が求める複雑形状部品や難加工材の加工技術確立と高度化	
206	有限会社マルイ産業	業界初の暗黙知を形式知化した生産ライン導入による「ヘリ無し畳」の流通拡大事業	
207	マルコメ株式会社	大豆（穀類）の乾燥粉末化設備の開発と実用化	
208	株式会社桜井製作所	小径絞り部品における製品板厚以下バリ無し穴加工技術の開発	
209	株式会社松本微生物研究所	メタン発酵消化液の高温好気発酵型有機液肥化装置の試作開発	
210	マイクロコントロールシステムズ株式会社	配光制御可能なLEDランプを活用したモノポール型街路灯の試作開発	
211	有限会社ラジエル	オーダーカーテン市場の垂直統合化による、新たな付加価値の創造	
212	サンケン工業株式会社	曲げ・溶接工程の見直しによるコストダウン、短納期体制の構築	
213	三全精工株式会社	最新型ワイヤー放電加工機の導入と新生産保全システムの開発	
214	株式会社カミジョウパック	真空圧空成形機の導入による、生産プロセスの強化及び品質の向上、短納期ニーズへの対応体制の確立。	
215	中野プラスチック工業株式会社	車載コネクタの高精度化への対応と品質監視システムの構築	Vol.2
216	有限会社三和興機	CNC旋盤加工機導入による加工技術の高度化と工程の最適化	
217	株式会社ワイドデンタル (採択時:有限会社ワイドデンタル松本)	CAD/CAMと自動研磨機による歯科補綴物の品質向上、製作時間短縮及び新素材加工実現化	
218	株式会社アート・プランニング	立体形状印刷を用いた施設向けオリジナルサインの開発と製造。	
219	黒澤酒造株式会社	麹（こうじ）の製造工程の改善による日本酒の品質向上と国内外への販路拡大	
220	株式会社ガリレオ	太陽光発電の効率及び安定性向上を可能とする製品の開発とサービス提供	
221	株式会社エンドレスプロジェクト	すり合わせ装置導入によるレース用高付加価値ブレーキパッドの商品化	Vol.2
222	株式会社協同電工	SMDタワー導入による画期的部品管理の構築	
223	太陽工業株式会社	医療用鉗子（かんし）部品の短納期・低コスト実現へプレス化技術の開発	
224	南信州菓子工房株式会社	6次産業化に寄与するために真空濃縮技術を応用した有機JAS規格に適合する国産半生ドライフルーツの試作ライン確立と商品開発事業の展開	
225	本多通信工業株式会社	多品種少量生産を支える、新しいコンセプトのカセット金型の開発	
226	信州吉野電機株式会社	医療機器向け精密金属加工品生産体制の構築	
227	有限会社宮城商店	おいしくて手軽な「(新) 乾燥漬物」の製造および販売	Vol.2
228	株式会社タキワ工業	高速マシニング導入により納期短縮、コストダウンを実現する。	
229	宮坂ゴム株式会社	パワーモジュール導電部に用いる印刷用導電性塗料の試作開発	
230	株式会社綿谷製作所	軸物内面研磨技術のシステム化と新鋭専用機導入	
231	有限会社野溝製作所	自社開発工具を用いた医療機器用超精密部品の工法開発及び設備導入	Vol.1
232	株式会社ヤマト	切削部品洗浄の高度化・効率化による収益性向上と受注拡大	
233	エコシンフォニー株式会社	小型差圧吸引混合方式、次亜塩素酸水成装置の試作開発	
234	株式会社サーキットデザイン	動物位置検知に特化したソフトウェア受信機システムの開発	Vol.1
235	吉田工業株式会社	鋳物仕上工程用NC制御型多軸加工機導入による複雑立体鋳物製品の高度化	Vol.1
236	有限会社小笠原商店	天然寒天製造設備の新鋭化と産学公連携による新商品・新販路開発	
237	株式会社ちの技研	業界初ピアフィル複合電気めっき技術の確立による高機能プリント配線板の開発	
238	株式会社サトー	ニットの弱点をカバーした新たな編機導入による新編地開発	
239	ゴコー電工株式会社	高性能トルクモータ製造における“新試験システム”の開発	
240	藤原印刷株式会社	書籍の電子化技術の新工法開発による新サービスの提供。	
241	株式会社前田鉄工所	機械加工と溶接技術で製作した高性能伝熱管を用いる熱交換器の開発	
242	信濃ワイン株式会社	瓶内二次発酵方式のスパークリングワイン製造設備導入とコンコード種ブドウでの製品化	
243	株式会社シーピーアール	物流資材の軽量化のための新規試作開発	
244	有限会社南信テック	高収率・低廃棄量を目的とした多機能搾汁機の試作・開発	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
245	株式会社平出精密	精密钣金技術を使ったテーラードブランキング材加工技術の開発	
246	北陽建設株式会社	パネによるエネルギー吸収システムを採用した新落石防護柵の開発	
247	多摩川テクノクリエイション株式会社	航空機搭載用装置のシミュレーション高度化と手法開発	
248	プラテック工業株式会社	IT技術を活用短納期プラスチック金型の設計製作プロセスの開発	
249	パッシングポイント	ガード付マルチコプターを活用した新しい橋梁点検サービス	
250	ベストプラ株式会社	低強度なフィルム類を高品質・低コスト・短納期化のニーズに応える再生プラスチックペレットの試作開発	
251	有限会社辰野目立加工所	生産性向上の決め手、「バリなしドリル」の量産化を実施する設備導入	
252	株式会社駒ヶ根電化	特定顧客の多様な高品質製品に対応した亜鉛複合めっきバレル自動ラインの新設	
253	株式会社伸和精工	ワイヤカット放電加工機導入による超精密角絞り用プレス金型の製作	
254	株式会社タイドー	木工用マシニングセンター導入による生産性向上とこだわり家具事業の展開	
255	株式会社エスケー精工	医療用機械装置専用のアルミ加工設備の導入による超精密加工技術の開発と提供	
256	マイクロテック株式会社	レーザー光源を利用した表面散乱光方式濁度計の試作開発	
257	株式会社ダイワ工業	パワー半導体（インバータ回路）向け高放熱性基板の開発	
258	セルフア長野株式会社	高密度実装用新型ポイントフラックス塗布機の開発	
259	株式会社コシブ精密	フォトリソ技術を応用活用した3Dパターン化による新規製品開発	
260	岡谷精密工業株式会社	水晶デバイス製品における気密封止用超小型金属キャップの試作開発	
261	ナノテック合同会社	可搬式災害用ソーラー浄水システムの開発	
262	有限会社吉沢物産	電気料金削減で生産拡大と品質向上に努め、売上増と雇用者の収入増を目指す	
263	trackwork株式会社	熟練職人の知識・技術を継承し、熟成肉の製造・食肉加工品の開発を核とした事業	
264	株式会社医学生物学研究所	細胞内動的分子挙動観察用プローブ試薬・キットの開発	
265	株式会社ハナオカエンジニアリング	機能を付加した大型立型複合機導入と、加工改善による収益向上	
266	株式会社カウベルエンジニアリング	基板・完成品検査装置の開発・製品化	Vol.1
267	有限会社宮坂精工所	ステンレス材高精度薄肉加工技術の開発	
268	プラズマ電子株式会社	産業機器用プラズマの状態を把握する連続計測装置の試作開発	
269	有限会社buono	パン製造工程における二次発酵室の増設による製品品質の安定化	
270	株式会社フジ技研	3Dレーザースキャナの導入による点検・診断技術の開発	
271	株式会社タキワ	収益向上と納期短縮を目指した金型製造工法改善と市場獲得	
272	有限会社ESアドバイザー	水処理用粒状活性炭の再生技術の開発と事業化	
273	セラテックジャパン株式会社	高精度表面形状測定機の導入によるパワーデバイス用基板の研磨技術開発	
274	株式会社ナイトー	次世代自動車用電装モジュールのコストダウンと高精度化を実現するプレス金型の実用化	
275	株式会社スター精機	新工法開発によるコストダウンの実現	
276	株式会社竹村製作所	不凍水抜栓の構造変更による生産工程の効率化と製品の高品質化	
277	株式会社アメック	高機能シートの高透明度、薄型化、厚さの均一性等を実現する金型加工技術の確立	
278	株式会社ナンシン	機能性マイクロチューブの試作開発およびその製造技術の開発	
279	有限会社ウインテック	高精度測定器導入による全行程・全数保証のための効率的検査システムの確立	
280	株式会社メイクワン	UVインクをガラスに凹凸を付けて印刷し、立体的に見せる新しい印刷技術の開発	
281	大共化成工業有限会社	発泡ビーズを使用した寒冷地・軟地盤の土地造成時の下地材の試作品開発	
282	株式会社エグロ	高速主軸を開発するための回転試験装置と測定装置の設備と運用	
283	株式会社サンリエ	バルブ開閉機能を付加した医療・産業用 超小型マイクロポンプの試作・開発	
284	マリモ電子工業株式会社	ADSを使用した高速基板設計技術確立による高周波計測装置の開発	Vol.2
285	伊東産業株式会社	太陽光パネルを電源とした圧縮空気動力による防潮堤の自動開閉装置の開発	
286	株式会社協和	X線検査装置導入による高信頼性評価技術と12層基板新実装量産体制確立	
287	株式会社南信精機製作所	業界初。振動モーター向け整流子のセグメント抜け防止対策としての円筒カシメ工法	
288	有限会社西澤研磨	次世代に必要なとされる樹脂部品の研磨技術開発	
289	有限会社堀川工業	多種多様な機械部品加工における短納期対応、製造技術の革新	
290	湖北工業株式会社	熟練技術と複合旋盤の融合による旋盤精密加工の新たな生産プロセスの確立	
291	株式会社マイクロネット	生活空間の静音要望に応える能動騒音制御装置の試作開発	
292	株式会社ヤマザキアクティブ	航空宇宙産業参入のための「特殊金属製ゆるみ止めボルト加工技術」の試作開発	Vol.1
293	有限会社小池精工	次世代自動車関連部品の高精度化に寄与するプレス型の技術開発	
294	株式会社バイタル	超小型軽量の瞬間式温水自動水栓の試作開発	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
295	信越ハーネス株式会社	次世代自動車向けワイヤーハーネスに関する技術開発	
296	株式会社KEC	小型部品供給機と小型ロボットを組合わせた生産装置製造の事業化	
297	株式会社広田製作所	大容量磁気ディスクの高速/高品質データコピー技術の開発	
298	有限会社中信紙工	精細な立体段ボール製品実現のためのレーザー加工機と3D-CADの設備導入	
299	株式会社エスシープラスチック	機能性透明樹脂を用いた複雑形状部品の成形技術の高度化	
300	GAST JAPAN株式会社	高硬度金属材料を使った医療医薬関連部品の開発	Vol.2
301	株式会社永田製作所	品質と作業効率向上に寄与する、光学レンズ用洗浄治具の試作開発	
302	シナノカメラ工業株式会社	次世代自動車ECU向け部品実装に関する技術開発	
303	有限会社アムス	難削自動車部品の工程及び治具改善等の高度化により40%コストダウンの達成	
304	有限会社芳川紙器	医療検査機器の海外輸送に対する梱包設計の精度の向上とサンプル製作の短期化	
305	株式会社トーキン	QRコード対応型高速システム切断機導入による高精度切断と生産管理の合理化	
306	レゾネッツ・エアフォルク株式会社 (採択時:レゾネッツ株式会社)	無線及び移動体通信網を使った高品位音声伝送装置の開発と試作	
307	株式会社アグリスタくましろ	『市田柿』をお客様へ早く・美味しく届ける為の生産工程の改善	
308	エムケーカシヤマ株式会社	プレス金型用部品のメンテナンス作業の効率化と汎用化の推進事業	Vol.2
309	有限会社川手製作所	超高精度真円度加工技術の開発による加工技術の高度化と生産性の高い短納期生産体制の実現	Vol.2
310	株式会社タカギセイコー	眼科医療機器製造における競争力向上の為の革新的な生産管理システムの導入	Vol.1
311	株式会社浜島精機	航空宇宙部品受注拡大に向けた加工時間短縮と精度向上による競争力強化	Vol.1
312	株式会社大和生物研究所	クマ笹抽出効率の向上と水の再利用による原価低減および商品安全性のための製造環境整備	
313	有限会社松本電子工業	高密度両面実装の高品質化・短納期化に対応するハンダ印刷治具開発及び実装設備導入	
314	株式会社久保田製作所	円筒研削盤導入による短納期・低コスト・超精密・高精度の金属加工の実現	
315	有限会社古川製作所	ロボットを多角的に利用した、多様な航空機部品生産システムの構築	
316	有限会社センタープロセス	難削材加工の製造プロセス改革による競争力の強化、構築	
317	株式会社湯川酒造店	清酒の輸出拡大・品質向上の為、高度な温度制御を行う加熱殺菌技術の開発	Vol.2
318	株式会社ミツギ	航空機次世代エンジン実験用部品の試作開発及び設備導入	Vol.2
319	カネテック株式会社	受注拡大を目的とした、高効率切削加工技術と最新機械及び治具研究の融合	Vol.2
320	有限会社矢城	地域特産品のハケ岳西麓産「玄そば」を活用した「どうづきそばパスタ」の開発・販売拡大事業	
321	アタゴシステム株式会社	世界初の果汁搾り機「CAJYUTTA」(カジュッタ)自動機の試作開発	
322	株式会社コーヨーテクノス	超高精密の検査治具作製のため、超微細の穴あけ加工が可能な加工機の導入	
323	有限会社タケイ工機製作所	高精度精密切削加工技術の改善、高度化による油圧部品の市場獲得	
324	伸和コントロールズ株式会社	燃料電池車向け水素ステーション用高精度・高効率冷却装置の開発	
325	株式会社ロータスプロモーション	炭酸泉生成システム(T2sys)の新規販売ルートの開拓	
326	株式会社八幡屋礒五郎	七味唐辛子の素材・地産食材を使用した自社ブランド喫茶・飲食施設の開業。	Vol.2
327	有限会社ナツバタ製作所	次世代自動車の部品加工を想定した応力低減切削加工技術の確立。	Vol.1
328	有限会社スワニー	デジタルモールド(射出成形特殊樹脂型)の事業化に向けた研究開発	
329	有限会社フジ製作所	工程削減による試作・量産部品のリードタイム短縮・低コスト体制の構築	
330	有限会社マックス	医療機器(内視鏡)生産設備構成部品の高精度「内R加工」技術の確立	
331	武蔵野通工株式会社	医用トランスに於けるフェライトコアの最適エアギャップ形成プロセスの開発	
332	株式会社アシエ	両頭側面フライス盤導入と加工プロセスの改善による高精度・短納期の実現とコストの削減	
333	株式会社丸山製作所	高精度実装機導入による試作から量産への高度化生産ラインの構築	
334	大信州酒造株式会社	新タイプのリキュールの製造環境改善と生産性アップによる販路拡大	
335	有限会社測地	最新技術測量機械を使った三次元点群位置データの提供	
336	ミクロン精工株式会社	多軸加工機による半導体モールドパッケージ装置部品の生産性向上	
337	株式会社フォワード	超硬材微細切削加工の低コスト化に向けての新加工法開発	
338	有限会社佐藤製作所	低公害型ローコスト材料(再生砂)を使用した鋳物製造用中子の試作造型	
339	株式会社ノースウエスト	雪山を走破しきる極限雪上車の開発、試作、事業化	
340	有限会社一光精機	設備導入による大型製造装置用部品における研削加工生産能力向上事業	
341	多摩川精機株式会社	小型磁気軸受を使用した長寿命リアクションホイールの試作開発	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
342	株式会社アップルハイテック	航空宇宙関連顧客要求に対応するための5軸加工機導入と売り上げ増加・利益向上	
343	株式会社リニアック	CNC旋盤導入による短納期対応と価格競争力強化並びに新規受注の獲得	
344	浅間化学企業組合	トナーカートリッジの成形と組立を一体化した一貫生産体制の再構築	Vol.1
345	有限会社カワテ	NC設備導入による生産体制の高度化、高精度化、短納期化の実現	
346	新增澤工業株式会社	生糸製造工程に於ける革新的省力化機械の試作開発	
347	株式会社リソー技研	太陽電池パネル製造用設備の超音波半田付け装置・開発について	
348	昭和樹脂工業株式会社	家庭用医療機器（ポータブル電動吸引器）の開発による事業拡大	
349	株式会社長野大崎製作所	樹脂成形品の高機能化、低価格化を実現する異材質成形技術の開発	
350	株式会社三葉製作所	ユーザーの次世代製品を支える、革新的構造の押出成形機ヘッドの実用化	
351	株式会社CPM	リレーコアの高清浄化のためのコンタミ制御と除去装置の開発と導入	
352	株式会社東亜	自動化技術を活用した加工プロセスの確立による医療機器部品の生産能力向上事業	
353	株式会社プリオール	製造（裁断）工程の自動化と管理システムの構築による生産性向上、および新商品開発	
354	有限会社愛光電子	航空宇宙用プリント基板組立工場内の適切な環境作りのための設備導入	
355	株式会社中部テクノ	高精度プレス金型および高速プレス加工用金型の加工技術の確立	
356	株式会社寿バイオ	高品質バイオディーゼル燃料製造設備導入により再生エネルギーの地産地消に取り組む	
357	株式会社協和精工	医療機器向け安全装置用特殊ブレーキの量産化による海外受注拡大	Vol.1
358	有限会社ミサワ金属工業	人工衛星用部品の難加工材加工に伴う高性能化、複雑形状化対応	
359	株式会社ユニコン	航空宇宙用特殊材使用歯車部品の高速・高能率切削加工技術の開発	
360	株式会社ヒーテック	精密加工部品の熱処理変形を無くすための加工プロセスの構築	
361	伊那食品工業株式会社	天然物由来のポリイオンコンプレックスポリマーの開発及び製造技術の確立	
362	株式会社インフィニティ	美容サロン向け「経営・集客支援システム」事業の強化	
363	株式会社イシワタグラフィックス	機能性クリアファイルの少量生産即時納品サービスの構築	
364	株式会社乾光精機製作所	航空宇宙分野で使用される難削材・自由曲面加工の高度化	
365	有限会社多田プレジジョン	5軸マシニングセンタ導入による金型と高精度加工部品の生産能力強化	Vol.1
366	株式会社ヒューテック	下水道マンホール内の自動撮影及び図化作成システムの開発（通称:無事故君）	Vol.2
367	大栄産業株式会社	木製看板における新工法の試作開発による環境配慮型看板市場の開拓	
368	株式会社土屋酒造店	生酒の通年輸出を実現する保存技術開発とそのための設備導入	
369	株式会社竹屋	新製麹法による新しい味噌の商品化とその技術を用いた新食材開発	
370	株式会社ピーエーイー	最新切削設備導入による「航空・宇宙」部品加工の事業拡大	
371	パワフル健康食品株式会社	バイオ技術を用いた農産物の機能性植物発酵食品の製造設備導入	
372	北信地域材加工事業協同組合	工務店の住宅建設現場での騒音・ゴミ処理の軽減、および人材不足等への支援	Vol.1
373	アイビーテクノクリエーション株式会社	複合加工機とCAM導入による工程短縮及び新分野への展開	
374	日邦電機株式会社	ダイレクトドライブを可能にする超薄型ハイパワーモータの開発と専用製造ラインの構築	
375	有限会社諏訪ニチアイ精工	高速回転・高送り切削法による異形状多面体の高精度・高能率加工技術の確立	
376	有限会社ユーズテック	航空機部品の市場コスト対応と受注から量産のリードタイム短縮に向けた生産プロセス改善事業	
377	株式会社アイン	光通信向けモジュール用基板の製造プロセス改革	
378	株式会社信州セラミックス	ホルムアルデヒドを分解する空気清浄機フィルターの試作開発と事業化	
379	株式会社なかひら農場	精密多次元曲面を用いたスクリュープレスの開発	
380	有限会社タイム社	3Dスキャナーと写真測量用ラジコンを活用した3次元図面作成サービス	
381	株式会社山口電機	水封式真空ポンプ用部品の設備投資による生産性向上事業	
382	ユニプリント株式会社	高感度画像検査装置の導入による、製本加工の品質安定と信頼性の見える化で市場拡大	
383	有限会社シンワ工機	産業用ロボットの小型化に伴う切削加工品の薄肉細長形状への対応	
384	株式会社シミズテクノ	洗浄工程の自動化を実現する専用インライン洗浄機の試作開発	
385	有限会社ハイツシステム	タブレット機器を利用した、産業システム向けカスタマイズ可能な操作・監視端末の開発	
386	株式会社仙醸	どぶろく製造における加熱殺菌工程の高度化	
387	ラブジャパンブランド株式会社	伝統的帯地・着物地を活用したインテリア用品などリメイク商品の試作・開発	
388	株式会社角口酒造店	「フレッシュローテーション生酒」の開発と製造システムの構築	
389	株式会社オノウエ印刷	異形印刷物の型抜き加工機導入による新事業展開と受注拡大	
390	株式会社Aizaki（探採時：株式会社相崎電機製作所）	3D加工情報連動型検査システムの導入によるコストダウンと受注拡大	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
391	株式会社サワイ	大物部品の高速研削化並びに超精密平坦精度技術開発と量産化	Vol.1
392	有限会社ケー・アンド・エフコンピュータサービス	3Dスキャナによる3Dプリンタ向けデータのプリプロダクションサービス開発	
393	有限会社丸井伊藤商店	高品質な米麴の製造工程の高度化と地域産品を活用した甘酒ジュレの新商品開発	
394	伊那食品株式会社	消費者により安心・安全な食品を提供するための新設備の開発・導入	
395	株式会社ユタカ	圧力調整器本体加工の工程集約による高精度化とコスト競争力強化	
396	不二越機械工業株式会社	硬質材料等の高荷重・高速による研磨装置の開発	
397	キャンテクノロジー株式会社	高速かつバリなし切削によるチタンの低コスト加工技術の確立	
398	須坂新聞株式会社	ローカル新聞社が行う新たなメディアによる情報提供・広告サービス	

平成26年度補正分

(受付順。事業者名は発刊時、事業計画名は平成26年度採択時の申請内容を記載)
(Vol.2, 3はそれぞれ成果事例集第2,3巻の掲載事例。本会ホームページでご覧いただけます)

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
1	信越明星株式会社	機械製麺の弱点を克服し食感改善した冷凍信州そばを実現するための製麺機導入事業計画	
2	株式会社荻原製作所	燃料電池を用いた産業車両のセルスタック冷却用水処理装置の開発	Vol.2
3	株式会社イングスシナノ	近未来ディスプレイに必要なとされる高度実装技術および装置開発	
4	株式会社西軽精機	医療機器部品高度精密洗浄体制確立	Vol.3
5	株式会社やまへい	機能性を高めた新たな野菜漬物の試作と加工技術確立による商品開発	
6	株式会社ヤハタ精工	医療機器部品における高精密金型の試作開発	
7	昭和樹脂工業株式会社	ブロー成形機導入による医薬品用小型容器成形技術の確立	
8	株式会社明神工業	革新的高耐圧コイル巻き線自動機の開発	
9	東新精工株式会社	次世代家庭用燃料電池の熱交換機用プレス部品の試作開発	
10	東京モートロニクス株式会社	先端産業向けモータに対応した着磁ヨークの高精度・高密度化の実現	
11	アルティメイトテクノロジー株式会社	ウェアラブルデバイス向けマルチセンサー付超小型カメラモジュールの開発	
12	株式会社ズー	ゲーム制作における、開発コスト削減を実現するゲーム内ステージ自動生成ソフトウェア試作版の開発	
13	エア・ウォーター・マツハ株式会社	高品質ゴム製シール材の低コスト検査システム開発	
14	喜久水酒造株式会社	消費者ニーズに対応した低アル・発泡性酒類の開発	Vol.3
15	株式会社岡沢製作所	フィルター業界における弊社独自の「高品質・低コスト」ブランドの構築と競争力強化	
16	コトヒラ工業株式会社	価格性能比と信頼性に優れた電解次亜水生成装置の開発と事業拡大	Vol.2
17	株式会社信州セラミックス	セラミック複合材を繊維へ加工する為の簡易加工装置の試作開発と事業化	
18	株式会社シナノ	3Dプリンターを活用した杖等の握り部の試作・評価プロセスの確立	
19	株式会社永田製作所	球面加工を可能とするレンズ皿加工専用旋盤の開発	
20	株式会社カワムラ精器	三次元測定機導入による、QCDと組織力の改善及び競争力の強化	
21	有限会社イチコー	スライドヒンジユニット製造における新構造・長寿命金型開発	
22	GAST JAPAN株式会社	土壌微生物の検査に用いる、多点マイクロ培養プレートの開発	Vol.2
23	有限会社登内光学	光学レンズの革新的製造プロセスを実現する自動機械装置の試作開発	
24	合同会社信越バイオエナジー	廃菌床を原料とするバイオコークスの燃焼に最適なボイラーの開発	
25	株式会社小宮山土木	コンクリート構造物の耐震補強用資材ヘッドバーの高機能製品開発と増産	
26	有限会社茅野工業	原価低減・品質の源流保証を実現する多品種小ロット部品の高度化	
27	株式会社SYNAX	検査工程の高精度化による高速・高精度ハンドラーの試作開発	
28	長野精工株式会社	小型ディーゼルエンジン用燃料噴射ポンプ構成部品のカムシャフト加工・計測技術（設備）の開発	
29	上田プラスチック株式会社	成形工程、検査工程、整列ストック工程における工程集合と自動化	
30	宮坂醸造株式会社	シャンパンに対抗する“スパークリング清酒高品質化技術”の確立	Vol.2
31	有限会社伊藤テント装飾店	縫製技術の高度化により70%のコスト低減と、安心・安全な製品の提供	
32	有限会社保坂工業	レーザー溶接機導入による高精度・高信頼性・高品位溶接技術の確立。	
33	山清電気株式会社	省エネを可能にした凍結防止・融雪ヒーター用出力可変温度コントローラーの開発	Vol.3
34	株式会社三葉製作所	押出成形機最重要部品のCAD/CAM化による生産性23%アップ	
35	株式会社ミスズ工業	小型水素ステーション用セパレータの超高精度極細孔加工技術開発	
36	株式会社竹村製作所	水質評価サービスを加えた水処理装置の包括提案による顧客満足度向上	
37	有限会社協和精機製作所	薄肉難形状に対する生産性の高い新加工法の開発と競争力ある製造プロセスの構築	
38	株式会社ハタ研削	航空機等の光通信用途に使われる小型軽量高信頼の光コネクタの開発	
39	セラテックジャパン株式会社	非接触式3次元測定機の導入と高脆材料の高精度多穴加工技術の開発	Vol.3
40	株式会社つばくろ電機	設計プロセスの高度化による自動化、省力化生産設備の納期半減体制の確立	
41	株式会社松本製作所	真空ポンプ部品加工参入のための超精密切削加工技術確立	
42	コムバックシステム株式会社	段ボール生産機の大幅な生産性向上と品質競争力向上のライン構築	
43	岡谷熱処理工業株式会社	高性能金属熱処理炉の導入による、製品の品質向上と電力の大幅削減	
44	株式会社ミハマ	等速ジョイント用高性能クランプの開発と高効率生産設備の開発	
45	株式会社ライト光機製作所	世界最高の「高透過率・原色再現性」を実現したライフルスコープの開発	Vol.2
46	株式会社ハヤシ	複合加工機導入による高精密・高効率な加工体制の再構築	
47	株式会社山岸製作所	船舶用大型部品の高精度加工への取り組み	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
48	株式会社南安精工	腕時計自動針組付け及び針高さ調整機能付き自動組立機の開発	
49	株式会社サイベックコーポレーション	サービスロボット用歯車部品の高精度化及び低コスト化技術の研究開発	Vol.2
50	株式会社みすず精工	機関系締結部品での量産計画においてコストおよび工数削減を実現するための製造設備ライン構築	
51	株式会社日誠イーティーシー	高効率モーターに使用される高密度コイル製造装置の開発導入	
52	長野竹内ハガネ株式会社	研削加工方法の高度化によりダイス鋼の、高精度、低コスト、簡易加工化技術の確立。	
53	三映電子工業株式会社	レーザー光を用いた平角エナメル銅線皮膜の高精度剥離技術の開発	
54	株式会社ダイナ楽器	高機能設備導入と熟練加工技術の融合によるエレキギター高度化事業	
55	株式会社オフィスP'dj	農産物直売所が複数農家の出荷計画を正確に把握できるシステムの開発	
56	株式会社牛越製作所	精密小物部品の多品種中量生産用自動化システムの構築	
57	ダンクセキ株式会社	プロ・ハイアマチュア向け高精度オンデマンド写真集作成サービスの構築	
58	アルファデザイン株式会社	天吊多関節ロボットベースユニットの開発	
59	株式会社しなの工業	高精密旋盤導入による医療・健康関連顧客要求への対応と売上・利益の向上	
60	株式会社ジェー.ピー.イー.	果物の表皮の色測定装置（試作機）の開発と事業化への検討	Vol.3
61	株式会社島田製作所	プレス加工技術高度化のための高度測定設備の導入	
62	株式会社協和	ウェアラブル機器向け小型・軽量・高密度実装電子部品商品化	
63	味澤製絲株式会社	製糸残渣の蛹を活用した冬虫夏草量産に関する技術開発	
64	株式会社桜井製作所	SUS304ステンレス材の“非磁性・高精度絞り製品”の試作開発	
65	有限会社小池精工	プレス加工でのリードタイム短縮とコストダウンを目指す技術開発	
66	株式会社遠藤酒造場	業界初、夏季に超音波で活性にごり酒を生産し日本酒の消費拡大を図る	
67	長野オートメーション株式会社	自動車等の円筒部品内面の高速高精度な検査装置の試作開発・市場開拓	
68	オリオン機械株式会社	原発作業・感染症医療対策用の新温調防護服開発のための設備導入	Vol.2
69	株式会社バイタル	小型高性能なラッチングソレノイド式電磁弁の試作・開発	
70	エス・ピー・エアー株式会社	空圧機器の切削加工のコンタミ（残留異物）除去システムの構築	
71	三和ロボティクス株式会社	人と工作機械の生産性を向上するフレキシブル製造システムの構築	
72	株式会社グットアップ	ホームページの改善点が誰でも、一目で、直観的に分かるアクセス解析ツールの開発	
73	株式会社共進	次世代自動車の電動型制御ブレーキ小型化に係るガイド部品接合方法の開発	Vol.2
74	株式会社シンセイ	スマートフォン向け光学部品のレーザー加工及びめっき加工の高度化	
75	株式会社理学	導電性ポリマーの高導電化と高効率製造技術の試作開発	
76	株式会社ワカ製作所	世界初、JAXA規格による宇宙用同軸ケーブルアセンブリの開発。	
77	株式会社中央測量	UAV（無人航空機）を用いた空中撮影による三次元測量・解析	
78	株式会社湯川酒造店	四季醸造による生産拡大および低コスト化を目指す、清酒製造設備の高度化	Vol.2
79	株式会社五味製作所	ロッカー錠のコストダウンを目的とした、シリンダー部プラスチック化の試作開発	
80	有限会社野口製袋所	高性能製袋機の導入による生産性向上とエコ封筒の積極営業による受注拡大	
81	吉田工業株式会社	3D砂型プリンター製アルミ鋳物の高度化による機械強度予測と新製品の応用	
82	有限会社いらい	主食がつつり団子と包餡バラエティ串団子によるIROHAブランド確立	
83	大和電機工業株式会社	業界初の次世代半導体向けジンケートレス無電解UBMプロセスの開発	
84	株式会社LADVIK	多様な試作に対応可能な新複合フォーミング機械の開発	
85	豊実精工株式会社	クローム超微粒子被膜処理の性能向上・工期短縮のための生産プロセス改良	
86	ありがとう製麺株式会社	お鍋ひとつで安心・簡単調理、健康に役立つ食塩・かん水不使用麺の開発	
87	プラトー株式会社	自動車のパワーウィンドーレギュレータの軽量化と低コスト化	
88	株式会社栄光製作所	高速5軸ミリングセンター導入と高速用極細切削工具開発による安定量産技術の確立	
89	有限会社稲月製作所	生産プロセスの革新による生産性および品質の向上	
90	株式会社飯島精機（採択時:有限会社飯島精機）	基板検査用超精密コンタクトプローブの試作開発	
91	高島産業株式会社	卓上多機能加工機マルチプロ新機種開発による販売領域の拡大化	Vol.3
92	日本装置開発株式会社	光改質デバイスを利用した光合成増進・植物育成農業資材の設備開発と実証	
93	本多通信工業株式会社	SDカードの次世代規格（UHS-II）に対応したソケット製造設備の稼働安定性確保と稼働率向上	
94	山本屋化粧品	麹の酵素力価を高める製造技術の開発及び自社商品の高付加価値化	
95	有限会社野中製作所	航空宇宙部品の受注拡大に向けた、生産リードタイム短縮による競争力強化	
96	カインシ工業株式会社	パレットチェンジャーを備えた模型マシニング加工機導入による高品質加工技術の確立と新事業の創出	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
97	山京インテック株式会社	航空宇宙部品ラインの拡張に向けた超薄肉形状加工設備の導入	Vol.3
98	株式会社中外製作所	赤外線アレイセンサを利用した高齢者見守りセンサの開発	
99	株式会社コシナ	レンズ加工工程における高精度面形状測定システムの構築	Vol.3
100	有限会社ニシキ精機	高精度微細切削加工に伴う洗浄工程の品質改善と効率化への取組	
101	有限会社新川	自動旋盤導入による産業機械関連顧客要求への対応と加工製品の高度化	
102	株式会社みのり建設	廃棄物の効率的な堆肥化を可能にする高性能攪拌機の開発	
103	有限会社中澤鑄造所	鋳物の精度向上と加工レスを達成し、新商品開発等新規市場への拡大を図る	
104	日本青銅株式会社	省エネ省資源化を実現する高度精錬機能を有する鑄造ラインの構築	
105	株式会社イツミ	小回り開発生産システムの確立による省エネ型衣類乾燥機の開発	
106	株式会社同志舎	木工ネットワークを構築し海外生産を国内生産に切り替える生産革新事業	
107	株式会社大東製作所	特許名「ボールねじ用ナット及びボールねじ」の実用化の試作	
108	飯田チーゼル株式会社	電熱油化装置によるバイオマスの液化燃料製造技術開発実証	
109	株式会社科学技術開発センター	県下初の環境負荷物質における自動迅速分析と低コスト分析の確立	
110	株式会社バイオテック	『有機栽培手法を革新し適正流通を実現するYM完熟堆肥の製造』	
111	株式会社信栄食品	食物（小麦）アレルギー対象者でも食することができる「グルテンフリー米粉餃子」の製造と事業の拡大	
112	太陽工業株式会社	全剪断面を実現する自動車部品「高品質・低コスト化技術」の確立	
113	株式会社丸宝計器	シリアルナンバー印字の自動化装置導入による生産プロセスの効率化	
114	有限会社金森軽合金	砂型造型作業における生産性の向上と製造環境の改善	
115	アタゴシステム株式会社	多品種少量加工用ローコスト無人加工システムの試作開発	
116	株式会社CPM	保磁力制御技術の確立による高精度車載リレーコアの事業の拡大	
117	株式会社竹内製作所	アルミ薄肉材加工時の熱変形防止技術の高度化を達成し事業の拡大を図る。	
118	株式会社マルモ青木味噌醤油醸造場	みその新規海外需要に応えるための専用充填包装機の導入	Vol.3
119	湖北工業株式会社	3軸マシニングセンタを簡易五面加工機化する新工法の開発	
120	森川産業株式会社	冷凍空調機器に用いる弁類の新冷媒対応のための高圧化製品開発	
121	マイクロコントロールシステムズ株式会社	ガス発電の熱と排ガスを再利用する半田付け装置の試作開発	
122	有限会社多田プレジジョン	冷却性能向上による新型プラスチック金型ならびに難加工材加工の生産性向上	
123	株式会社協和精工	サービスロボット向け世界初直径10mm（小径）ブレーキ開発	
124	株式会社nittoh（採択時：日東光学株式会社）	高精度ポリシングマシン導入によるガラスモールドレンズ鏡面駒の鏡面仕上げ技術の開発	
125	株式会社アイカム	ローコスト、短時間作業、簡略化を可能にした金型部品製造	
126	有限会社春日自動車工業所	板金塗装工程の改善による付加価値の向上と差別化の実現	
127	有限会社平林	次世代表面処理と生産性向上・環境負荷軽減を実現する塗装設備の導入	
128	株式会社ピーエーイー	「ロボットによる工程自動化システムの自社開発によるコスト競争力・品質管理強化」	
129	ハヶ岳食工房合同会社	信州産の素材にこだわった世界初酒麴、味噌麴を使った麴菌生ハムの開発	
130	株式会社プロノハーツ	3Dレーザースキャナを導入して、工場全体の3D化を行う革新的なサービスの実現	
131	株式会社オックスラボ （採択時：株式会社オービーティー）	安心・安全を実現するウェアラブルLTE魚眼カメラの試作開発	
132	有限会社米山金型製作所	超精密彫り放電加工機導入による精密金型部品の更なる高精度化	
133	有限会社日本インテック	タッピングセンタに取り付ける遠隔手動制御型切削液ノズルの開発	
134	平和特殊鋼材株式会社	大型プレート鋼材の短納期化と高精度化を実現する加工手法の確立	
135	ヘルツ株式会社	極厚ハニカム定盤用折り曲げ板金製作機械装置導入による競争力強化と顧客ニーズの実現。	
136	株式会社キガサワ	高残存価値軽自動車の販売による顧客との生涯取引の実現	
137	カネテック株式会社	高速切削技術と最新機械の融合により生産量増加で受注拡大を目指す	Vol.2
138	三立電機株式会社	プリント基板製造工程における、新規工程統合プロセスの開発	
139	有限会社伸和工作	幾何公差指示部等難計測部の自動測定システムの構築による生産ネックの解消と事業拡大	
140	株式会社イトウパーツ工業	重要製品の受注拡大に向けた新工法開発及び設備導入	
141	株式会社矢島製作所	高性能カメラ鏡筒における加工技術の高度化と生産プロセスの最適化	
142	西和テキスタイルプリント株式会社	昇華転写専用縫製品（Tシャツ等）を従来にない<高品質>で<高効率>に転写加工する	
143	株式会社オオタ	自動車部品軽量化に寄与する高強度材料に対応可能な高精度プレス金型製作の短納期化	Vol.3

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
144	株式会社サイコムテクノロジー	離設検知と徘徊抑止機能を有する施設内見守りシステムの試作開発	
145	株式会社タカギセイコー	顧客にとって真の使いやすさを追求した眼科医療機器の製造を目指して	
146	太陽精工株式会社	非軟化曲げ技術による熱可塑性樹脂板の加工製品の開発と量産化	
147	株式会社ヤマト	少量樹脂インサート小物部品の技術力向上による品質改善と収益性向上	
148	株式会社エスケー精工	産業用ロボットの高精度複雑形状部品の無人化加工技術の確立	Vol.3
149	ハーバー電子株式会社	小ロット多品種生産ラインの導入（小型フィルムコンデンサ超大型素子含む）	
150	天竜丸澤株式会社	油圧機器向 部品加工技術及び生産性向上	
151	株式会社松本精密	炭素繊維複合材用金型 製作コストの50%低減と40%の日程短縮技術の確立。	
152	多摩川テクノクリエイション株式会社	小型高出力電子機器の高精度熱流体シミュレーション技術開発	
153	株式会社駒ヶ根電化	めっき使用水リサイクル装置増強による水インフラシステム高度化	
154	株式会社エヌ・ティー・エス	世界初の透明・難燃性コーティング剤の開発	
155	株式会社エプテック	第2世代高温超伝導線材に対応した銅めっき皮膜の開発について	
156	有限会社ジャパンマグネット	ブラシレスモータの高耐久性を図る革新的なマグネットロータ開発	
157	アイキョー有限会社	高精度・高品質な交換レンズ鏡筒・鏡枠の切削加工の能力向上と品質保証体制の確立	
158	NiKKi Fron株式会社	10倍のフレックスライフを有するPFA成形体の製造方法確立	Vol.2
159	株式会社マイクロジェット	MEMS技術を用いた極小カラーコードマーキング用インクジェットヘッドの開発	
160	有限会社中村金型製作所	世界最高水準のダイキャスト冷却部品型の製作技術の確立。	
161	株式会社オクト	IC検査治具における精密加工技術の確立によるコスト削減と市場獲得	
162	株式会社ミスズ	鏡面研削加工技術を軸とした医療機器分野向け高付加価値製品の提供	
163	ガイア・エスピー株式会社	高度化原料及び生産設備を利用した市場競争力を有する梓練固形石鹸の開発・試作	
164	有限会社アムス	低周波振動切削による難加工品の高精度、安定生産とコスト低減の達成。	
165	有限会社金井精密	加工工程見直しで大幅コスト低減を実現して医療関連部品受注促進	
166	有限会社辰野目立加工所	究極の高精度の穴加工が可能になる、超硬総型リーマを短納期で製造する。	
167	株式会社田中機器製作所	洗浄装置における洗浄液循環経路のステンレス板金化	
168	タカヤマケミカル株式会社	クリーンシューズ用「クリーンドライシステム」の導入	
169	株式会社ニッター	4K8K高画質TV市場参入に向けたガラス研磨加工技術開発	
170	株式会社ヨウホク	精密板金およびパイプ加工部品のバリ取り工程を効率化し、自社商品のコスト改善と価格競争力の強化で、受注を拡大する。	
171	日邦電機株式会社	パイプレーションモータの開発に伴う「新工法採用専用製造ライン」の構築	
172	株式会社唐沢	精密電子コネクタ用プレス金型部品の試作開発	
173	二光株式会社	「超高品質レンズ」の「短納期」「低コスト」の実現	
174	若林醸造株式会社	植物性乳酸菌を使用した新感覚アルコール飲料の開発と生産体制構築	Vol.3
175	多摩川モータロニックス株式会社	空間安定装置システム内蔵のダイレクトドライブモータ及び角度センサ加工技術の革新事業	
176	株式会社日向製作所	EL発光式避難用誘導標識の試作開発	
177	窪田建設株式会社	乾式吹付工法を用いたコンクリート維持補修分野への革新的サービスの事業展開	
178	シスマック技研有限会社	放電テーパー加工技術導入による金型・治工具の高精度化・短納期化の実現	
179	株式会社みやま	PPS樹脂加工金型の高精度化によるFCV部品の軽量化	
180	佐久の花酒造株式会社	日本酒の麹製造工程の高度化による「三季醸造の確立」及び「品質・生産性向上」	
181	不二越機械工業株式会社	ミニマルファブに供給する0.5" ウェハ高効率製造ラインの構築	
182	株式会社山田製作所	新たな消火設備の生産体制の整備及び新市場開拓による経営革新の実現	
183	ミマキ電子部品株式会社	3D外観検査装置による高密度実装基板の外観検査の確立	
184	サン工業株式会社	次世代自動車コネクタ向け耐摩耗性及び高電導性に優れた長寿命銀複合合金めっきの開発	
185	有限会社五味精工	特殊鋼材の切削加工手法の改善による高精度化・短納期化事業	
186	株式会社クラフト	航空機部品の量産体制に向けた高精度マシニングセンタの導入計画	
187	日本ミクロン株式会社	検査装置用ピン付きプリント配線基板の生産システム開発	
188	久保田製菓有限会社	柔らかくて不定形な餅菓子の革新的なピロー個包装システムの構築	
189	有限会社吉沢物産	省力設備導入による作業負担軽減と生産性向上で売上増加・利益向上の実現	
190	株式会社neop	医療用機器レンズ分野進出に向けた製造工程における製品の高精度化	
191	有限会社イタクラ	同時切削加工化により品質安定と70%のコスト低減、80%短納短縮の実現	
192	株式会社綿谷製作所	ファイン・インジェクション型ナノ繊維製造装置の開発	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
193	松本スプリング株式会社	回生ブレーキ向けバネ生産の複合機能ロボット活用による自動化・省力化	Vol.2
194	夏目光学株式会社	接着面精度の向上を通じた通信用接合プリズムレンズ製造の高度化	
195	株式会社スギムラ精工	ハイツ薄板部品のプレス精密せん断加工後の2次加工ライン構築	
196	有限会社浅間精機	フィルムインサート用金型製作とフィルムインサート成形品の量産。	
197	大信州酒造株式会社	温調設備導入に伴う製造期延長と生産増による国内外の需要増への対応	Vol.3
198	株式会社ナガタ	不可視光レンズと蒸着製品サービス高度化による付加価値向上。	
199	信州吉野電機株式会社	部品の成形高強度樹脂技術の確立	
200	多摩川マイクロテック株式会社	航空機用歯車の加工時間短縮と精度向上による競争力強化事業	
201	株式会社サンジェム	ゼロ位相角抵抗器の開発	
202	株式会社丸信製作所	センタレス研削作業における段取り自動化による匠技能伝承の推進	
203	リジェンティス株式会社	中鎖分割ポリリン酸を用いた歯周病治療用再生医療材料の開発	
204	協全商事株式会社	有機廃棄物の短期発酵システム及び悪臭防止システムの試作開発	
205	有限会社フジ精密工業	プレス金型の精密加工部品の製造リードタイム短縮の実現	
206	株式会社石原産業	絶縁薄板部品の高速微細加工による付加価値向上と量産の新展開	
207	株式会社小松精機工作所	農業分野向け非接触・非破壊新土壌レベル計測装置の開発及び試作	Vol.3
208	小林興業株式会社	レンズの精度を変化させない鏡枠の開発	
209	株式会社ロータステクノ	医療用内視鏡の極小レンズの製造・販売	
210	ファーマックメディカル株式会社	人工膝関節手術の治療成績を格段に向上させる画期的手術器械の開発	
211	イデアシステム株式会社	小型・低価格な低体温療法装置の開発	
212	株式会社エムケーセラ	医療器械用高精度セラミック部品の高度化	
213	有限会社アース精工	超薄肉と一般肉厚の混在した成形技術の開発と試作用成形機の導入	
214	株式会社サンヨー	新構造・新工法による次世代複合機用高性能冷却ローラーユニットの試作開発	
215	有限会社オノガワ精機	NC加工における「段取り」及び「検査」工程の革新的改善による生産性の向上	
216	渋江精密工業株式会社	高精度測定器の導入により、成長分野向け製品の事業拡大を目指す。	
217	サンエスシステムズ株式会社	グローバルな環境規制に対応したハイブリッド化学物質管理システムの試作・開発	
218	有限会社竜東スチール	精密板金加工用CAD/CAMソフトおよびバリトリ装置の導入	
219	株式会社テクノマップ長野	レーザースキャナシステム導入で業務拡大と雇用の増進	
220	有限会社中山ステンレス	独自の溶接治具開発と最新溶接ロボットの導入で受注拡大を図る	
221	株式会社スター精機	複合加工機導入による高効率・高精度加工生産体制の構築	
222	株式会社アーキプラン	3次元建築モデル・BIMの導入による設計業務の効率化と品質向上	
223	ミサキ工業株式会社(採択時:有限会社ミサキ工業)	マウンターヘッド用基幹部品(フレームパイプ)の端面バリ取り装置の開発	
224	信越ハーネス株式会社	多品種少量短納期製品のリードタイム短縮とコストダウンへの取組	
225	株式会社ちくま建設工業	木造建物の完全倒壊防止または倒壊時間を延伸する新耐震補強工法の開発	
226	ナパック株式会社	粉末冶金における焼結ガス導入方法の省エネ型への変革	Vol.3
227	楠わいなりー株式会社	特殊タンクを利用した高品質ワインと発泡性ワインの安定的製造	
228	佐藤製作所	加工技術高度化による生産体制強化及び医療機器部品新規参入計画	
229	株式会社倉科鐵工所	鉄骨建築物の溶接技術の高度化による生産効率の革新的向上	Vol.2
230	株式会社レヂトン	柔軟性と高耐久性を両立した、研磨用砥石製造方法の開発	
231	中村漆器産業株式会社	漆器の商品開発力・顧客対応力強化による、新規需要開拓と事業拡大	
232	株式会社エフエス・リノベーションプランニング	そば処信州産地粉を使用した「からだに優しい」本格そば粉生パスタの開発・製造・販売	
233	株式会社加藤鯉店	信州サーモン及び信州大イワナのスモーク加工調理品の新規開発及び販売	
234	有限会社キョウ工業	ワイヤー放電加工機と研削盤の共用にてR150加工の精度向上	
235	株式会社宮坂ダイカスト	新規製品鋳造後の加工プロセス革新による加工能力・競争力アップ	
236	富士ケミカル株式会社	発泡プラスチックを用いた包装資材の製作用スライサー、カッターの導入	
237	株式会社トミック	最新3Dスキャナ導入による測定の省略化と高効率な金型加工作業の開発	
238	株式会社AOB慧央グループ	ロボット等自動機械導入による化粧品の革新的包装ライン構築	
239	株式会社信州ハム・サービス	食品製造ラインの生産実績が低コストでリアルタイムに可視化できるシステムの開発	
240	信越ビー・アイ・ビー株式会社	吹込み断熱工法に最新設備を導入し住宅の高断熱化事業を拡大する。	
241	オリオン精工株式会社	燃料電池用世界最高峰ナノX線CT装置開発のための設備投資	
242	有限会社山本精機	電磁鋼板の革新的な積層方法による高効率モーターコアの製造	
243	株式会社東和プラスチック	スマートフォン薄肉高精度嵌合ケースの試作・量産体制の確立	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
244	株式会社東陽	微細レーザー溶接による内視鏡用小型鉗子の高精度化及び高強度化	
245	信州ハム株式会社	「無塩せき皮なしウインナー」の賞味期限を飛躍的に伸ばす革新的生産ラインの構築	Vol.3
246	大雪渓酒造株式会社	お米本来の香りと旨みを活かした『特別純米酒』の開発と事業化	Vol.3
247	株式会社マルヤマキャンパス	ニッチなニーズに応えて、高付加価値のカスタムメイドシートを開発し販売	Vol.3
248	有限会社ハラサクセス	スピンドル仕上げ工程生産性向上	
249	MGS	ソフトウェアによる効率化と測定技術による精度・品質・生産力強化事業	
250	株式会社テクノエンドウ	高性能小型切削加工機導入による新生産工程の構築と事業の拡張	
251	有限会社近藤鉄工	ボトルネックとなっている製函品機械加工工程の効率化による生産性向上	
252	株式会社AI精工	最新ワイヤ放電加工機導入による試作開発用部品の超高精度化および短納期化	
253	協和テクノ株式会社	鳥獣被害防止電気柵の稼働状態をインターネットで監視する新システム	
254	株式会社三立	板金部品のR面取りを用いた錆び防止技術の試作開発	
255	株式会社アンドー	CIM事業に向けた3次元微細地形モデルと設計サービスの構築	Vol.2
256	カザマエンジニアリング株式会社	高性能自動画像測定器導入による部品検査体制の構築	
257	中部日本電子株式会社	医療器具の高精度加工技術の確立による性能的優位性確保と世界市場拡大	
258	株式会社シュタール	小物専用ラインと管理システムの高度化により材料の即納体制、原価低減20%の実現	
259	有限会社吉沢製作所	異素材金属組合せローラー付きシャフトの軽量化試作開発	
260	株式会社タカノ	高性能プレスブレーキ導入による、通し曲げ精度加工技術の革新	Vol.2
261	株式会社サンユウ製作所	高精度画像寸法測定機導入による、精密加工部品の品質・生産性の向上および新たな検査体制の確立	
262	信越理研株式会社	半光沢ニッケルめっき量産自動ラインの確立	
263	株式会社ミールケア	耕作放棄地を再活用した地元農産物の商品開発と販売	
264	プラテック工業株式会社	超小型コネクタ樹脂金型製造方法の改善、高度化により50%のコスト低減の構築	
265	株式会社イクシス	3次元スキャナーを活用して、立体造形試作のための3次元データを創生する事業	
266	飯山精器株式会社	医療機器部品の最新技術による生産体制の確立	
267	マルコメ株式会社	味噌の品質（おいしさ）を向上し、他社と差別化を図る分析機器導入と実用化	
268	ウインテック株式会社	ベント式成形法に依る高効率ガス抜きシステムの構築	
269	株式会社くるまや	ブロッコリーが主役の携帯可能な彩り味付	
270	北信プラスチック事業協同組合 中野プラスチック工業株式会社 有限会社千曲合成	高難易度精密プラスチック成形品の短納期化対応と附帯サービス高度化による競争力強化	
271	信州打刃物工業協同組合 石田打刃物製作所 大義印鎌業 寺田福治郎鎌製作所	信州鎌のプレス刃型活用によるコスト削減及び品質向上	
272	株式会社白峰	高品質な黒染め及び無電解メッキ処理のための設備導入事業	
273	有限会社平林精機	旋削加工技術の高度化による精密油圧部品の生産体制確立	
274	上田エンジニアリング株式会社	高品質大型金型部品の加工体制構築のための設備導入事業	
275	有限会社ブライムシステムズ	低クロックジッタの信号発生器の開発	
276	株式会社豊島屋	新たな製造技法を活用し、ふなくちの味わいを残した信州清酒の開発と製造の確立	
277	株式会社イメージリンク	世界初のフォーカスフリーで小型高画素数センサー搭載口腔内撮影医療カメラの開発	
278	株式会社共栄測量設計社	小型自走カメラを具備した地下配管計測システムの開発・実用化	
279	株式会社三星合成	成形プラスチック製品向けカラーペレットの色調評価設備の導入	
280	ミクロン精工株式会社	高機能SLD材を使用する金型部品の複合加工プロセスの最適化	
281	株式会社ダイヤ精機製作所	高速高精度スピンドルを搭載した振動切削微細穴加工装置の開発	Vol.3
282	株式会社小松製作所	産業用熱交換器の大型部品における新工法の開発による事業の拡大	
283	株式会社東亜	客先が求める高効率な油圧式薪割機の試作開発と事業拡大	
284	株式会社ダイワ工業	3Dプリンターによりスルーホールを形成する加工技術の開発	
285	有限会社南木曾生コン工場	新型浄水設備を用いた、災害復興のための高強度コンクリートの安定供給を実現するプロセス改善	
286	株式会社Aizaki (採択時：株式会社相崎電機製作所)	コールドオイルミスト加工液の開発及び精密5軸加工への応用技術の確立	
287	有限会社小野製作所	航空部品の飛躍的な短納期化実現のためのソフトウェア導入	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
288	有限会社アサハラ	1材料から金型部品を複数個製造するマシニング加工技術の開発	
289	株式会社公害技術センター	24時間連続飛行可能な災害監視等に供する自律型飛翔ロボットの開発	
290	岡崎酒造株式会社	特定名称酒の高品質化と安定供給の実現及び新商品製造ラインの構築	
291	株式会社シーケイテック	難加工材インコネル・チタンの革新的切削・研削加工技術の開発	
292	株式会社協和精工	射出成形機用主軸ベアリング部品の新工法による試作開発	
293	株式会社杉浦歌吉商店	岡谷市名産品の高級食材桑の葉を使用した「桑の葉蕎麦」の開発・量産化	
294	株式会社森精機製作所	最新CNC複合旋盤導入による製造プロセス改善と生産力の強化	
295	有限会社小和田製作所	可搬消防ポンプ車の一貫製造体制構築による軽量、低コスト化	
296	チヨダエレクトリック株式会社	中小規模病院のニーズに応えるウォッシャーディスインフェクターの試作開発	
297	株式会社Digit Works	最新IT活用によるビジュアル工場管理システムの開発による売上・利益の拡大	
298	株式会社テクロック	姿勢誤差の少ない画期的なてこ式ダイヤルゲージの開発	
299	岡谷セイケン株式会社	自動車用電磁弁部品の加工時間短縮及び不良率低減による収益向上	
300	有限会社山岸紙器製作所	工程削減による新規業務部門確立、試作・量産部門のリードタイム短縮体制の構築	
301	加藤工業	射出成型による部品量産で液体燃料低炭素化器の製造費用2分の1低減	
302	株式会社デジタル・スパイス	低出生体重児の四肢動作記録・解析システムの製品化	
303	株式会社ソーデナガノ	金錫ロウ付き金属カバー開発による電子部品パッケージの技術革新	
304	株式会社新製作所	小スケール・サブミクロン加工プロセスの開発	
305	信濃ワイン株式会社	信州産醸造用ブドウによる日本ワイン高品質化のための製造プロセス革新	Vol.3
306	信州銘醸株式会社	氷温タンク増設による清酒の生産量増大と売上増加	
307	株式会社イズミテクノ	多種材料に於ける、耐熱クラックレスアルマイト皮膜を開発する	
308	株式会社シード・アドバンス	大型かつ屋外向け塗装製品の市場をリードするための高品質粉体塗装の開発	
309	有限会社百瀬家具製作所	保育・介護施設が求める安全ニーズを満たす特注家具の生産体制強化	
310	株式会社サーキットデザイン	登山者の位置情報を配信する画期的なサービスの開発及び提供	
311	ビジネスクリエーション株式会社	サービスエリアに特化したリラクゼーションサービスの展開事業	
312	有限会社旅館菊乃屋	神前・仏前挙式及び老舗旅館における披露宴のプロデュース事業	
313	株式会社JINRIKI	「けん引」式車いす補助装置JINRIKI」の改良及び周辺器具の開発	
314	株式会社フロンティア	二軸延伸ブロー成形したボトルを主材とする高耐圧複合容器の試作開発	
315	有限会社カワテ	連続加工プロセスの実現による外注工程の内製化と社内不良率の抑制	
316	株式会社信州蜂蜜本舗	はちみつ専門店が作る究極のソフトクリーム製造設備の導入	Vol.3
317	株式会社飯田コンサルタント	超音波フェイズドアレイ探傷法を活用した道路・橋の高度欠陥測定の実現	
318	株式会社アットランド	美術館・博物館向けクラウド型、多言語マルチメディアシステムの開発	
319	株式会社ツウウェイ	高度医療推進の確かな担い手！極小径穴加工技術の極限化を図る要素技術開発	
320	株式会社ナルコム	歯科医療機器の製品試作開発	
321	株式会社コウリョウ	生産性向上・品質保証高度化による新規受注獲得	
322	株式会社小野酒造店	微生物が持つ相互補完作用を生かした酒造を補助する為の設備導入	
323	有限会社日本光器製作所	自動車用ピニオンギヤの半自動寸法測定システムの開発	
324	有限会社東西金型工業	金型製造における高微細仕上げ加工の実現と生産プロセスの革新	
325	有限会社丸富自工	高機能塗装ブース導入による短納期の実現と塗装品質の向上	
326	みやま工業有限会社	企業連携で起こる流通ロスを低減。アルミダイカスト最速一貫生産ラインの構築	
327	民芸舎ガリヴァー木画	レーザー加工機と既存設備の併用による複合的な加工商品の開発	
328	有限会社タケイ工機製作所	加工の改善、高度化により油圧部品製造コスト40%ダウンの実現	
329	株式会社丸安精機製作所	設備と加工改善、高度化により世界最高水準の外装製品製造技術と価格競争力の確立	
330	株式会社イトウテック	水素バルブ装置部品の短納期・低コスト化実現のシステム開発	
331	小県精密株式会社	ダーツ初心者に向けた発音機能搭載パレルの新規開発事業計画	
332	キャッスルコンピューター株式会社	革新的な位置情報の品質保証アルゴリズムの開発と、実証実験のためのロボット制御ソフトウェア群の開発	
333	株式会社中島鐵工所	溶接ロボット導入による品質・生産・信用の向上と競争力の強化	
334	佐久産業株式会社	高利益製品を増産するための画像検査ラインの開発	Vol.3
335	株式会社TKエンタープライズ	菌床製造ライン構築によるキノコの省スペース高速栽培の全国展開	
336	平林産業株式会社	自社独自の瞬間凍結技術を活用した新規製品の開発及び設備導入	
337	シェルハメディカル株式会社	心疾患患者に使用する開胸器の製品化及び新素材を用いた次世代型開胸器の開発	
338	有限会社谷井精機製作所	セット受注拡大の為の最新型ワイヤー放電加工機の導入及び人材育成	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
339	大共化成工業有限会社	発泡ビーズを使用した寒冷地・軟地盤の土地造成時の下地材の試作品開発	
340	株式会社小野製作所	ジェットエンジン用治工具製作における新工法開発による高精度かつ短納期化の実現	
341	ヒットコンポジット株式会社	高精細な木製立体加工の生産性の向上及び製品実現化に向けた試作開発	
342	有限会社中村製作所	金属パイプ曲げ加工品を高精度・短納期・低コスト、かつ自社一貫生産する生産体制の構築。	
343	アスザックフーズ株式会社	真空凍結乾燥法による香り際立つ本格和風インスタント食品の開発	
344	株式会社青木製作所	油圧継手の高度加工の高精度・効率的実現	
345	北陽建設株式会社	高性能透水コンクリート用添加剤を活用した透水性モルタル吹付の開発	
346	城下工業株式会社	音響商品の顧客満足度の高い直販システムの構築と新型ICチップの開発	
347	富士ネオン株式会社	精度の高い樹脂及び、金属立体文字サインの開発	
348	有限会社サンテック	プレート専用フライス盤開発導入による高効率工場の確立	
349	有限会社宮城商店	健康的で保存性が高く常温流通可能な精進料理の開発	Vol.2
350	株式会社TOSCOM	市場ニーズに対応した革新的健康サポーターの種類拡充	
351	株式会社杏花印刷	オリジナルグッズの受注・製作を通じた印刷加工販促物創出プロジェクト	
352	有限会社テクノアイ信州	精密機器部品（金属・樹脂）におけるDLCによる表面処理技術の試作開発。	
353	株式会社エーシーオー	タグチメソッドを用いた“BGA”製造条件の整備と生産体制の構築	
354	NT&I 株式会社	光学用の透明ノンハロゲン難燃剤の開発	
355	株式会社コード・アール	調剤業務における高精度監査支援システムの試作	
356	日進精機株式会社	微細リフレックス・リフレクター（微細RR）の試作開発	
357	シナノカメラ工業株式会社	実装工程におけるスループットの改善に向けた評価技術の確立	
358	株式会社山崎屋木工製作所	高断熱性木製サッシのIT利活用した情報提供システム開発	Vol.3
359	株式会社高橋助作酒造店	果実の瑞々しい美味しさが感じられる、高品質なリキュールの創造	

平成27年度補正分

(受付順。事業者名は発刊時、事業計画名は平成27年度採択時の申請内容を記載)
(Vol.3は成果事例集第3巻の掲載事例。本会ホームページでもご覧いただけます)

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
1	株式会社荻原製作所	家庭用燃料電池システム向け循環水監視用 非接触式水流センサの開発と事業化	
2	信越明星株式会社	連続殺菌装置導入による焼きそばの生産効率の改善と海外を含む販路拡大	
3	日動精工株式会社	医療機器の部品製造における高精度測定・短納期加工の実現	
4	ナパック株式会社	工作機械の高精度化に寄与する粉末冶金法による制御部品の製造方法の確立	Vol.3
5	株式会社西軽精機	難削材での医療用複合超精密部品の一体加工体制の確立	Vol.3
6	サンニクス株式会社	樹脂製により軽量・低コスト・環境配慮を実現した熱交換器の事業化	
7	株式会社ユタカ	流量計本体の無人加工化による高精度化と国際コスト競争力強化	
8	有限会社ハイメック	高輝度高精細な空中光学結像装置の開発試作と販路拡大	
9	有限会社R&K JAPAN	高電圧直流給電用アーク遮断モジュール内蔵コネクタの試作開発	
10	有限会社穂川樹脂製作所	検査工程の高度化による樹脂成形部品の生産性・品質向上、短納期化の実現	
11	マテリス株式会社	低糖質食品の量産化技術向上及び海外への販売事業拡大計画	
12	株式会社中野屋ステンレス	曲げ・切削工程の生産性向上とブランク・曲げ工程のIoT化の実現	
13	株式会社くるまや	惣菜的漬物の漬床回転攪拌法による製造期間4割短縮の生産性向上	
14	GAST JAPAN株式会社	紫外線励起蛍光分析方式による土壌可給態窒素計測の装置開発	
15	株式会社ミハマ	ゴム・樹脂ブーツ兼用多機能クランプの開発及び高トルク精密塑性加工設備の開発	
16	有限会社大西製粉	信州産「粗挽き」そば粉の量産体制構築	
17	有限会社田中紙工	ただの梱包用の段ボールを「魅せる什器」に。観光・農業・特産品PR事業への新展開	
18	株式会社千曲ライト	低圧射出成形機を用いたインサート成形における封止技術の確立	
19	岡谷熱処理工業株式会社	最新鋭高性能真空焼戻し炉とIoT導入による熱処理生産革新の実現	
20	株式会社西山精密板金	板金複合加工機導入による高機能板金生産体制の構築	
21	有限会社村田商店	信州産原材料のフリーズドライ納豆を使った新商品の開発	
22	株式会社スカイワークス	低振動・最軽量化を実現する革新的ドローン用エンジンの開発	
23	ミクロン精工株式会社	次世代半導体モールド金型製造の革新的加工プロセスの構築	
24	株式会社ナガノ建築サービス	屋内熱を損失させない次世代換気システムの開発と事業化	
25	飯山精器株式会社	医療機器産業に対応した精密洗浄技術の開発	
26	株式会社タク技研	最新鋭レーザー微細加工機の導入による短納期化と超精密部品の開発	
27	株式会社イツミ	高効率生産設備の導入による原価低減を活用したIoT型ワイシャツプレスの開発	
28	有限会社吉原製作所	真鍮製六角材複雑形状加工の高度化を実現する革新的量産加工技術の開発	
29	日邦光學株式会社	高精度画像寸法測定機導入による、高精度検査体制の確立及び、新たな業界への新規参入	
30	株式会社住まい工房	子供が描いた手書きの間取りで家が建つ「バーチャルモデルハウスサービス」の開発	
31	飯田精密株式会社	IoTを用いた設備投資による、革新的な生産プロセスの改善	
32	システムクラフト	クラウドと各種端末を利用した地域密着サービス事業の開発と展開	
33	株式会社ワカ製作所	日本初、次世代0.8mm(DC~145GHz)ミリ波コネクタの開発	
34	コトヒラ工業株式会社	風の流れの可視化による業務用集塵装置の性能向上と開発期間短縮	
35	平和産業株式会社	航空部品用超高速切削加工機の複数台運用で稼働率向上に資するIoT 技術導入	
36	伴野酒造株式会社	東南アジアの富裕層向けに輸出する日本酒の生産効率の改善と日本らしさの追求	
37	内堀醸造株式会社	和食普及に貢献する高品質な米酢製造のための技術開発	
38	株式会社エイワン・システム	業界初、抗菌・抗ウイルス性能を有する床塗料と施工技術の提供	
39	株式会社スター精機	車載重要保安部品の高品質・高効率生産システムの構築	
40	みやま工業有限会社	自社独自の鋳造技術を活用した画期的介護用製品の試作開発	
41	黒澤酒造株式会社	甘酒・甘酒リキュールの歩留・品質向上と地域農産物を活用した新製品開発	
42	有限会社福田屋商店	フルーツ酵素で健康になるジェラートの開発・製造・販売	
43	成和電子株式会社	高性能搭載機による高密度実装技術の確立	
44	ハヶ根工業株式会社	超硬製ブロックゲージの開発及び超高精度加工技術の高度化実現	
45	株式会社山岸製作所	複雑形状切削工具の製作と5軸加工機導入による加工技術の高度化	
46	株式会社信州セラミックス	ウレタンシートにセラミック粒子を強固に固定する為の試作開発	
47	株式会社光和	最新鋭微細精密加工機導入による金型の超精密化と磨きレスの実現	
48	織処丸重	最新IT技術活用によるユーザーが求める短納期多品種少量生産工程の確立と品質確保	
49	三光工業有限会社	複合機導入による工程統合で生産性を向上させ、コスト競争力を高める	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
50	多摩川マイクロテップ株式会社	航空機搭載センサ・モータ用ケース加工技術の確立と生産性向上事業	
51	株式会社サワイ	薄肉中空ローターシャフト切削加工の高精度化と高生産性体制の確立	
52	株式会社ヨシカズ	航空宇宙精密切削加工品の工期短縮による納期遵守及びコスト低減の推進	
53	株式会社テーケー	シャフトの外径多段同時加工用最新センタレス研削盤ラインの導入	
54	赤田工業株式会社	最新レーザー加工による、真空容器の溶接前部品の加工時間の短縮	
55	株式会社パニラ・アウローラ	パニラの品質保持と管理力を提供する新包装技術による革新的サービス	
56	株式会社テムソン	最先端5軸マシニング加工機導入による難加工及び生産プロセスの改善	
57	株式会社亀山	被災地向けの瓦破碎用4t車移動式リサイクルプラントの開発	
58	有限会社神津電子製作所	生産性・品質向上を実現する新規設備導入及び専用治工具開発	
59	株式会社高翔プランニング	狭い敷地での雪害対策用融雪機の開発と普及	
60	杉本印刷株式会社	優位性ある製品の大量生産体制確立による市場拡大と販路開拓事業	
61	有限会社田村製作所	測定困難な精密プレス部品の測定方法改善による精度保証と競争力の強化	
62	株式会社ワークスベル	タイムリーな新製品開発と市場投入による国内外市場での売上拡大	
63	有限会社ヤマイチ小椋クロコ工芸所	真空吸着方式クロコ導入による付加価値 南木曽ろくろ細工の開発と生産効率の向上	
64	株式会社デリカ	トラクタ連結機構主要工程の接合技術革新で、生産プロセスを改善	
65	株式会社イングスシナノ	次世代ディスプレイを実現する最先端実装の生産性向上	
66	株式会社ナノ・グレインズ	医療機器評価システムの開発	
67	株式会社ふくやま	国産もち米最中皮の生産性と品質を強化して氷菓業界へ本格参入	
68	株式会社東陽	安価なCFRP用面取り工具の開発	
69	株式会社ヒロタカ	革新的デザインにより消費者に新たな体験をもたらす高品質ジャムの製造	
70	株式会社ちの技研	IoT市場向け超微細加工及び低コスト化プリント配線板の製造	
71	有限会社野中製作所	航空宇宙部品製造の最新加工機・測定機・生産管理システム導入による革新的な生産性向上	
72	有限会社カナメヤ製菓	姫リング(アルプス乙女)を丸ごと1個用いた大福の試作開発	
73	高橋産業株式会社	額縁製作の能率向上、製品の高付加価値化と新製品の開発	
74	株式会社エーシーオー	多品種小ロットの基板実装ラインで大幅な生産性向上に挑戦する	
75	有限会社大原工業	医療用ポンプ製造用部品の設備導入とIoT技術による高度生産性向上事業	
76	有限会社いろは堂	安全で美味しい「急速冷凍おやき」製造による工程高度化と販路拡大	
77	有限会社茅野工業	多品種小ロットプレス部品の高精度化による熟練技能伝承と原価低減	
78	株式会社共栄測量設計社	地下空洞の革新的測量技術の実用化	
79	コムパックシステム株式会社	多様化・高度化する顧客ニーズの実現と生産性向上を両立する生産管理システムの導入	
80	株式会社ヤマトインテック	ターボチャージャー用ベアリングハウジングの高効率生産体制の確立	
81	株式会社西飯田酒造店	花酵母を使用した季節及びブレンド商品開発と増産のための冷却装置の拡充	
82	株式会社レデトン	切れ味と耐久性をアップさせる可変密度型切断砥石の開発	
83	株式会社理学	ITO代替となる「世界最高品質の導電性ポリマーインク」の開発	
84	オリオン機械株式会社	輸出拡大に向けた高性能粉体コーティングロボットの設備導入	
85	有限会社小林精螺製作所	複合加工及び加工径拡大のため旋盤複合加工機を導入し顧客の要求に応え、事業拡大を図る	
86	株式会社ダイワ工業	LEDパッケージ向け一括銅インレイ基板の開発	
87	小林利製作所	旋盤加工および内径ホーニング工程の研磨技術向上による、次世代ブレーキシステムへの新展開	
88	サンライズD・L	型取りなし・金属なし・アレルギーなしの吸着型義歯への挑戦	
89	三協工芸株式会社	最新の焼付塗装用局所排気装置(ブース)と熱風発生装置(バーナー)の導入・実用化	
90	吉田工業株式会社	電気自動車向けプラネタリシャフト生産の高精度化事業	
91	有限会社大塚精工	超高精度と短納期を両立！最新複合加工機導入による高生産性プロセスの開発	
92	丸一ゴム工業株式会社	高精度の大型コンプレッション内製化に依るゴム製造社内一貫生産の確立	
93	有限会社セルバ	高精度の膜厚を標準化させる新たな電解めっき工法の確立	
94	有限会社プライムシステムズ	小型・多チャネル振動測定検出器の試作開発	
95	有限会社コイデ彫刻	刃物研磨機能付き数値制御加工機による精密彫刻技法の確立	
96	有限会社オリイ	保育・介護の現場に適した、安全な縁加工を施した木製家具の製作販売事業	
97	株式会社ビオカ	市場ニーズに合わせた有機小袋タイプドレッシングの開発	
98	株式会社今井酒造店	高性能ビン詰機導入による甘酒を柱とした小ビン製品の生産向上と市場開拓	Vol.3

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
99	有限会社パティスリーヒラノ	北信濃の新ご当地みやげの開発と自動包餡機導入による洋菓子製造の効率化	
100	株式会社竹村製作所	62年の殻を破った鋳物部品加工の無人化・見える化による高度生産体制実現	
101	株式会社フル里農産加工	高品質なヘーゼルナッツ加工製品の開発で自社のブランド力強化	
102	株式会社三九	即席味噌汁袋詰め工程の自動化ライン構築	
103	株式会社マスターマインド	高速フードプリンタを用いた新規印刷サービス	
104	有限会社セルコトロン	需要急増の連結コイルの多角化及び量産化	
105	株式会社オグラテクニカ	大型金属部品加工への対応力強化と自社ブランド製品のラインアップ拡充	
106	株式会社サンクゼール	真空釜と高速キャッパーを用いた高付加価値ジャムの製造及び生産性向上	
107	大和電機工業株式会社	最高の実装信頼性を有するピンホールレスNi/Auめっきの開発	
108	株式会社ダイヤ精機製作所	燃料電池車の水素バルブ部品の生産合理化	Vol.3
109	森川産業株式会社	鋳鉄鋳物製品の機械加工技術の開発	
110	野村ユニソン株式会社	3次元ツール活用による構想設計プロセスの構築	
111	株式会社一柳	高剛性・高速マシニングによる量産金型三次元一体加工の開発	
112	株式会社アールエフ	個人開業医向け歯科用X線室一体型CTの試作計画	
113	東洋技研株式会社	欧州主流方式端子台と自動組立装置の開発に向けての設備導入	
114	有限会社フリースケール	ユーチューブ動画サイトを利用した、3Dデータ計測サービスの新戦略	
115	株式会社仙醸	米麴を原料とする新しい高濃縮甘味調味料「甘麴」の製造販売	
116	信州ハム株式会社	無添加ハム歩留まりを有添加ハム並みに！革新的結着技術開発のための設備投資	Vol.3
117	株式会社軽井沢IT経営センター	高齢者向け地域におけるIoTを活用した見守りサービス	
118	宮坂醸造株式会社	清酒製品のユニバーサルデザイン化促進に向けたラベラーの導入	
119	株式会社日研コンサル	いつでも・どこでも測量できる【土地測り隊】という新サービスの開発	
120	株式会社宮坂精機 (採択時:宮坂精機)	最新NC機の導入と技術の改善、高度化により原価低減80%と日程を1/10に短縮する	
121	信越ハーネス株式会社	社内ネットワークシステムを積極活用した生産プロセスの改善	
122	有限会社米山金型製作所	医療・燃料電池向け微細金型部品の低コスト化と新たな微細ニーズへの挑戦	
123	株式会社エフプラス	プラスチック成形工場の生産現場のIoT化により生産性向上20%を達成	
124	株式会社マイダス	『高品位・低コスト』を効率的かつコスト低減を実現する開発工程の確立	
125	株式会社今井商工	インデックス付両頭フライス機導入による、細長形状プレート加工能力の拡大	
126	株式会社高松製作所	4軸マシニングセンター導入による生産プロセスの抜本的改善と新分野進出	
127	有限会社黒栄工業	難加工材を微細穴加工する新工法の開発	
128	大雪渓酒造株式会社	高品質・高付加価値商品の安定した生産システムの構築	Vol.3
129	有限会社北信樹脂工業	射出成形品の計測レベル向上による品質向上と作業効率化	
130	企業組合山人	バイオマス資源を活用した人工薪の製造と販売	
131	有限会社円研工業	内径テーパ角度の測定に関する革新的な計測器の開発	
132	ハード技研工業株式会社	薄型金属コイル材の縦型水性ナノコーティング装置の開発	
133	株式会社ワイエス	研磨工程合理化による加工プロセスの全体最適化及び製品高精度化	
134	株式会社西澤電機計器製作所	医療用照明機器事業の製品ラインナップ拡充と非臨床・現場評価	
135	株式会社井賀屋酒造場 (採択時:株式会社井賀屋酒造店)	革新的商品「五割麴」の販路拡大と、増産のための設備投資計画	
136	マルコメ株式会社	日本の長寿を伝承する「味噌・糀」の醸造技術をいかした新規機能性食品の素材開発	
137	北安醸造株式会社	地下水を使用した「酒母」による高付加価値清酒の開発と商品化	
138	株式会社オート	精密測定器を導入して、品質の向上と納期短縮による受注の拡大	
139	有限会社肉の鈴木屋	多品種・大量生産ライン構築による遠山郷ジビエのブランド競争力強化	
140	株式会社信越工機	ウェアラブルPCとクラウドを利用したNEW機械保守サービス開発実証事業	
141	有限会社岩城工業	簡単組立、作業性抜群の中重量対応の汎用組立作業棚の開発	
142	インフィニティソリューションズ株式会社	ラピッドプロトタイピングのための2台のロボット同時制御技術の開発	
143	化興株式会社	大型めっき治具表面処理装置の導入による絶縁用コーティング生産性向上	
144	有限会社宮島精工	長尺アルミ部品の高精度加工技術と高効率生産体制の確立	
145	有限会社パルテック	移動式ペレット製造器導入による家畜用高栄養飼料の高付加価値化	
146	有限会社向井工業	高品質・短納期・低コスト化の実現に向けてハイブリッドカシメ機導入	
147	有限会社カサイツール	難削材加工用総型エンドミル製造の効率化及び高精度化の実現	
148	株式会社大地の卵	平飼放牧鶏の環境・品質向上と有機JAS認証卵の試作開発	
149	シスマック技研有限会社	大型部品加工内製化による生産設備の製造体制構築と海外市場拡販	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
150	株式会社ハイライト	カーエレクトロニクスを支える貴金属めっき処理技術の導入と開発	
151	イデアライフケア株式会社	車いすから移乗がしやすい簡易移乗器の開発	
152	株式会社丸宝計器	医療現場における監視カメラによる画像解析ソリューションのシステム開発	
153	有限会社エイテック	活性ガスと多種類ガスを混合する超小型ナノバブル発生装置の開発	
154	有限会社福沢製作所	産業用機械部品等の微細加工を実現する高精度細穴加工機の導入	
155	株式会社丸眞製作所	高精度な素素濃度制御装置による革新的表面改質技術開発と事業拡大	
156	有限会社高木製菓	信州新特産カシスのブランド確立による優れた健康機能と美味しさの提供	
157	白ほたる豆腐店	ブランドの普及・拡大を目指すための“豆腐作りの全体最適化”	
158	有限会社電算オフィスオートメーション	スマホで簡単に管理できる革新的な「田んぼ見守りシステム」の開発	
159	松澤印刷株式会社	デジタル印刷による「和」の文化を用いた上製本の開発	
160	長野オートメーション株式会社	超精密平面・成形研削盤導入による自動化装置生産プロセスの構築	
161	株式会社ニューマインド	コンベア型ラインヘッドを搭載したプリンターヘッド監視システム(生産プロセス改善)	
162	有限会社吉沢物産	市場ニーズに合わせた業界初の革新的なマルチフレキシブル生産体制の確立	
163	株式会社伊藤測量設計	革新的測量技術TLSの導入による業務の拡大と競争力強化	
164	株式会社みすず総合コンサルタント	測量図作成の生産性向上のためのドローンを使った測量システムの開発	
165	株式会社サーキットデザイン	アンテナ内蔵型動物首輪発信器の試作開発	
166	株式会社協進製版	デジタル比較検査ツールを用いた新たな校正サービスの開発	
167	多摩川テクノクリエイション株式会社	最新技術による開生産性・速度向上と技術コミュニケーションの確立	
168	有限会社宮城商店	老舗漬物メーカーが独自システム確立により介護医療現場へ参入	
169	信州バイオフィーム有限会社	ブランド力強化でTPP対策と顧客満足獲得する為の、環境制御装置の設置	
170	Anglo Japanese Brewing Company 合同会社	地域ブランド「野沢温泉物語」クラフトビールの国内外への生産・販売力の強化	
171	株式会社キャストワン (採択時:サンタ軽金属株式会社)	海外・国内展開に必須な低コスト高品質生産プロセスの強化事業	
172	株式会社ヒートテクニカル	医療機器部品の高精細プラスチック成型生産プロセスの改善による技術力向上・競争力強化	
173	NiKKi Fron株式会社	最新設備のIoT化による半導体製造装置PTFE部品の高生産ライン構築	
174	株式会社ナフィアス	ナノファイバー不織布の高機能成膜加工技術の開発	
175	松代金属株式会社	IoTと曲げ加工ノウハウを融合させたスマートファクトリーの実現	
176	日本ミクロン株式会社	高耐熱材料を含むプリント配線基板積層工程の生産システム構築	
177	使えるねっと株式会社	IoT活用で価格1/10を実現するホームセキュリティサービスの事業化	
178	株式会社NEXAS	航空宇宙関連顧客のニーズに対応 最新鋭5軸制御マシニングセンター導入	
179	パワフル健康食品株式会社	販路拡大に伴う乳酸菌発酵物の生産効率を上げる機械設備の導入	
180	JCマイクロ株式会社	低コスト・生産性向上を実現する基板検査治具の新工法の開発	
181	株式会社匠電舎	PLC(シーケンサ)ソフト変換機能を有する次世代型コントローラの開発	
182	株式会社信陽	長尺物を自重でたわませ簡単固定！新発想治具開発と設備投資による生産性向上	
183	イシダ事務機株式会社	国内初、自然エネルギーを利用した防災用IoT電源供給システムの開発	
184	有限会社紅葉軒	「旬」を味わう「内藤とうがらし」と「伝統野菜」の「旨辛味噌」新商品開発	
185	株式会社ヒューブレイン	世界初の空気浮上式の次世代型超微小部品パーツフィーダーの開発	
186	株式会社柴田合成	放電加工機・三次元測定機のIoT管理システムによる生産性向上	
187	ベストプラ株式会社	プラパレット再生ペレット化の発泡抑制高効率製造プロセスの実現	
188	株式会社カナエ	高速デジタルラベル印刷機及びレーザーカッターの導入による高度生産性向上	
189	株式会社マルトシ	「郷土の伝統を活かした機能性食品の商品開発」による地方の小売業成長モデルの確立	
190	株式会社サンジェム	サブギガヘルツ帯域のチップ部品向けインダクタンス標準器の試作開発	
191	エスティール株式会社	高付加価値のリフレックスサイトの開発	
192	日本濾過器株式会社	ナノファイバー製造技術を応用した革新的オイルフィルターの開発	
193	株式会社ぶらんつ	新製法「30秒で酵素たっぷりスムージー」の生産体制の構築	
194	太陽工業株式会社	高精度・低コストで工程内保証を実現する自動車用金型製作システム	
195	株式会社中善酒造店	海外市場にチャレンジする味と香りが飛び抜けた個性派純米酒の開発	
196	ガイア・エヌピー株式会社	2種類の特許技術を組合わせた入浴用化粧品2種とその同時利用による高付加価値入浴剤	
197	株式会社丸世酒造店	進化系純米酒による日本酒市場の活性化及び長期的な販路の拡大	

NO	事業者名	事業計画名	掲載巻
198	株式会社ダイエー測量設計	地上型3次元レーザスキャナを用いた高精度な3次元データの提供	
199	株式会社サイベックコーポレーション	超精密金型プレート向け高効率研削と超平面研削技術の確立	
200	有限会社小池精工	難塑性材深絞り精密プレス加工の面精度面粗度向上に関する技術開発	
201	株式会社浜島精機	航空宇宙部品対応での設備の最適小型化による、生産性向上とコストダウン対応	
202	株式会社マイクロジェット	研究開発用3Dプリンターを活用した特殊材料による3D構造物の試作製造	
203	多摩川精機株式会社	創薬研究用および診断薬用の機能性ビーズの開発と量産化	



好機逸すべからず 成果事例集 Vol.3

平成26年度補正 ものづくり・商業・サービス革新補助金

平成27年度補正 ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金

発行 平成29年11月

編集・発行 長野県地域事務局

長野県中小企業団体中央会

〒380-0936 長野市中御所岡田131-10

TEL.026-228-1171 FAX.026-228-1184

URL.<http://www.alps.or.jp/>